

「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画デザインノート（案）」に対する 市民意見募集の実施結果について

1 実施概要

市民意見募集期間	令和4年12月21日（水）から令和5年1月20日（金）まで
市民意見提出方法	①電子申請システム ②郵送（市民意見募集用リーフレットに添付のハガキにて） ③FAX ④持参
市民意見募集用 リーフレット配布場所	各区役所広報相談係、市民情報センター、各区図書館、行政サービスコーナー、瀬谷区・旭区の公共施設等、PRボックス（鶴ヶ峰駅、二俣川駅、希望ヶ丘駅、三ツ境駅、瀬谷駅、横浜駅、桜木町駅、新横浜駅など）

2 実施結果

意見通数（通）	意見総数（件）
239	714

提出方法	意見通数（通）
電子申請システム	186
郵送	42
FAX	6
持参	2
その他	3
合計	239

住所別	意見通数 (通)	割合 (%)	住所別	意見通数 (通)	割合 (%)	住所別	意見通数 (通)	割合 (%)
鶴見区	4	1.7	旭区	54	22.6	戸塚区	11	4.6
神奈川区	3	1.3	磯子区	2	0.8	栄区	0	0
西区	1	0.4	金沢区	6	2.5	泉区	6	2.5
中区	6	2.5	港北区	13	5.4	瀬谷区	73	30.5
南区	2	0.8	緑区	4	1.7	横浜市外	26	10.9
港南区	2	0.8	青葉区	9	3.8	不明	1	0.4
保土ヶ谷区	9	3.8	都筑区	7	2.9	合計	239	100

3 意見の内訳

項目	意見数 (件)
(5p) 現在の旧上瀬谷通信施設のポテンシャル	48
(6-7p) 旧上瀬谷通信施設地区のデザインの考え方	59
(8p) 地区全体で取り組むデザインテーマグリーンインフラ・脱炭素	44
(9p) 地区全体で取り組むデザインテーマネットワーク	49
(10p) 地区全体で取り組むデザインテーマ公民連携による境界のデザイン	41
(11p) 地区全体で取り組むデザインテーマ災害対応力の強化	39
(11p) 地区全体で取り組むデザインテーマエリアマネジメント	27
(13-14p) 各地区に求めるデザインのイメージー観光・賑わい地区	105
(15p) 各地区に求めるデザインのイメージー農業振興地区	63
(16p) 各地区に求めるデザインのイメージー物流地区	36
(17p) 各地区に求めるデザインのイメージー公園・防災地区	53
その他 (デザインノート全体についての意見も含む)	150
合計	714

4 いただいたご意見とご意見に対する本市の考え方

次ページ以降では、皆様からいただいたご意見と本市の考え方を掲載しています。

- いただいたご意見については、原則、原文のまま掲載しておりますが、個人名等の削除や一部要約を行っている場合があります。
- 複数のご意見に対して一括で考え方を掲載しているものもあります。

※その他

「2 実施結果」に住所別の割合を追記するとともに、次ページ以降に掲載している皆様からいただいたご意見と本市の考え方を記載した表に、一部、見えていない箇所等がありましたので、表の修正を行いました。(令和5年3月3日)

いただいたご意見とご意見に対する本市の考え方

(5p) 現在の旧上瀬谷通信施設のポテンシャル

NO.	ご意見	本市の考え方
1	<p>「デザインノート」に示されているように現存資源を是非活かしていただきたいと思います。景観・広さ・森林・樹木・農地・芝地、農地を維持している農家という人的資源など現存する魅力的な資源を、壊すのではなく、活かして新たな価値を創る方向で進められれば良いと思います。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、検討を進めていきます。</p>
2	<p>横浜市内でこれだけの広い面積の事業用地はなかなかなく、横浜内陸部の発展のためのポテンシャルを感じます。ただそもそもこの付近の道路は計画に配置された道路ネットワークではないため、あちこちで渋滞が発生するため、あまり便利に思えないところもあります。道路整備は開発区域だけでなく、もっと広範囲で道路整備を意図してもらおうと、もっとよくなると思います。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、検討を進めていきます。</p> <p>また、交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
3	<p>当地区は、東名横浜町田インターにほど近く、一部を物流拠点として活用すれば、大変魅力的である。また、にぎわい施設の中身によっては、人気が高まると思われる。車だけでなく、鉄道でのアクセスが実現すれば、ポテンシャルが更に高まると思う。近隣には、施設増強によって再オープンした南町田グランベリーパークがあり、今後、居住人口も増えていくため、相乗効果が期待できる。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、検討を進めています。</p> <p>また、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・東名高速町田ICへのアクセスの良さ。 ・広大な面積。 ・近隣にゴルフ場、公園を配置。 <p>→上記を踏まえると物流、工業、住宅団地用地に 適当と考えます。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>なお、現時点で旧上瀬谷通信施設地区においては、住宅を整備するということは想定しておりません。</p>
5	<p>ポテンシャルとは？そもそも、市民に分かりやすい日本語をお願いします。可能性として全く現実的ではなく数字的にも空想以外の何者でもない構想。こう言った税金の無駄遣いはやめてほしい。しかも意見の募集期間の短さ、もっと長くしてほしい。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様にご意見提供するとともに、ご意見を伺いながら旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
6	<p>上瀬谷がアクセスに優位性があると思っているのは、大きな勘違いです。環状4号や16号、246号など、周囲が慢性的な渋滞路線に囲まれています。特に週末や、朝、夕方は246号線の渋滞が酷く、派生で国道16号も渋滞します。246号線の横浜インターと大和周辺の渋滞解消をしない限り、この土地の利活用は周辺住民の住環境を酷く悪化させることは目に見えています。</p> <p>また私が住んでいる相沢は今でさえ、抜け道と</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>なって年々通行量が増えています。さらに狭い道も多く、抜け道を猛スピードで走る車も多い。この開発地周辺の道路だけを整備するのではなく、特に大和方面や泉区方面への抜け道となる狭い道路の拡幅整備を行ってください。抜け道の道路交通量が必ず増えます。そういう土地柄です。まったくこのような分析がされていないのは、住民生活を無視した、カジノ同様に、イベントありきで都合のいい理屈を立てているとしか思えません。</p>	<p>区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>また、交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
7	<p>「貴重な広大な土地」とか「豊かな水や緑が融合する自然環境」とか言うなら、花博やテーマパークをやるべきではない。貴重な広大な土地の自然環境はなるべくそのまま活かして、全体を大規模公園や防災拠点などとするべきだ。広大で貴重な自然環境を破壊して赤字必至の花博やテーマパークをやるべきではない。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、 「人口減少、超高齢</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>なお、土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）としていきます。</p> <p>また、国際園芸博覧会については、旧上瀬谷通信施設が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
8	<p>他地域からです。横浜市民の方は、大きな土地があり羨ましいかぎりです。しかしテーマパークですか？ 唖然としました。子供達の教育の為、防災の為にお使いにならないのですか？ テーマパーク反対です。市民の方は、それを望まれているのでしょうか？</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたくて「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
9	<p>2022年の計画は、未だ決まらない「テーマパーク誘致」を掲げそれに準拠したデザインのままです。このテーマパークが来なかったら？ そもそも、テーマパークは必要なのか？ 私はこの地区にテーマパークは必要無いと思います。病院が無い。道路が狭い。暮らしにくい。そういう区民や地域民の要望や期待に応えるためには、テーマパークや「観光賑わいゾーン」のゾーン分けはおかしいと思います。ポテンシャルはあるのでしょ</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	うけど、再考をお願いします。	<p>化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
10	<p>年間1000千万人の集客ができるなんて誇大妄想。そんなポテンシャルあるわけねーだろ。計画する側が1000万人呼び込めるって言うならその根拠示してみろ。もし1000万人の集客ができなかった場合はどう責任を取るか明確にしろ。市民がみんな納得する集客1000万人の根拠が示せないならテーマパーク計画はやめなさい。食糧危機が来ると日本中、世界中で言われている。その対策にもなる農業関連の事業に活用せよ。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとまり、「人口減少、超高齢</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
11	<p>交通の便が悪い。商業人口を増やしたいのか、地域住民を増やしたいのかよくわからない。持続可能、ポテンシャルを活かすためには長期の目線、脱炭素で考え鉄道の乗り入れ等検討すべき。農業を受け継ぐことが緑を活かすことになるのか疑問。既存木を活用することに関しては賛成</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討が進められてきているため、現時点で旧上瀬谷通信施設地区においては、住宅を整備するという事は想定しておりません。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、本地区の持つ、首都圏に近い広大な土地、交通利便性の高さといったポテンシャルを活かし新しい機能を誘導するとともに、農や緑といった自然環境を次世代へつないでいき、形を変えながらも価値を継承し、本地区のポテンシャルを最大限に活かすことで、新たな「持続可能な都市モデル」が創出できるよう、</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		今後もしっかりと検討していきます。
12	<p>上瀬谷の立地は、横浜市で、貴重な自然の宝庫です。広々とした農地はこのままにし、さらにここを流れる3本の川を活かし、もっと水田・田畑・池・牧草地を増やすべきです。豊かな自然を生かし、太陽光発電をすべきです。太陽光パネルの下で育つ草は乳牛に最適で、真夏でも涼しく、おいしい牛乳が生産できます。ハーブ園にしてもいいし、ブドウ園にしても、ハーブが育ち、ブドウ園が出来ればワインが製造できます。ハーブ園では健康にいいハーブティーが出来、レストランが出来ます。蕎麦や小麦も育てれば、蕎麦屋やうどん屋もでき、パンの製造も可能になります。日本の食料自給率は30%で気候変動・地球温暖化に耐えられません。上瀬谷の農地を利用して、食料自給率を上げ、地球温暖化を止める事が出来ます。そして、太陽光パネルを敷き詰めることで、自然エネルギーの宝庫になります。巨大な蓄電地を配置すれば、天候に左右されずに、電機が供給出来ます。農産物は地産地消で、小中学校に供給すれば、援農をしてもらえば「食育」になり、自然観察授業の場所になります。</p>	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p> <p>農業振興地区での具体的な内容については地元農業者や連携する企業・大学等と意見交換しながら検討を進めていきます。</p> <p>なお、いただいたご意見を踏まえ、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」を今後もしっかりと検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
13	<p>昨年12月20日 上瀬谷通信施設跡地で砲弾が2発発見された。2020年9月12日 防衛省が国有地部分の土壌汚染調査をしたところ国の基準を超える鉛などの特定有害物質が56箇所で見出された。本来なら返還された2015年に国の責任できれいにしてもらおうところを なし崩しでこまできてしまったのでポテンシャルは低い 危険な土地であるという認識</p>	<p>今後、本格的に工事を実施していくにあたっては、近隣住民の方や道路などの利用者、工事従事者等の安全を確保することは非常に重要と考えています。</p> <p>砲弾については、地歴調査でわかっている旧日本海軍の施設があった場所では、磁気探査などの調査を行うこととし、さらに安全を期すために、今後、掘削を伴う工事を実施するエリアでも、旧日本海軍の施設の有無に関わらず、磁気探査などの調査を行っていきます。</p> <p>土壌汚染については、当地区の全域を対象に「土壌汚染対策法ガイドライン」に基づき、調査を実施しています。その結果、国有地66か所と民有地22か所の基準値超過を確認しています。このうち民有地の2箇所については除去済みとなっています。また、深い位置で土壌汚染が確認された1箇所を除き、すべて掘削除去を行っていく予定です。</p>
14	<p>強いて言えば、広大な土地のポテンシャル、魅力をよりわかりやすく伝えられると良いと感じます。</p>	<p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様に情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
15	<p>上瀬谷という街がなんとなくわかった。</p>	
16	<p>新たな交通について 上瀬谷の開発における自動車等の交通量は、8割は北側の方から流入してくると、都市計画の説明会等でおききました。そうすると、新たな交通については瀬谷駅からの発着だけではなく、十日市場や長津田の方まで検討し、実現していかなければならないと考えます。園芸博の後にまちづくりは本格的に始まるものであると思いますので、是非検討実現を期待しています。開発は大変かと思いますが、かんばって下さい。</p>	<p>新たな交通については、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保しながら、整備コストの抑制を図っていく視点で、新たな技術の活用も含め、幅広い検討を進め、観光・賑わい地区における事業予定者決定により、来街者の需要を見通しながら、輸送システムを検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
17	<p>瀬谷駅と上瀬谷地区を結ぶ新交通計画が花博にあわせての開業を断念し計画も凍結になりましたが、もし作るなら瀬谷～上瀬谷だけでなく北は長津田、南は大船まで作ってほしいです。相鉄電車瀬谷駅だけでなくJR横浜線十日市場駅やJR横浜線・東急田園都市線・横浜高速鉄道こどもの国線長津田駅や東急田園都市線南町田グランベリーパーク駅などへのアクセスルートも充実させた方がいいと思います。道路拡幅後には名物の桜並木の再生もしてほしいです。広大な農業地区は地産地消推進として活用してほしいです。</p>	<p>新たな交通については、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保しながら、整備コストの抑制を図っていく視点で、新たな技術の活用も含め、幅広い検討を進め、観光・賑わい地区における事業予定者決定により、来街者の需要を見通しながら、輸送システムを検討していきます。</p> <p>海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p> <p>また、本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、集客型農業の展開等を通じて、市民や来街者が農や食と触れ合う機会を作りだすことで、横浜市の特徴ある農の魅力を広くPRしていきます。</p>
18	<p>海軍道路（環状4号線）の桜並木の継承、旧上瀬谷通信施設公園の遊歩道への桜の植樹、評価、期待してます。元々、桜は横に枝を張る樹木です。道路沿いの桜並木は機能保全（道路の視認性の確保）の為、思い切った剪定はやむを得ないことと思いますが、遊歩道の桜は極力枝を払わないで育てて欲しい。新宿御苑の桜、大岡川の桜並木が見事で名所たる所以は、自然に育った（剪定されずに）桜が見事であるからだと思います。</p>	<p>海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p>
19	<p>市民の森の有効活用、新たな桜の名所づくり、是非実現して頂きたい。</p>	<p>海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p> <p>また、上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
20	<p>桜だけでなく、様々な並木や花畑があると年間を通して行きたくなる。</p>	<p>海軍道路（環状4号線）の桜並木については、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年約20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、国際園芸博覧会や旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月には、これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画（案）」、「市民意見募集の結果」等も踏まえて、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画（以下、「基本計画」という。）」を策定しました。</p> <p>基本計画の「取組①桜の再生と新たな名所づくり」では、（仮称）旧上瀬谷通信施設公園における新たな名所づくりとして、「公園のシンボルとなる桜並木の整備」や「様々な品種のサクラの植栽例」を記載しました。</p> <p>新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、基本計画に基づいて着実に事業を進めていきます。</p>
21	<p>バスや広い駐車場を備えれば商圈人口から考えて商業系の開発が適当と思われる。商業系に加え高層住宅、保育園・幼稚園・学校の整備が出来れば人口増のきっかけになりうる。地区内に不整形で展開する農業専用地区の利用方法をどうするのが課題。そのまま残す方向なのか、土地改良等で整理するのか、地権者の意向次第では開発が難しい気もする。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接收されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>なお、現時点で旧上瀬谷通信施設地区においては、住宅を整備するということは想定しておりません。</p> <p>また、本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、P13の「ヒト・モノ・コトが行き交い、経済が活性化する、新たな横浜の拠点形成」及びP14の「機能集積・賑わい誘導」の説明に、商業施設を記載しました。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
22	<p>鉄道等のインフラが整わない以上、ポテンシャルは無い。物流等の施設は車両がベースなので問題は無いが、現状の案では慢性的な渋滞が発生する事となる。せっかく16号や東名インター付近の整備が進んだにも関わらず、また渋滞の起点になってしまう。幹線道路の拡張には賛成だが、その他の道路をいくら増設しても出口の流れが決まってくるので、渋滞の原因に必ずなる。テーマパークなんでもってのほか。何を誘致するのですか？横浜スタジアムの代替やマリノスタウン（スタジアム）のような「横浜」の活躍が期待出来る公園「ボールパーク等」の構想なら理解できる。現状の自然がそのままの方が価値のあるものになる。開発した方が価値が下がる。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたくて「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>なお、土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向け</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>て検討を進めていきます。</p> <p>また、交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
23	<p>「自然」の項目で追加があります。ここは、相沢川と和泉川の源流を含み、湧き水があちこちで出ています。湿地のような場所もあります。和泉川上流には、きれいな水でしか生息できない貴重な生き物が住んでおりますが、その数は減ってきています。施設などの汚染された水が入り込めば確実にいなくなるでしょう。ゴミの処理の方法などを徹底していかなければ残念な結果になってしまいます。</p>	<p>生態系を保全するため、公園・防災地区において保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>なお、検討にあたっては、専門家等の助言も踏まえ、生態系への影響を可能な限り低減していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
24	<p>広大かつ東名高速道路や鉄道路線との近接性等を考慮すると、さらなる交通インフラや賑わいに資するコンテンツ等の充実を図っていけば、将来の内陸部における新たな活性化拠点として機能する大きなポテンシャルがあると思っています。</p>	<p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
25	このままの自然を活かして欲しい	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p>
26	<p>東京ドーム52個分の広大な自然の水源地。絶滅危惧種を多く含む、横浜市の温暖化抑制に大きく寄与する素晴らしい草原。自然を愛する瀬谷市民の為に使われるべき。農地。水源地。残すべきものをしっかり残すべき。自然を創生するなど傲慢になるべきではない。</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p>
27	<p>ポテンシャルとは？潜在能力、可能性ということでしょうか？首都圏の横浜でこの広い自然あふれる土地はもう手にはいらないので今のこの状態を変えてしまうことがポテンシャルゼロにするということになります。上瀬谷はラストオンリーワンですから。</p>	<p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>
28	<p>対象地区は70余年日米の軍事施設のおかげで、豊かな自然が保存されました。手を加えれば自然は改変します 今日、人新世の考えが注目されるなか、開発とSDGsのバランスを最優先した方向性に賛同します。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p>
29	<p>豊かな自然がある事が最大のポテンシャル。花博等で、破壊するべきでは無い。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>また、国際園芸博覧会については、旧上瀬谷通信施設が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p>
30	<p>アクセスの優位性は無いと思います。鉄道は相鉄線だけであり、周りは住宅街に囲まれ、車両が殺到すれば、旭区、瀬谷区の市民だけでなく、大和市民や町田市民の住環境を破壊するものと思います。</p>	<p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
31	<p>交通利便性は良いと感じるが、基本的に車でのアクセスが多いと感じます。また瀬谷区は東西の行き来には不便があり、北部の八王子街道、瀬谷柏尾道路、厚木街道は慢性的に渋滞している。海軍道路のENEOS近くの信号から細谷戸など抜け道として使用されている。交通インフラも検討されているとのことですが、変更するにあたり、動線や渋滞予測等も十分に検討してください。</p>	<p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
32	<p>横浜町田インターから近いだけが取り柄のような気がする。上川井から目黒の交差点は慢性的な渋滞スポットであり 鉄道インフラは必須では？</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
33	<p>アクセスは最悪 渋滞発生の原因は3つあります。そのうちの1つでもクリアしていないと、2008年4月に開業した三井アウトレットパーク入間のような状態になります。園芸博来場者の主目的には買い物は含まれませんから、車両での来場者は少ないと勘案されますが、テーマパークは違います。さらに、クリスマス時期はカップルが多く、例えば30,000人の来場者のうちの20,000人が車両で来場したカップルであれば、20,000を2で割った10,000車両が駐車することになります。</p> <p>・周囲の店は「渋滞により常連客が遠のき、売り上げが減った」と悲鳴をあげ、緊急車両の通行に支障が出かねない状況が続く。(毎日新聞の報道) 入間アウトレット問題に学ぶ「顧客満足経営」と「住民満足行政」より 5/3 公害をまきちらす入間の郊外型ショッピングセンターは国土交通省や道路会社は損害賠償せよ</p> <p>公共交通機関を利用する来場者をどのようにコントロールするのも明確にされていません。これらの難題をクリアできないと、かなりの確率で住民投票などにつながってしまう可能性があります</p>	<p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画(2020年3月策定)」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路(区画1号線~3号線)、幅員12~18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線(八王子街道)の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
34	<p>一番近い駅から2km。徒歩25分 バスなどを利用するにしても利便性が低い。</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
35	<p>・現状での問題点は、交通アクセスが良いといっても、瀬谷駅の2.5km以外の主要駅は長津田・南町田グランベリーより5km程度離れており、決して便利とは言えない。</p> <p>車での移動であれば横浜町田インターから至近な距離であるが、今後の車社会と上瀬谷の道路事情を考慮すると、余り便利とは言えない。</p> <p>ポテンシャルを上げるとすればやはり公共交通機関であり、輸送能力が高い交通機関が望まれる（トラムやジップライン（秦野で実験予定）があげられる。）</p> <p>また、鉄道の駅間を結ぶことで、相互の行き来が自由になり利便性が上がる。これは何も「花博」の為だけでなく、その後の街作りにも価値を上げ、大いに利便性が上がる。</p> <p>よって、瀬谷駅を中心に北側は花博会場⇒長津田（横浜線+田園都市線）、南は阿久和⇒ゆめが丘（相鉄）⇒湘南台（横浜市営地下鉄+小田急）と各方面からの利便性が大きく高まる。</p>	<p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>また、新たな交通については、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保しながら、整備コストの抑制を図っていく視点で、新たな技術の活用も含め、幅広い検討を進め、観光・賑わい地区における事業予定者決定により、来街者の需要を見通しながら、輸送システムを検討していきます。</p>
36	<p>立地として、車での移動に利便性が高い地域であり、周辺地域との連携も含め渋滞のない道路整備を進めることで、さらなるポテンシャルを開花できると考えます。一方、周辺の鉄道路線に囲まれていながらも、各駅からの利便性には疑問があります。このため、BRT等の大量輸送網を駆使し、例えば南町田グランベリパーク駅と瀬谷駅を結ぶ路線整備により、田園都市線と相鉄線の連携を強化することで、さらなるアクセスの優位性が高まると考えます。</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
37	<p>【立地】JR・私鉄の駅 高速道路やバイパス 幹線道路との地理的な連結が良いのは事実ですが 今現在 旧上瀬谷通信施設地区の周辺道路は 渋滞が常態化しています。周辺道路や駅の周りの混雑を考慮しない現在の道路計画では「立地の良さ」というプラスのポテンシャルより「渋滞の中に渋滞を放り込む」というマイナスのポテンシャルを生む事になるでしょう</p> <p>【農業】地権者が今回の再開発を機に 旧上瀬谷通信施設地区内にある肥えた黒土を園芸用に売り 廃材の混じった残土で 田圃や畑を埋めている事実を認識してください。赤土が客土された場所は植生自体が変わってしまい もう一度農地にする為には大規模な土壌改良が必要であると聞きました。農地=「器としての土地ではない」という認識が開発する側に無いのは致命的です。再開発の後は「農業のポテンシャル」は大幅に下がってしまうでしょう</p> <p>【自然】同じように 旧上瀬谷通信施設地区内に幅広い舗装道路を造ることで 確実に「自然のポテンシャル」も下がる事を認識してください。一例として「豊かな水」とありますが 川の流れを変えて3面コンクリート化し 土地を舗装してしまえば 湧水の量も変わるでしょう。これは 旧上瀬谷通信施設地区内だけの問題でなく 下流の防災井戸や ひいては横浜港 相模湾に流れ込む河川の水量や水質にも関連してくるはず</p>	<p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p> <p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>
38	<p>農業のポテンシャルをもっている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水路が流れている（地下水くみ上げも可能と判断できる） ・日当たり良好 ・大規模農業は収益性に有利 ・神奈川県は食料自給率2%（東京都は0%）→横浜市は1%未満と判断できる 	<p>本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p>
39	<p>交通状況などは最高のポテンシャルがある場所だと思います。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、本地区の持つ、首都圏に近い広大な土地、交通利便性の高さといったポテンシャルを活かし新しい機能を誘導するとともに、農や緑といった自然環境を次世代へつないでいき、形を変えながらも価値を継承し、本地区のポテンシャルを最大限に活かすことで、新たな「持続可能な都市モデル」が創出できるよう、今後もしっかりと検討していきます。</p>
40	<p>デザインノート（案）で記載の通り、首都圏・横浜市内で、かつ交通の便が改善できる範囲の、比較的平坦で開発が可能な広大な土地は、魅力と思います。</p>	
41	<p>横浜市は、臨海部だけでなく内陸部、郊外部のポテンシャルを活かした施策を、もっと進めて欲しい。</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
42	<p>広大な土地が存在したうえ、近くには東名町田ICが存在していることから現在は潜在ポテンシャルを秘めた状態に留まっていると考えます。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、本地区の持つ、首都圏に近い広大な土地、交通利便性の高さといったポテンシャルを活かし新しい機能を誘導するとともに、農や緑といった自然環境を次世代へつないでいき、形を変えながらも価値を継承し、本地区のポテンシャルを最大限に活かすことで、新たな「持続可能な都市モデル」が創出できるよう、今後もしっかりと検討していきます。</p>
43	<p>上瀬谷といえば、広い土地があることが最大のポテンシャルだと思う。この特性を活かしたまちづくりをお願いします。</p>	
44	<p>上瀬谷が魅力的な土地であることがよくわかった。</p>	
45	<p>上瀬谷の特徴をよくあらわしている。</p>	
46	<p>高いポテンシャルがあることがわかった。</p>	
47	<p>首都圏で高速道路、鉄道路線から比較的近い242haの土地で、横浜市にとって貴重な財産である。</p>	
48	<p>東名高速道路，国道246号線，国道16号線からのアクセスは良好だと思います。</p>	

(6-7p) 旧上瀬谷通信施設地区のデザインの考え方

NO.	ご意見	本市の考え方
1	Liveable Well-Being City指標に応じて、本デザインの考え方に網羅性があるかチェックいただきたいです。	<p>いただいたご意見を踏まえ、本地区の持つ、首都圏に近い広大な土地、交通利便性の高さといったポテンシャルを活かし新しい機能を誘導するとともに、農や緑といった自然環境を次世代へつないでいき、形を変えながらも価値を継承し、本地区のポテンシャルを最大限に活かすことで、新たな「持続可能な都市モデル」が創出できるよう、今後もしっかりと検討していきます。</p>
2	自然環境を重視するだけでなく、適正な造成整備をしないと、将来の土地活用に不安を残す。地区のポテンシャルを活かすため、自然環境と市街化のバランスが重要。	
3	新たにつくる価値として、横浜市の水資源確保の価値（地下に広大な貯水機能を有する施設を備える）を加えることがよいと考えます。	
4	継承する価値と新たな価値を融合して、これからの上瀬谷の歴史を刻んで行けば良い。	
5	<p>横浜市内でありながら緑豊かであることから、以下を期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーション（絶好の立地・環境） ・豊かな緑とメタバース（高機能なデジタル環境の整備と活用） ・高齢者とデジタル技術（デジタルはちょっと・・・という高齢者層もデジタル技術の恩恵が受けられる訓練が、緑豊かな環境で行われる） 	
6	世界へ発信できるようなまちが、付近にあることは誇らしく思う。	
7	記載の通り、世界に発信できるように進めてほしい。	
8	継承する価値も大事だが、新たにつくる価値も重要。両者がマッチングして相乗効果を生むよう取り組んでほしい。	
9	期待される効果の視点は良いと思います。ぜひバランスよく効果が発揮できるようにデザイン詳細を煮詰めてもらいたいと思います。	
10	外に開かれた、外部に上瀬谷地区のコンセプトを発信することのできるデザインを期待します。	

NO.	ご意見	本市の考え方
11	グリーンシティ実現への取り組み、是非よろしく お願いします。	いただいたご意見を踏まえ、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」を今後もしっかりと検討していきます。
12	<p>エネルギー版地産地消の実現に努めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山下ふ頭地区の再開発と同様、当地においても、エネルギーの地産地消を追求すべきである。当地内にエネルギーを中心とした地域公共サービスを担う公的な公社＝「シュタットベルケ※」を設置して、施設・建築物の屋上等にソーラーパネルを設置して太陽光発電することをはじめ、当該地域（当地内、周辺地域）で排出されるゴミ、廃棄物の利用による発電をしたり、その他、再生可能なエネルギーを利用して地域内・周辺地域の電力需要を地域自らが賄うようにすること。 ・また、リサイクル不能物質も可能な限り、プルサーマル・リサイクル（焼却）以外（マテリアルリサイクル、ケミカル・リサイクル等）の可能性を研究しリサイクルを追求すること。 <p>※「シュタットベルケ」とは、主にエネルギービジネスにより、一定の収益を確保しその収益の一部を活用して、社会的意義は高いが単独では採算のとりにくい事業・サービス（他のシュタットベルケ）の継続を支援・展開したり、地域の抱える課題の解決を図る、電力事業を軸とした地域ソーシャルビジネス。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力源としては、上記、太陽光、廃棄物リサイクルのほか、風力、小水力、下水汚泥等々、当地域・市域の強みを発掘し、温室効果ガス排出ゼロ・エネルギー化して、「炭素ゼロ」タウンの実現を目指すこと。 <p>※図は省略させていただきました。</p>	
13	臨海部と郊外部が連携して相乗効果を生み出せば、横浜が元気になると思う。今後、臨海部と郊外部を結ぶ移動手段も検討してはどうか。	いただいたご意見を踏まえ、都心臨海部との相乗効果を図り、横浜市全体の活性化を促す郊外部の活性化拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。
14	都心臨海部との連携関係、役割分担がいま一つ明確になっていない。単なる理念ではなく、理念を基にした横浜市全体の都市デザイン、都市の青写真を示す必要がある。その一環として、この地区をデザインしていくことが求められる。	

NO.	ご意見	本市の考え方
15	<p>市の「デザインノート」で示されているように「旧上瀬谷通信施設地区の価値を最大化」することは納税者として喜ばしいことです。ただ、そこで示される「価値」は今後の市民生活に活かすことができるものであるべきだと思います。「デザインノート」にある「持続可能な都市モデル」を示すことは横浜市のアイデンティティを示す意味できわめて重要だと思います。該当地区のデザインは、開港とともに日本近代化の象徴都市として歩んできた横浜市が、近代から後期近代への時代の変化とともに新たな価値を創造しながら歩む姿を内外にアピールする機会を設計することだと思います。「工業化」と「国家集権」を進める近代から、「持続可能性」と「多様性と統合の両立」が中心課題となる近代後期に時代が移っているこの時期に、横浜市が後期近代においても先進的で持続可能な都市として機能することを目指していることを今回の事案で具体的な形で示すことができれば、横浜市民は進む方向性を、訪問者は横浜の先進性を実感できると思います。継続性は重要なテーマだと思います。「デザインノート」では便宜上、「継承する価値」と「新たにつくる価値」に分けているのだと思いますが、継承と新しさは相反することではないと思います。せっかく景観・広さ・樹木・農地・芝地・人的資源等に恵まれているのですから、それを壊すのではなく、既存の資源を活かして新たな価値を創造し、今までの蓄積の上に加えるという方向性が「持続可能性」の前提条件だと思います。人間が生き残れるかどうかを心配する人々に対して、今回の案件で過去・現在・未来の継続性を示すことができれば、「未来」は続いていくんだという安心感を提供することができるのではないのでしょうか。例えば、にぎわい地区に組み入れられている農地の部分は、生産物販売から農業体験提供に目的を変えれば、そのまま農地として活用できます。農地の土壌と景観は長い年月をかけ先人が作り上げてくれた貴重な遺産です。これを活かさない手はないと思います。「持続可能な都市モデル」を示すには、一過性ではなく、生活に活かせることを重視する必要があります。来た人が受け身ではなく主体的に参加して楽しみ、その後の生活に活かせるような場をデザインしていくべきだと思います。市の「デザインノート」で「新たにつくる価値」の部分で示された「観光にぎわい」地区に</p>	<p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、本地区の持つ、首都圏に近い広大な土地、交通利便性の高さといったポテンシャルを活かし新しい機能を誘導するとともに、農や緑といった自然環境を次世代へつないでいき、形を変えながらも価値を継承し、本地区のポテンシャルを最大限に活かすことで、新たな「持続可能な都市モデル」が創出できるよう、今後もしっかりと検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>は、「来て見て終わり」ではなく、新たな視点や生活に活かせるヒントを体感できる、つまり「来て試して活かす」ことができる「持続可能性」を目指した施設がふさわしいと思います。</p>	
16	<p>今後、事業を進めていく上では、雇用の拡大、経済波及効果等を前に出して説明してはどうか。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、本地区の持つ、首都圏に近い広大な土地、交通利便性の高さといったポテンシャルを活かし新しい機能を誘導するとともに、農や緑といった自然環境を次世代へつないでいき、形を変えながらも価値を継承し、本地区のポテンシャルを最大限に活かすことで、新たな「持続可能な都市モデル」が創出できるよう、今後もしっかりと検討していきます。</p> <p>また、事業の進捗に応じて、市民の皆様に情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
17	<p>・エリアマネジメントとして記述されているがエリア周辺の住宅地の位置付けと開発によりもたらされる影響が言及されていない。P6では距離が離れていて機能も異なる都心臨海部との相乗効果をうたっているが、具体的にどのように期待すればよいのか。</p> <p>・代わりに、P7で「期待される効果」が列挙されている。期待だけに終わらないために、この効果を具現化するための取組についてもう少し記述されるべき。今のところ、空間的につながる交通対策（P4）と、グリーンインフラとして南東部の空間的な連携（P8）にとどまっている。それ以外はどうするのか。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、様々な機能・事業者等により相乗効果を発揮するエリアマネジメントやグリーンインフラ・脱炭素への取組を今後もしっかり検討していきます。</p> <p>また、事業の進捗に応じて、市民の皆様に情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
18	<p>あらたに作る価値に魅力を感じています。広大な土地に壮大なテーマパークやショッピング施設を誘致すると面白いです。</p>	<p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>また、いただいたご意見を踏まえ、P13の「ヒト・モノ・コトが行き交い、経済が活性化する、新たな横浜の拠点形成」及びP14の「機能集積・賑わい誘導」の説明に、商業施設を記載しました。</p>
19	農業振興は不要	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接收されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>本地区は長年米軍に接收されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p>
20	<p>○地政学的な視点から、これからの横浜の持続可能性の必須条件として、そして経済成長戦略の一つとして、都市型農業の振興と食料自給率の向上が当該地区に課せられた重要な課題である。</p> <p>○新技術を活用した、生産性の高い都市型農業を確立し、横浜のこれからの成長産業として創造していくような大きなビジョンと計画が欲しい。</p>	<p>本地区は長年米軍に接收されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
21	<p>日本は国土の70%が山であり、国全体が緑豊かな環境です。そして、限られた貴重な平地を住宅地や農地、市街地などに活用しています。旧上瀬谷通信施設地区は首都圏でも広大な地域です。コロナの感染で世の中が変化し、観光だけでは経済の活性化はできません。そして、多くの市民が経済の貧困化に苦しんでいます。このような情勢を考えると、旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルは、横浜の経済力の発展に集中して活用する必要があります。観光都市ではなく、技術革新を主体とした本格的なハイテク経済都市にする必要があります。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p>
22	<p>当地内居住者・周辺居住市民のウェルビーイングの充実を図ること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当地居住者・周辺居住市民が要望する、大規模総合病院や、日常の買い物をするためのショッピングモールを誘致・設置すること。 ・いま、横浜市の大きな問題となっている「中学校給食」（デリバリー型ではない）を実現するうえで、自校方式・親子式等の採用が困難な学校むけに、当地内に給食調理センターを建設すること。 ・なお、同給食センターは「中学校」用にこだわる必要はなく、周辺に存在する保育園や高齢者福祉施設、あるいは「子ども食堂」「おとな食堂」等のうち需要がある施設に対しても応需可能な体制とすること。 <p>また、都市農業との関係で、給食素材の地産地消を積極的にすすめること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が主体的に楽しめる、公園、競技場・球技場（オリンピック等に採用された新種の競技に対応できる施設設備も）、図書館（一般的図書館と、当地オリジナルな（特別の分野に特化した）図書館を併設）を設置すること。 ・大きな社会問題となっている、「待機児童」問題、小・中学生の「放課後の居場所」問題、小・中・高生の「部活」問題、高齢者の「入所待ち」問題を解決する施設等を十分に誘致・設置すること。 	<p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
23	<p>少子高齢化が進む現在の日本にとって、最大の課題は人口減少を止めることです。幸いにして横浜市は東京都のベッドタウンとしての価値はまだ失われていません。まず税金を投入してやるべきことは、子どもを産み、育てやすい場を提供することです。「継承する価値、新たにつくる価値」もこのコンセプト一点で進めるべきです。「当該地区及び周辺への効果や広域的な効果」が色々と謳われており、労作とは思いますが、眉毛にツバをつけたくなくなります。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>
24	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市は周囲に川崎市・東京都23区が有るため、東京湾周辺の人口の合計は4000万人、東京都だけでも1400万人在住 ・首都直下地震・南海トラフ地震で被災した場合、自衛隊は首都機能回復に尽力を尽くすので、東京都以外は自力復旧が必要 ・自衛隊は約24万人いるが、中国等の諸外国の脅威に備えるため24万人全員が被災地派遣には来ない ・横浜市は370万人という、他にない人口を抱えた都市で、災害協定している他都市が被災地派遣に来て、人数不足である ・つまり、被災時は横浜市は自衛隊派遣も微小、他都市支援も不足、自力で被災時の食料確保のために農地が必要となる ・被災時の救援物資もまずは東京都の復旧に使用される ・上瀬谷の農産物は、被災時に他都市からの物資が届くまでの大事な市民の補給線です、アスファルト・コンクリートで開発すべきではない 	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>また、公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）としていきます。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>
25	<p>駐車場やバスなどの利用が可能となれば、商業系開発を中心に据えて開発していくことが良いと思う。国交省のプロジェクト「ほこみち」を導入するなど、地区内に来てからはウォークアブルな空間を醸成し、車いす、自転車以外の乗り物がある程度規制していくなどの計画が良いと思う。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、居心地がよく歩きたくなる環境づくりを今後もしっかりと検討していきます。</p>
26	<p>自給自足を目指す。また自給自足を通して一人の人間ではできることが限られていることを実感し、地域の人々がコミュニケーションをとり協力していけるような場所にしてほしい。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、様々な機能・事業者、すでに地域で活動している団体などとの連携により相乗効果を発揮するエリアマネジメントについて今後もしっかりと検討していきます。</p>
27	<p>広大な敷地の使い方は大型テーマパークだけでなく花と緑の公園・再生エネルギーや水素の生産拠点・スポーツ施設・レスキュー拠点なども考えた方がいいと思います。花博のレガシーを活用して誰もが気軽に憩える場にしてほしいです。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、検討を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
28	<p>考え方は一見良さそうに見えるが現実的ではない。誰がどう見ても、経営者目線で考えればわかる。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
29	<p>・自然環境への効果</p> <p>自然環境への良い効果という点だが、まず緑地をつくったから自然に良いとは思いません。まずこの計画には物流拠点を作る、テーマパークを作り大勢の人を呼ぶ、高速道路を付近に引き伸ばすという構想がある。それに対して緑化をした所で具体的にCo2がどの程度削減されるのか示すべきだと思います。つまり、自然環境に良いという言葉、開発によって生じる環境への悪影響が上回るだろう予想があり、計画に矛盾が生じているということです。</p> <p>・地域経済への効果</p> <p>テーマパークを作るという点。年間見込み客は他のテーマパークの年間来場者数を見ると、かなりハードルが高いと言わざるを得ない。実現性が低く赤字を市民が負担しなければならない負の遺産になる可能性が高い。また、アクセスが良いというのはあくまで車であって、ディズニーやユニバーサルのように駅前ではない。車離れが年々進んでいる中、長期的に見ると自家用車や駅からバスなどを使わないとアクセスできない立地はテーマパークには向かないと思う。また、施設を作るのではなく、自然をそのまま活かしたフェス会場やキャンプ場など（他にもある）、現在の自然環境を最大限に活かす計画を立てるべきだ。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、 「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>なお、土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
30	<p>テーマパーク計画は無謀。悪意を持って横浜市や日本を潰したい意図が見え隠れしている。あんまり国民舐めるなよ。進めたやつ全員、国民からの最大限の侮蔑の対象にならない様にな。農業に活用せよ。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
31	<p>P.6本地区のデザインの考え方の継承する価値について、「本地区の持つ自然環境を受け継ぎ、価値を高める」のならば、現在の自然をそのままに残してください。テーマパークは造らず、国有地の広場とつなげて公園地区の草原が連続する元の広大な草原地帯を温存してください。現在、広場を含む市民の森の林沿までつづく広大な草原地帯は、キジ、ヒバリ、セッカなど多種類の野生生物の採餌、繁殖の場であり、多種類の猛禽類の狩の場でもあります。ただ草を残すのではなく、こうした生態系を受け継ぎ、いつ崩れるかわからないような状態ではなく、より強い生態系へと価値を高め、未来へ引き継いでください。</p> <p>そのためには、まず、道路建設で草原地帯を分断しないでください。キジなどの地上性の生物の繁殖に悪影響し、血が濃くなりやがて滅んでしまいます。地面すれすれの低空飛行で狩をする猛禽類や広大な空間を高速飛行で狩をする猛禽類もいます。そのほか多種類の猛禽類が狩をする貴重な場所です。どうしても道路を通さざるをえない場合は草原地帯は地下にしてください。八王子街道側から南へ行くとゴルフ場周辺は低い位置にあり、草原地帯は小高い丘のようにになっているのがわかります。また、現在、米軍のゲートのあたりから広場を抜け、環状4号線へ抜ける道がありますが、これも広場の手前までは低い位置にあり、公園地区と接する部分や広場の中は地下にできるのではないかと考えます。また、道路の下を生物が移動できるような形も考えられるはずですが、以前に環状4号線の北側を斜めに曲げて、車の流れがスムーズになったのに、現地の自然を破壊するような道路建設をする必要性がほんとうにあるのか疑問です。人口全体が減れば車の数も減るはずだし、高齢化が進む中、幅の広い道路をつくって高齢者が渡るのにたいへんな思いをするようなことや交通量の多い大きな道路というのは野生生物だけでなく子供にとっても危険でやめるべきではないのかと考えます。</p>	<p>生態系を保全するため、公園・防災地区において保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>なお、検討にあたっては、専門家等の助言も踏まえ、生態系への影響を可能な限り低減していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>つぎに、大量の遊歩道を草原地帯内に張りめぐらせ、大量の人間が草原内に入り込むようなことはやめてください。（花博時も同様。）遊歩道は従来からある農道を利用して尾瀬のように限定的につくり、キジやヒバリなどが営巣したり、猛禽類が狩をすることができるように遊歩道には柵をつくって人が自由に草地に入れない形にしてください。ただし、大量の柵をつくとすると今度は狩の障害物になりかねないので、広い空間を確保することが必要です。そのかわり、国有地の広場は従来どおり、地域の人々や市民に開放された場所として利用してもらえばいいと思います。広場は従来から地域のイベントが開かれたりした賑わいの場であり、ひきつづき、だれもが自由に利用できる賑わいの場として機能することを望みます。野生生物から見ても、広場に人がいる時間帯はわかっており、かつて畑や草原だった公園予定地は農業関係の少数の人しかいない場所という認識をもっているものと思われます。それが、大草原地帯の公園地区に大量の人が入ってきて、広場はテーマパークになってしまったら野生生物の生息場所がなくなってしまい、「自然環境を受け継ぎ、価値を高める」ことはできなくなります。広場の機能は従来どおり広場ではたし、広大な草原地帯は生態系を含め保護の視点が必要です。</p> <p>草原内に大量の桜の植樹をすることもやめてください。人間にとっては良くても、野生生物にとっては迷惑になる可能性が高いと考えます。高速飛行で狩をする猛禽類など、今まで開けた空間で自在に狩ができたのが、大量の桜の木が障害物になり思うように狩ができなくなるはずです。</p> <p>草原地帯内に人工物・建造物をつくったり、電線を張ることもやめてください。野生生物の繁殖、狩などの捕食活動の障害になると思われます。高速飛行の猛禽類にとって電線は凶器と化すので必要なら地下に敷設してください。景観の意味でも好ましくありません。</p> <p>さらに、「本地区の持つ自然環境を受け継ぎ、価値を高める」うえで地権者の保護が必要と考えます。戻ってきたところで売らなければならないのなら、返還されなかったのと同じことです。地権者に対してなんのサポートもせずに、ただ返還した国に対し、横浜市は責任を追及してほしいと思います。土地接收後2～3年で返還するなら単純に返せばいいかもしれませんが、何十年も接收し</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>ておいてただ返すでは、人間は年をとり働けなくなるのだから軍用金も断たれ、固定資産税を負担しなければならないとなると、土地を売り払わざるを得なくなります。その土地には優良な自然・生態系が残っています。確か、当初の時点で所管の大臣から市に対して、現地には優良な自然が残っているから十分な配慮をなささいというのが来ていたはずです。ならば、市は国にたいして、国が税の減免などで地権者を保護し、優良な自然の残る土地を売り払わなくてもすむようにしてほしいと要求するべきと思います。これは横浜市だけの問題ではなく、沖縄、ほかでも同じような問題があると思われ頑張してほしいところです。</p> <p>また、市はみどり税を地権者の保護にあてられないか、検討してほしいと思います。みどり税で地権者が土地を売らずにすむようサポートし、地権者にはその土地の自然を保護することを義務付ければ、みどり税の使い方としておかしくはないと思います。</p>	
32	<p>「継承する価値」の項目で 既存木の活用、現在の地形を活かした景観形成に賛成します。花博の際には、現在の地形を残して欲しいと思います。営農空間（農業のある風景）にも賛成です。現在の地形と農業を残していくため、河川は暗渠化や切り回しをせずに、活かして欲しいです。農業を中心に進めて欲しいので、現在ある田んぼを出来る限り残して活用して欲しいです。</p>	<p>本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p> <p>また、相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>
33	<p>デザインノートの記載の通り、継承する価値と新たな価値を融合して上瀬谷らしいまちを後世に残すことが良いと思った。このようなまちづくりをしっかりと進めてほしい。</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p>
34	<p>特に、広域的な効果については、本プロジェクトの成否に関わってくると思います。上瀬谷地区に国内外の多くの人々が来訪し、観光及び消費の喚起、さらには税収効果に繋がることを期待しております。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、今後もしっかり検討していきます。</p>
35	<p>人口減少の中、横浜市の発展（経済、地域、社会）のためには、必要不可欠な考え方だと思います。</p>	
36	<p>上瀬谷のデザインといっても、なかなかイメージがわからなかったが、今回のデザインノートは良くまとまっていると思う。将来が楽しみになりました。</p>	
37	<p>今ある継承する価値と新たにつくる価値が融合した、まちは楽しみです。</p>	
38	<p>まちの方向性がよくわかった。</p>	
39	<p>「まちづくり」とあるが、物流施設、農業用地、防災公園、観光賑わい地区に分かれている。住居地区がないため、まちづくりと言えるのか疑問である。日本が誇るグリーンシティとして、「グリーンシティ」とは何か？何を指すのか？シンプルなコンセプトを提示してほしい。</p> <p>上記のゾーン分けではあまり関連性が無いイメージを持つ。一環であるコンセプトが欲しい。</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討を進めており、各地区が連携することにより、計画地全体の価値が向上するとともに、周辺地域へも波及していくことで、環境と共生した郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していきます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」を今後もしっかりと検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>また、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
40	<p>テーマパークはTDLなどほんの2,3例しか成功例はなく、ほぼ負の遺産となっている。未来の子供たちの負担になる施設の建設に断固反対します！！</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p>
41	<p>掲げる「グリーンシティー」と「テーマパーク」は相反する考え。愛知の「ジブリパーク」を真似る？現状案のデザインやコンセプトがあまりにも抽象的すぎて、先のビジョンが見えない。読みの甘い算段では、将来への赤字資産になってしまう。なぜ全体を一気に進めようとするのか。現状の活動している部分を全て寸断する必要があるのか。理解に苦しむ。現状のデザインでは近隣に居住している住民は非常に迷惑。瀬谷が更に人口が減少し過疎化する。</p>	<p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとまり、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p>
42	<p>「デザインの考え方」の再考を表に出すことは控えめにすべきではありますが、この地域は、太平洋戦争時は弾薬等の倉庫であったいわば「国有地」（戦争前は民有地であったのか県有地であったのか、天領地であったのかは不明）です。国際園芸博には国民の税金が使用されることとなります。このことから、テーマパークという装置から得られる利益に関し、横浜市と地権者、関連企業だけがウイナーになることは国民の理解が得難いと勘案されます。勝者総取り方式 - Wikipedia ※グリーンシティー(出典：2027年国際園芸博覧会基本計画案)は評価できます。</p>	<p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p>
43	<p>「テーマパークを核とした」に異義。</p>	<p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
44	<p>テーマパークは不要。Y150のときのように赤字になるだけ。観光・賑わい地区を全て廃止せよ。全体をほぼ今のままとして公園・防災地区とすればよい。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、 「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえうえて「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>面積については、土地利用基本計画においては、観光・賑わい地区の面積は約125ha、公園・防災地区は約50haとしていましたが、自然環境の一層の保全・創出とレクリエーション等のニーズに対応した施設の充実を推進し、国際園芸博覧会のレガシーを継承するため、公園区域を約65haにし、観光・賑わい地区の面積は約70haへ変更しました。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
45	<p>新たにつくる価値で観光・賑わいゾーンは要りません。大阪のUSJの様なエンタメは環境破壊ですし、地球温暖化に貢献します。横浜市は地球温暖化促進都市になり、横浜市から地球を破滅する先駆けになります。</p> <p>物流拠点も必要ありません。但し、電気自動車や電気トラック、鉄道を引いて、CO2を出さない物流拠点にして下さい。相鉄線や横浜線を延長して、鉄道輸送にして下さい。その拠点駅から、電気自動車・電気トラックで配送するようして下さい。排気ガスを出す物流拠点は、地球温暖化・気候変動の基になります。防災公園を作る事に賛同します。既存木活用は賛同します。この地の材木を使った保育園、幼稚園、老人向け施設・図書館・災害用公営住宅を作る事に賛同します。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえうえて「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）としていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>なお、東名高速道路や保土ケ谷バイパスなどの広域的な幹線道路との近接性をいかし、新たな技術を活用した効率的な国内物流を展開する基幹物流の形成が期待されることから、物流地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、本地区の持つ、首都圏に近い広大な土地、交通利便性の高さといったポテンシャルを活かし新しい機能を誘導するとともに、農や緑といった自然環境を次世代へつないでいき、形を変えながらも価値を継承し、本地区のポテンシャルを最大限に活かすことで、新たな「持続可能な都市モデル」が創出できるよう、今後もしっかりと検討していきます。</p>
46	<p>上瀬谷地区については、最近知りましたが、テーマパーク建設を目指す聞き、黙っていられず投稿します。私の住む所から歩いて行ける所に、向ヶ丘遊園地がありました。1927年に開業し、2002年に閉園となり75年の歴史に幕を閉じました。戦後間もなく開園した当初、戦後の娯楽の少ない時代には、存在価値がありました。しかし、娯楽の多様化、娯楽施設の増加、ディズニーやUSJ等大規模テーマパークの誕生により閉園となり、20年経った今も跡地はそのまま無駄に残されています。最近、やっと活用計画が明らかになってきましたが、テーマパークなどといった計画ではない事は、多少の救いです。つまり、今、全く必要のないテーマパーク建設をすると、向ヶ丘遊園地と同じ末路を、辿ることは、火を見るより明らかでしょう。ここは、立ち止まって、将来的に市民にとって有意義な使い道を考えるべきではありませんか？食糧危機が叫ばれ始めている今、一次産業である農業の振興(若者達の参画推進)が、急務であり、危険な農薬を使わない自然農法をこの上瀬谷地区で展開し、食糧危機から市民、ひいては日本国民を救うといった夢溢れる計画を立案してはどうでしょうか？</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p> <p>農業振興の具体的な内容については地元の農業者や連携する企業・大学等と意見交換しながら検討を進めていきます。</p>
47	<p>全ての自然をそのまま残すことは不可能であり、新しい機能の誘導と形を変えながら価値を継承することは必要だと思う。その取り組みをどのように発信していくかが重要。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、本地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
48	自然を活かして	上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。
49	1500万人も人を呼ばなくていいので（アルメーレを参考に）、50年先に大事なものは間違いなく自然。そして農業福祉連携教育。横浜市民の為にあるべき。財政難にあり、出来るだけお金を使うべきではない。更地化は限定的にするべき。自然と里山にこそ価値がある。市会議員が言った里山みらいで良い。	地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。
50	自然あふれる上瀬谷になぜまちをつくるのですか？農や緑、自然の形を変えたら価値はゼロです、変えたら継承になりません。上瀬谷を変えないことがポテンシャルなのです。いかに上瀬谷を変えずに継承するのが持続可能性なのです。変えずに継承することが新たな価値なのです。まちづくりは自然環境へ効果は生みません、悪化させるだけです。経済、金儲けはみなとみらいが相応しいです。だって横浜市はみなとみらいの本町小学校は10年縛りなんですよ？金儲けのための企業を小学校より優先するのではないですか？上瀬谷のまちづくりは住民、地権者の総意でしょうか。国際園芸博覧会をやることを住民全員が賛成してますか？上瀬谷の自然に愛着、誇りのないひとはいるのでしょうか。	土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。
51	今回の再開発自体がどうしてもなく旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを下げるものである事をまず認識すべきです「継承する価値」として挙げられた「自然」「農業」「立地」の各々のポテンシャルは 旧上瀬谷通信施設地区を「242haの大きなただの器」としてしか考えない今のままの計画で再開発してしまえば 確実に変質 もしくは消滅するでしょう	

NO.	ご意見	本市の考え方
52	<p>グリーンインフラと言っているのに、実際にやろうとしていることは真逆である。自然環境を破壊し、花博のために桜並木を伐採しないでほしい。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p>
53	<p>開発ありきの屁理屈を立てているだけで、中身が全くない。周辺住民の住環境の悪化は全く無視されている。デザインでもなんてない。全国からの物流を集める？これを計画した人は、まず瀬谷に住め。どれだけ慢性的渋滞に悩まされているのか分かるはず。そこに物流を持ってくるのは地域住民へのイジメでしかない。金があるなら、悪化する前にとっとと瀬谷から移転したい。</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められてきています。</p> <p>東名高速道路や保土ヶ谷バイパスなどの広域的な幹線道路との近接性をいかし、新たな技術を活用した効率的な国内物流を展開する基幹物流の形成が期待されることから、物流地区を配置することとしています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
54	<p>この土地が「継承する価値」があるのは、「戦後手つかずで自然が残っている」ことではないでしょうか。そこが、一番の価値と考えます。ですので、切り土盛り土で土地を平らにし、大門川相沢川を埋めて暗渠にし、水田を埋めることは継承すべき価値の破壊です。破壊してはなりません。自然をそのまま残す、継承する方策に立ち戻って下さい。</p>	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。</p>
55	<p>5頁で上瀬谷のポテンシャルは豊かな環境にあるとし、6頁でポテンシャルを高め価値を最大化すると謳うが、上瀬谷の自然環境を更地にして川を切り廻し暗渠化してコンクリートやアスファルトで固めて、どう見ても豊かな環境をそのまま活かしているとは言えない。豊かな環境がポテンシャルと言うのは口先だけに思える。豊かな自然をそのままに、更地にしたり黒土を赤土に入れ替えたり川を暗渠化することなく、湧水を念頭に入れて、上瀬谷の豊かな自然環境を生かした整備を行うようにしてもらいたい。</p>	<p>また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
56	<p>令和4年3月18日の市会議員の質問を見るとコンクリートの擁壁ができる桜並木全部伐採川を切り回して暗渠化環境アセス評価も非常に厳しいグリーンインフラ、脱炭素 整合性はとれません</p>	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p>
57	<p>継承する価値に、なんで花博がある？自然が一番価値がある時代と思います。防災拠点や、大規模医療施設なら作る価値はあると思う。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討が進められてき</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>ているため、医療・福祉施設については現時点では難しいものと考えています。</p> <p>公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）としていきます。</p> <p>なお、土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>
58	<p>瀬谷地区は、八王子街道にしても環状4号線(海軍道路)にしても、渋滞するイメージが強く、車での移動に不便であるという印象があります。地域内の歩行者移動が、シェアサイクルや電動車いす、自動運転車両等に加え、動く歩道(水平型エスカレーター)のようなものを活用して歩行者の利便性が向上することは、魅力的だと思います。</p>	<p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、居心地がよく歩きたくなる環境と様々な交通ネットワークについて今後もしっかりと検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
59	<p>★ 「旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりに期待される効果」(P7)に関わって 都市農業の充実を図ること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 返還を受けた営農地主・地権者が安定的に滞りなく農業経営ができるように、十分な支援を行うこと。 ・ 上記、営農地主・地権者が高齢等のため事業継続が困難になった場合、承継が円滑にすすむようしっかり支援を行うこと。 <p>・ 新規就農を希望する市民に対し、情報を提供し、親身な（寄り添った）支援を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記、3項目を実行し、下記項目を実現するため、農業試験場・農業大学校・農地バンク等の機能を兼ね備えた市の機関を設置すること。 ・ 新種子の研究・開発、横浜発の新品種の研究・開発、横浜ならではの新名物・新名産の開発を積極的に行うこと。 ・ 当地内事業者、横浜市内事業者と積極的にコラボし、六次産業化の核となること。 	<p>本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p> <p>また、農業振興の具体的な内容については地元の農業者や連携する企業・大学等と意見交換しながら検討を進めていきます。</p>

(8p) 地区全体で取り組むデザインテーマ グリーンインフラ・脱炭素

NO.	ご意見	本市の考え方
1	季節毎にお花見や紅葉が楽しめるデザインを盛り込み、広域で大勢の人が行きかう価値を付加したほうがよいと考えます。	旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりにより新たに整備する（仮称）旧上瀬谷通信施設公園では、市民意見募集等を踏まえて策定した「（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画（案）」に基づき、四季を通じて楽しみながら自然と触れ合う心地よさや喜びを感じられる公園となるよう桜並木やサクラ広場のほか、テーマが異なる複数のガーデンや庭園などを整備する予定です。
2	太陽光発電は効率が良い一方、緑地景観と相性が良くないと考えており、緑地に馴染むデザイン検討が必要と感じています。また風力発電の検討も併せてお願いします。	いただいたご意見を踏まえ、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」を今後もしっかりと検討していきます。
3	太陽光発電、風力発電、微生物を利用したバイオマスエタノール燃料生成などでエネルギーを賄うモデルを作る	
4	太陽光発電や太陽熱発電、風力発電や小水力発電等広大な敷地をいかした再生可能エネルギーの拠点にしてください。また、再生可能エネルギーや省エネの研究施設や開発拠点を誘致し、横浜市を再生可能エネルギー研究・開発拠点にしてください。	
5	グリーンインフラ、脱炭素ともに、今の時世には必須の取り組みだと思います。カーボンクレジットを売るぐらいの大胆な取り組みを希望します。	
6	緑化、木材利用、地域内での電力確保が実現できれば。	
7	グリーンインフラ、いいですね。	
8	こうした取組は、2050年までに「Zero Carbon YOKOHAMA」の実現には不可欠であるので、再エネに関連する先進的な取組を行う拠点となって欲しい。	
9	本地区全体の熱源についての提案です。マスコミで話題になり、観光スポットにもなっているという最新技術を駆使した清潔なデザインの都市ごみ処分場の最新版を、この広大な地区内に設置して、発電機も回して地域冷暖房、売電等に役立てる、という案です。	

NO.	ご意見	本市の考え方
10	グリーンインフラは水をコントロールするための機能。	いただいたご意見を踏まえ、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」を今後もしっかりと検討していきます。
11	グリーンインフラや脱炭素の具体的な取組が記載されていてわかりやすい。	
12	グリーンインフラを考えると、微気候をつくり来訪者が経験できることが重要だと思います。植物の力を借り、樹木と人工物を組み合わせ、できるだけ人工物に頼らない環境を微気候というそうです。エネルギーの消費が抑えられればエネルギーを入手する必要もありませんから脱炭素というテーマにもかきません。	
13	グリーンインフラ、自然エネルギーの拠点を形成する。「Zero Carbon Yokohama」を実現するには、これまでの大企業主導では「2030年50%」の削減目標すら達成できない。太陽光発電などによる横浜版シュタットベルケ=自然エネルギー公社創設構想による地元中小企業、協同組合、市民の連携した地域分散型ネットワークシステムに切り替えるべきである。本地区を横浜市におけるその拠点として形成する。	
14	これからも技術が進歩すると思うので、時代に合った取組を進めてください。	
15	グリーンインフラや脱炭素のモデル地区となってほしい。	
16	これからの時代は、大事な取組。官民連携して取り組んでください。	
17	時代の先を行く、グリーンインフラ、脱炭素の取組が期待される。	
18	グリーンシティとして、ゼロカーボン、自給自足のまちづくりの骨格と思う。	
19	全く具体的ではない。	

NO.	ご意見	本市の考え方
20	<p>グリーンインフラ・脱炭素に賛同します。電線は無くし、電線・電話線・上下水道を地下化し災害に強い街にして下さい。脱炭素の決め手は「太陽光発電」と「電気自動車」移動手段として、自転車を推奨します。自転車専用道路を整備してください。レンタル自転車が有れば、上瀬谷を自由に楽に移動が出来ます。太陽光発電のパネルを貼った集合住宅がグリーンインフラの象徴になります。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画において、地区内道路の整備にあたっては、土地利用・基盤整備の考え方の中で歩行者や自転車等の通行に配慮した優しい空間を形成することとしており、地区内の環状4号線や地区内幹線街路においては広幅員の歩道や自転車専用通行帯を確保し安全確保を図るとともに、快適性の視点も取り入れながら検討を進めています。</p> <p>なお、地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討が進められてきているため、現時点で旧上瀬谷通信施設地区においては、住宅を整備するという事は想定しておりません。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」を今後もしっかりと検討していきます。</p>
21	<p>全く地域の状況がわかっていない。カジノ同様に、開発ありきで住民へのリスクを無視した計画だと思う。書いてある内容も具体性がない。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
22	<ul style="list-style-type: none"> ・公園などを工事で作る箱物のグリーンインフラは不要である、公園は管理費として税金を毎年必要とする、りっぱな箱物です ・公園として整備すると、管理費（税金）が毎年発生する、公園は税金のサブスクである ・農地として農家や就農したい人に、底地管理として草刈りなどもしてもらおうと、管理費が不要となる ・農地にする事で二酸化炭素の排出はなく、さらに二酸化炭素を吸収でき、無益な車両の通行もなくなり、脱炭素の効果は高まる ・グリーンインフラ、インフラの時点で管理費でサブスク管理費税金が発生する事に気付いてほしい ・グリーンインフラとして、横浜市内に何個大規模公園をつくれれば気が済むのか ・公園より自然の原っぱのほうが子供たちは楽しいし、想像性も身に付きます、公園はルールが必要なため、子どもたちの生きる力がそがれます 	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>また、公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、「みどり」とともにある持続可能で多様なライフスタイルを実践・発信する公園としていきます。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>
23	<p>グリーンインフラ・脱炭素を目指すならば、無用な開発は極力避けるべき。脱炭素を掲げる工事車両が、大型ダンプで長時間アイドリングをしているのが本末転倒。グリーンインフラ・脱炭素についてもデザインや掲げるものが抽象的すぎる。具体案が乏しい。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」を今後もしっかりと検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
24	<p>「本地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」として、</p> <p>「本市では…まちづくりを推進していきます。」の主張は賛成しますが、返還された広大な土地利用計画として、「観光・賑わい地区」があまりに大きい面積を占めており、上記の主たる目的を達成できるとは思えません。</p> <p>半分近くを民有地が占めていたとはいえ、農業振興地区をもっと広げ、この広大な緑地・農地を気候変動・地球温暖化ストップの為に水田・田畑・野菜畑・牧草地・果樹園等を作り食料自給率を上げる目的に活用すべきと考えます。</p> <p>また、農業でも太陽光発電と耕作を両立させている取り組みに学び、自立出来る農業として発展させることが重要と思います。</p> <p>また、太陽光発電と大型蓄電池を組み合わせ、再生可能エネルギーが有力な電源であることをアピールできる構想を持って欲しいと思います。</p> <p>太陽光発電の弱点を言う人もいますが、技術革新の進歩は早いと思います。シート状で壁に貼れるような方式も研究段階では完成しているようですので、再生可能エネルギー開発拠点の研究所を置くのも一つの方法だと思います。</p> <p>いずれにしろ、観光・賑わい地区を縮小し、市でも掲げた「本地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組をもっと大胆に進める案に検討し直すことを要望します。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>面積については、土地利用基本計画においては、観光・賑わい地区の面積は約125ha、公園・防災地区は約50haとしていましたが、自然環境の一層の保全・創出とレクリエーション等のニーズに対応した施設の充実を推進し、国際園芸博覧会のレガシーを継承するため、公園区域を約65haにし、観光・賑わい地区の面積は約70haへ変更しました。</p> <p>本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>なお、農業振興地区の規模は、横浜市の施策や現時点での地権者の意向を踏まえ、おおむね50haとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」を今後もしっかりと検討していきます。</p>
25	<p>太陽光発電等再エネ導入に反対 そもそも太陽光や風力発電の設備を作る過程での二酸化炭素排出量が多い為、脱炭素になっていない。これ以上「再エネ賦課金」を増やさないでください ジェノサイドパネルの混入を懸念 流通している安価な中国製のパネルはほとんどがウイグル強制労働のジェノサイドパネル</p>	<p>いただいたご意見は、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」に関するご意見として伺います。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
26	脱炭素は一切不要。緑を最大限に残せ。自然をぶち壊す対策がグリーン政策とは愚かしいにも程がある。	上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。
27	グリーンインフラの視点でのまちづくりを推進するのなら、はらっぱのままが一番良い。	
28	自然が解決してくれると	地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。
29	テーマパークで自然を壊します グリーンインフラ、脱炭素 目的に反しています	土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。
30	グリーンインフラ・脱炭素のためには、「旧上瀬谷通信施設全体を切り土盛り土で埋めて整地しないこと」、が必要ではないでしょうか。「ウェルビーイングな空間づくり」は、今のままのはらっぱとして残すことではないでしょうか。あれほどの、気持ちの良い空間は近隣にはありません。広場開放をおこない、自然散策が出来る環境をすべての地区で行うことが、「グリーンインフラ」であり、「脱炭素」ではないでしょうか。切り土盛り土でコンクリートやアスファルトで埋めてしまうのは、グリーンインフラ・脱炭素に反するのではないのでしょうか。	
31	自然をなるべく残すべき。手を加えて土木利権の餌食に横浜市民が巻き込まれないようにしてほしい。国の金だからと言ってジャブジャブ使うべきではない。	
32	自然環境を壊さず、取ってつけた箱庭の里山を作るようなことはしないでほしい。	
33	国際園芸博覧会で培った、人々の営みに根ざした身近なインフラとしてのデザインやネットワークづくり、脱炭素の先進的な取り組みを進め・・・意味わからん 何を培った？ 国際園芸博覧会で無くなる自然の損失の方が大きいのでは	

NO.	ご意見	本市の考え方
34	<p>「公園地区を中心にまとまりのある樹林や谷戸地形 水系 生息する生物といった環境要素をできる限り活用し」とありますが、旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業の説明会では「地区内の地形は全面改変する」との事でした。2027年国際園芸博覧会協会が発表した園芸博覧会基本計画を見ると、博覧会予定地には、いくらか現在の地形の起伏の名残はあるようですが、相沢川はまるでパッチワークのように水面が見える部分と水辺の植物が植えられた部分に作り替えられています。また、道路計画素案の説明会では「まだ分からない」との回答しかありませんでしたが、地区内に道路を新設するために新たに盛土切土する必要もあるでしょう。公園内移動に 電気自動車等を使用するとすれば、どう考えても起伏は少ない方がよいでしょうし、広大な駐車場用地も平坦な必要があるはずです。土地の改変工事や道路の新設工事も脱炭素で行われるのでしょうか？そうは思えません。この再開発は「グリーンインフラを形成するためにグリーンインフラを改変し脱炭素を目指すためにカーボンエネルギーをフル活用して行われるものである」更に 全開発完成後は年間1500万人を地区に呼び込むとの事 これが「脱炭素」でしょうか？ 二律背反 矛盾に満ちています</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>
35	<p>今後、まちづくりが進捗した段階で、実際に取り組んだ内容を発信した方が良い。</p>	<p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
36	<p>脱炭素は、必要ありません。気候変動デマを煽り、利権がらみで儲けを企む輩に与する必要は無いのです。</p>	
37	<p>○グリーンインフラ・脱炭素への取組みに対して、新たな技術開発を組み込むことによって、新たな産業なり経済成長を生み出していくことが重要と考えます。</p> <p>○広大な空間を活用できるわけですから、ハマの新たな魅力として、「食の安心・安全の提供と貢献」という軸を強く打ち出してほしい。</p>	<p>都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」を今後もしっかりと検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
38	<p>グリーンインフラってなんですか？ 見事な桜並木を全伐採して代わりに苗木を植えることがグリーンインフラですか？ 源泉を埋め、川を人工的に曲げて蓋をするのがグリーンインフラですか？ 丘を削り谷を埋めるのがグリーンインフラですか？ 田畑にアスファルトを敷き詰め駐車場にするのがグリーンインフラですか？</p>	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。</p> <p>また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p>
39	<p>環境に良いまちづくりを進めてください。</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
40	横浜市をアピールする良い機会。まち全体で取り組んでほしい。	<p>配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、今後もしっかり検討していきます。</p>
41	いかにも「良いことをやっている」と見せかけるような曖昧でわかりにくい「グリーンインフラ」というキーワードが何度も出てくるが、生息する生物の棲み処をなくし、川を暗渠化するのは自然破壊以外のなんでもない。	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。</p> <p>また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>さらに、生態系を保全するため、公園・防災地区において保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>なお、検討にあたっては、専門家等の助言も踏まえ、生態系への影響を可能な限り低減していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
42	<p>グリーンインフラを中心にしたのであれば、大規模な商業系よりも住居系開発が適当だと考える。ただし昭和の団地の現況のように、施設老朽化・居住人口の減少・高齢化で商業的な採算が合わず、商業施設の撤退などで買い物に苦勞するようなことが生じないようにしなくてはならず、一定の開発はしっかり行ってグリーンインフラの保全にこだわらずにはいけないと考える。脱炭素については、再生可能エネルギー利用促進や廃棄物の減少など一般的な話題が記載されているが、そうした理想がなかなか実現できないのはなぜか、課題を議論すべきであり、そこから脱炭素社会に向けた取り組みを決めるべきである。思い切って小型のゴミ処理場をつくり、エネルギー・資源のリサイクルなどの先進事例に取り組むようなことも考えてはどうか。</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討が進められてきているため、現時点で旧上瀬谷通信施設地区においては、住宅を整備するという事は想定しておりません。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」を今後もしっかりと検討していきます。</p>
43	<p>新たなまちができることのメリットを最大限に活かした取り組みを進めて欲しい。民間事業者の提案を求めるだけでなく、公共施設管理者も積極的に取り組んで欲しい。「実証実験の場」として、様々な取り組みにチャレンジすることも良いと思います。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設地区においては、国際園芸博覧会の開催を契機として、豊かな環境と共生した新たな活性化拠点形成するなど、横浜の未来につながるまちづくりを進めています。</p> <p>本地区では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、各地区が連携することにより、地区全体の価値が向上し、周辺地域へも波及していくことを期待しています。</p> <p>そこで、「観光・賑わい地区」の事業者公募において、「地区全体で目指す姿」を提案者にメッセージとして示すことで、質の高い提案を引き出し、より良い土地利用を誘導していきたいと考えています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」を今後もしっかりと検討していきます。</p>
44	<p>郊外部の新たな活性化拠点の形成は不要ですので、多様な交流も賑わいも不要です。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様のご長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>

(9p) 地区全体で取り組むデザインテーマ ネットワーク

NO.	ご意見	本市の考え方
1	区域外の地域の施設や緑豊かな市民の森等をつなぐ歩行者・自転車ネットワークの形成、期待します。	いただいたご意見を踏まえ、居心地がよく歩きたくなる環境と様々な交通ネットワークについて今後もしっかりと検討していきます。
2	大変広大な土地であるため、交通ネットワークの整備は不可欠と考えております。近接する交通インフラとの連携や新たな交通など、様々な手段の導入によるネットワークの形成に期待しています。	
3	自動運転車両や電動車いすなどの導入は素晴らしいと思います。歩行者通路には四季を感じられるようにしてほしいです。	
4	いままでの地域のつながりが重要と	
5	瀬谷駅を基点としているが、出発点から、目的のエリア、施設でのアプローチまで、待ち時間を最短とすることが、リピートのポイントの一つになると思います。広大な敷地においては、多方面、多様なアプローチにより、自分の目的迄スムーズに行ける施設を望みます。	
6	歩行者ネットワーク『何度も訪れたいくなる』ということからすると、横浜の市民の森は緑豊かで起伏に富んだ素晴らしい環境にあるが何度もというところが気になる。皇居周辺が散歩者や市民ランナーが大勢しかも何度も訪れることを参考にすると、起伏に富むではなく、四季折々の顔を見せる景観と、日本の伝統が感じられる建造物や庭的なものが好まれるのではないかと考える。	
7	日々、散歩に行きたくくなるような、様々なコースがあると良い。	
8	ガソリン車ゼロ、自動運転車、自転車と歩行を自由に選択する考えはよい。	
9	自転車でデザインの良いまちを走るのは楽しみです。	
10	4つの地区が全体で取り組むデザインとして、道路空間が持つ役割は大きいと思います。各地区をつなぐデザインの考えはないのでしょうか。	<p>土地利用の異なる4つの地区が連携してまちづくりを進めていく中では、地区間のつながりを創出する境界のデザインを丁寧に進めることが重要と考えています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、公民連携による境界のデザインについて今後もしっかりと検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
11	<p>4地区をつなぐ手段が一番いいのは鉄道です。イメージとしては「ちんちん」電車です。後は自転車、三輪自動車、電気自動車です。観光にぎわいゾーンは要りません。CO2を出さない物流地区であれば賛同します。上瀬谷は、自然の宝庫です。公園と農地・森林に特化してその恵みを利用するレストランは必要です。横浜市に災害用住宅が不足しています。災害用住宅を観光・にぎわいゾーンに造ってください。その片隅に農業・林業の資源を生かしたレストランやショップを作るべきです。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、 「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、居心地がよく歩きたくなる環境と様々な交通ネットワークについて今後もしっかりと検討していきます。</p>
12	<p>P9 P13に自転車歩行者の移動が提示され、自歩道は地区を中心に比較的イメージ可能な絵がでているが、自転車道（または自転車によるアクセス）は、広域、横浜市内のみならず大和方面との接続についても方向性を示すべき。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、居心地がよく歩きたくなる環境と様々な交通ネットワークについて今後もしっかりと検討していきます。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、P9に自転車ネットワークの概念図を記載しました。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
13	交通ネットワーク 年間どれだけの人が上瀬谷を訪れるのかわかりません ドリームランド モノレールは開業1年半で運行休止	新たな交通については、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保しながら、整備コストの抑制を図っていく視点で、新たな技術の活用も含め、幅広い検討を進め、観光・賑わい地区における事業予定者決定により、来街者の需要を見通しながら、輸送システムを検討していきます。
14	横浜市外の人を呼び込むような場所ではなく、横浜市民にとって有益な安心して居られる場所にしてほしい。	上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。
15	瀬谷西高校の生徒のみなさんは横浜市により母校がなくなりふるさとの上瀬谷が金儲けのために破壊されることについてなんとおっしゃいますか？彼らたちが大人になって遠くに暮らすことになってしまったら上瀬谷に帰ってきたら高校のときと変わらない上瀬谷に出会えるのが金儲けよりも財産になるのではないですか、それは横浜市にとっても同様です。	地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。 引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。
16	快適で魅力的な歩行者空間ならば、桜並木は残すべきだ。老木化などしていない。健康な若い木も根元から切られているのを見た。酷いことをするな。瀬谷西高校に、政治家を呼ぼうとして問題になったこともあった。「はらっぱ」は国際園芸博覧会のために無くなることも書くべきだ。このデザインノートには良い事しか書かれていない。悪いことも隠さず書くべき。	上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。 地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。 また、海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。 このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくと

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>いう考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p>
17	<p>居住者が歩きたくなる。近隣にどれだけ高齢者が多い街になっているか。ご存じでしょうか？花博・テーマパークを運用中に外周を歩く？交通システムの誘致をしても採算に不安な状況で、何を投資するのでしょうか。不要です。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>また、旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画において、地区内道路の整備にあたっては、土地利用・基盤整備の考え方の中で歩行者や自転車等の通行に配慮した優しい空間を形成することとしており、地区内の環状4号線や地区内幹線街路においては広幅員の歩道や自転車専用通行帯を確保し安全確保を図るとともに、快適性の視点も取り入れながら検討を進めています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>
18	<p>新たな街、田畑、公園、周辺の里山含めた開発整備は必要だと思います。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、検討を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
19	<p>「周辺の住民をふくめた本地区を訪れる人々が、その緑の空間や楽しさを享受できる仕組み」のためにはテーマパークは不必要ではないでしょうか。テーマパークは、道路を舗装し高低差が無いように整地することが不可欠だと思います（違いますか?）。また、この頁は「期待されます」ばかり文末で言っています。具体的な方策に欠けているのではないのでしょうか。「ご期待に添えませんでした」「極力残しました」と、自然破壊されてしまうことをとても危惧します。しかもその時に、「市は「期待」したのですが、「住民が協力してくれませんでした」」など、市の責任ではないと言い逃れされてしまいそうに思いました。繰り返しますが、テーマパークは、道路を舗装し高低差が無いように整地することが不可欠だと思います。「周辺の住民をふくめた本地区を訪れる人々が、その緑の空間や楽しさを享受できる仕組み」のためにはテーマパークは不必要ではないでしょうか。テーマパークを想定した「観光・賑わいゾーン」の縮小を求めます。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたくて「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
20	<p>人が行き交わない農地をすすめる</p>	<p>集客型農業の展開等を通じて市民や来街者が農や食と触れ合う機会を作り出すことで、横浜市の特色ある農の魅力を広くPRしていきます。</p> <p>農業振興の具体的な内容については地元の農業者や連携する企業・大学等と意見交換しながら検討を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
21	<p>・横浜市は道路交通網が少ないので、首都直下地震・南海トラフ地震を考慮すると、道路網は減災につながるので賛成</p> <p>・物流拠点は周囲に十分にある、もし追加で作るとしても、もともとあった場所を再開発するのが都市整備局の腕の見せ所では</p> <p>・既設箇所を再開発で、町の強靱化を都市整備局にはして欲しい</p> <p>・何も無い所に物流拠点を作るのは、都市整備局のような</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められてきています。</p> <p>東名高速道路や保土ヶ谷バイパスなどの広域的な幹線道路との近接性をいかし、新たな技術を活用した効率的な国内物流を展開する基幹物流の形成が期待されることから、物流地区を配置することとしています。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、居心地がよく歩きたくなる環境と様々な交通ネットワークについて今後もしっかりと検討していきます。</p>
22	<p>交通の利便性を活かし、物流拠点。来場者に開かれた物流施設。災害時の避難所として活用できる物流施設の整備ができれば。</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められてきています。</p> <p>東名高速道路や保土ヶ谷バイパスなどの広域的な幹線道路との近接性をいかし、新たな技術を活用した効率的な国内物流を展開する基幹物流の形成が期待されることから、物流地区を配置することとしています。</p> <p>なお、災害時にも物流機能が維持されるとともに、救援物質の受け入れや配送等、公的な物流機能、地域の一時的な避難場所や広域応援活動拠点との連携を担うことも期待されます。</p>
23	<p>テーマパークに来た人が、そのエリアだけに行くのではなく、他の公園や農地に立ち寄りてみようとなるような道路、交通環境の形成を望みます。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画において、地区内道路の整備にあたっては、土地利用・基盤整備の考え方の中で歩行者や自転車等の通行に配慮した優しい空間を形成することとしており、地区内の環状4号線や地区内幹線街路においては広幅員の歩道や自転車専用通行帯を確保し安全確保を図るとともに、快適性の視点も取り入れながら検討を進めています。</p>
24	<p>ジョギング環境にも良さそうなので、広い歩道を整備してください。</p>	
25	<p>自転車と歩行者が混在しないような整備をお願いします。</p>	
26	<p>ウォーキングしたくなるような、環境整備をお願いします。</p>	
27	<p>散歩、ジョギングがしたくなるような歩道の整備をお願いします。</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
28	<p>歩くことを基本とした設計がいいと思います。もちろん、支援を必要とする人を対象に人工物を整備することとの両立が必要です。ただ、過剰な人工物（例えば、電動であっても乗り物類は人工物）は景観維持や、環境保全、ランニングコストの点で控えるべきだと思います。緑は環境保全機能が高い樹木を中心にして、不必要な花壇はランニングコストが高く、環境保全機能も良くありませんので避けて、なるべく集約すべきだと思います。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画において、地区内道路の整備にあたっては、土地利用・基盤整備の考え方の中で歩行者や自転車等の通行に配慮した優しい空間を形成することとしており、地区内の環状4号線や地区内幹線街路においては広幅員の歩道や自転車専用通行帯を確保し安全確保を図るとともに、快適性の視点も取り入れながら検討を進めています。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、居心地がよく歩きたくなる環境と様々な交通ネットワークについて今後もしっかりと検討していきます。</p>
29	<p>自転車ネットワークも検討してほしい。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画において、地区内道路の整備にあたっては、土地利用・基盤整備の考え方の中で歩行者や自転車等の通行に配慮した優しい空間を形成することとしており、地区内の環状4号線や地区内幹線街路においては広幅員の歩道や自転車専用通行帯を確保し安全確保を図るとともに、快適性の視点も取り入れながら検討を進めています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、P9に自転車ネットワークの概念図を記載しました。</p>
30	<p>地区南側の環状4号線は、自転車ネットワークになっているが、今は自転車道や自転車通行帯が整備されていません。このままで整備済なのか、未整備であればいつ整備するのか教えていただければと思います。また、その時、道路を広げるおつもりなのか、そのままなのか。そのままなら、幅員構成を変えるのか変えないのか、教えてください。子供とサイクリングをするのですが、新しい公園にサイクリングで行けるのか知りたいです。楽しみにしています。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画において、地区内道路の整備にあたっては、土地利用・基盤整備の考え方の中で歩行者や自転車等の通行に配慮した優しい空間を形成することとしており、地区内の環状4号線や地区内幹線街路においては広幅員の歩道や自転車専用通行帯を確保し安全確保を図るとともに、快適性の視点も取り入れながら検討を進めています。</p> <p>なお、地区外南側の環状4号線については、現時点で拡幅する予定はありません。また、自転車通行帯等の整備時期も未定です。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
31	<p>半年間の花博に1,000万人も集客するには、団体客のバス以外の交通手段は、自家用車か鉄道の利用が主になると思いますが、鉄道は三ツ境駅、瀬谷駅、大和駅、中央林間駅、十日市場駅からのシャトルバス輸送が不可欠だと思います。しかし、乗り換えの利便性に関しては、それぞれに抜本的な対策が必要だと思いますので、十分な検討を望みます。</p>	<p>国際園芸博覧会の来場者輸送については、円滑な輸送の実現に向け、瀬谷駅、十日市場駅、三ツ境駅、南町田グランベリーパーク駅の4つの駅、東名高速道路、保土ヶ谷バイパスとも近接しているという立地特性や、今回計画している道路を活かした輸送アクセスについて、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会が警察や交通事業者、横浜市などの関係者による協議会を開催し、検討を進めています。今後、計画がまとまった段階でお示しする予定と聞いています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
32	<p>予定されていた新交通システムが不可能になったので 歩行者・自転車ネットワークという案を出して来たのでしょうか？ 確かに旧上瀬谷通信施設地区周辺は 横浜市内にしては起伏が少なく自転車で行き来しやすいと言えるでしょう。然しながら周辺道路は車の往来が激しく、特に、拡幅予定とはいえ海軍道路は北側卸売センターへの大型トラックや八王子街道に抜けるトレーラーなどが通ります。自転車通行の安全は確保できるのでしょうか？ 自動運転車両や電動車椅子なども挙がっていますが、何れも海軍道路だけが拡幅された現在の道路事情を考えると安全には強い疑問が残ります。また、駅から旧上瀬谷通信施設までの約3.6kmを お年寄りや小さな子どものいる家族連れが歩くのは想像以上に大変ですが、計画者は実際に歩いて御覧になったのでしょうか？ 拡幅予定の海軍道路には今現在は桜並木があり、夏場は日陰をつくってくれています。けれども計画によると、この令和5年春にも全伐採・撤去が始まるそうです。新しい苗を植えて桜並木を「再生」したとしても、当分の間は 日陰を作る程葉が繁る事は無いでしょう。何度も歩いた者として言わせてもらえば初夏から秋にかけて 桜並木をつくってくれる日陰の無い道を瀬谷駅から旧上瀬谷通信施設地区まで歩くのは、熱中症必至です。この計画は「市が予定している新たな交通」=採算の見込みが無い交通と併せて机上の空論としか言いようがありません。当初目論んでいた「上瀬谷LINE」が頓挫して血相を変えて怒っていた市議さんがおられました。第三セクターが採算の取れる見込みの無い計画に参入しないのは、むしろ誠実な姿勢です。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画において、地区内道路の整備にあたっては、土地利用・基盤整備の考え方の中で歩行者や自転車等の通行に配慮した優しい空間を形成することとしており、地区内の環状4号線や地区内幹線街路においては広幅員の歩道や自転車専用通行帯を確保し安全確保を図るとともに、快適性の視点も取り入れながら検討を進めています。</p> <p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>また、海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
33	上瀬谷から瀬谷駅方面への車やアクセスはやめてもらいたい。そもそも瀬谷駅前の道路は1車線だし、駅も小さな駅で集客できるような駅では無い。十日市場からシャトルバスで、人を運んで瀬谷駅側からのアクセスは遮断してもらいたい。	交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。
34	駅との接続を考えるのは当然だが、それ以外の交通手段で、どのように地区にアクセスするかについて検討すべきだと考える。地区内のネットワークは何とでも考えることができるが、既存の周辺地域をどうつなぐかを考える方が重要だと思う。	具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。
35	にぎわい施設が成功するためには、ディズニーランドやUSJのように、県外、海外のお客を取り込むことが重要だと思います。羽田空港や新幹線、東名高速道路からのアクセスを便利にしてほしいと思います。	引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。
36	直結できる道路、新交通があれば、ポテンシャルが最大になる。	引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。
37	道路整備が出来ないんじゃない？ シーサイドラインも相鉄も辞退した場所でしょ	
38	瀬谷駅からの利便性が重要だと考えますので、歩道等の環境整備も含めた検討をお願いします。	
39	自動運転バス運行を積極的に検討いただきたい一方、最高速度が低い場合は道路交通の効率化悪化にもつながるとかんがえ、従来型バス運行とのバランス検討もお願いします。渋滞緩和が命題と感じています。	交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。
40	車でのアクセスもしやすいと助かる。駐車場待ちなし、渋滞なし、案内看板の充実など。	具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。 引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。 また、いただいたご意見を踏まえ、居心地がよく歩きたくなる環境と様々な交通ネットワークについて今後もしっかりと検討していきます。

NO.	ご意見	本市の考え方
41	<p>新たな交通についてですが、当初計画の瀬谷駅から旧上瀬谷通信施設まででは需要が少なく、また訪問者も使いづらい面があると感じます。横浜線や田園都市線まで繋がれば旧上瀬谷通信施設まで各地から訪れる方の利便性があがります。また、横浜市西部交通空白区解消になり、通勤通学観光に使いやすくなり、住民の利便性があがり、住民や交流人口が増え横浜市西部振興につながります。</p> <p>新たな交通は金沢シーサイドラインのような新交通が理想ですが、もし費用や工事、土地収用が難しいなら、自走式ロープウエー「Zippar（ジッパー）」を使用してはいかがでしょうか。現在秦野市で実験中で、従来の公共交通機関より設置の負担や費用が大幅に下がると報じられています。国際園芸博覧会開催地として脱炭素にもつながる新しい公共交通機関を利用すれば、便利になりかつ先進性をアピールできます。</p>	<p>新たな交通については、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保しながら、整備コストの抑制を図っていく視点で、新たな技術の活用も含め、幅広い検討を進め、観光・賑わい地区における事業予定者決定により、来街者の需要を見通しながら、輸送システムを検討していきます。</p>
42	<p>瀬谷駅から盲腸線となる新交通は採算が取れず、横浜市の新たな財政負担となるばかりです。コミュニティバスによる対応をお願いします。</p>	
43	<p>環状4号線は、花見と言っても車の中からしか見ることができない。官民連携による境界のデザインについて、環状4号線は桜並木を再生したら、歩行機能だけでなく、ベンチなどを置いてゆっくりお花見をできる空間づくりをしてほしい。次世代に誇れる新たな桜の名所づくりに期待しています。</p>	<p>海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p>
44	<p>誰がどう取り組むのですか？ そう言った具体的な事が何も表示されてない。</p>	<p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
45	<p>事業者の立場からすると、どのくらいの輸送・道路のインフラができるのかがキーだと思われます。「新たな交通」が何で、どのくらいの輸送能力でいつできるのかがいちばん知りたい所です。ズーラシアは土、日、祝日は混雑します。仮に当初、計画にあった新交通システム、シーサイドラインの様なモノレール形のシステムが、一編成200人、10分に1回、毎時1200人、10Hで1万2000人程度のシステムができれば、ズーラシアや子供の国レベルのテーマパーク（または群）ができそうです</p> <p>モノレール（新交通システム）ができる場合を考えます。花博の有料来場者数を1000万人以上とありますから何かしらできる。要は新交通システムを作るにあたり、国と市と事業者の負担割合等がわかりにくいのです。花博までに公園地区までの路線は作るのでしょうか。（南半分）その後の北半分は何年にできるのか？逆に、花博の入場者数が少なく、新交通システムの乗客も少ない様な状況になった場合に新交通システムは延伸するのでしょうか。</p> <p>（質問）</p> <p>核となるテーマパークがない場合はどうするのか？横浜市にはズーラシア、シーパラダイス、みなとみらいの博物館、美術館等があります。似た様な物を作っても集客は困難です。土地が広くて、市や近隣にないテーマパークのアイデアが今ひとつ思い浮かばないのです。テーマパークがない場合いわばBプランの検討もしておいた方が良くと考えます。</p>	<p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>新たな交通については、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保しながら、整備コストの抑制を図っていく視点で、新たな技術の活用も含め、幅広い検討を進め、観光・賑わい地区における事業予定者決定により、来街者の需要を見通しながら、輸送システムを検討していきます。</p> <p>なお、2027年国際園芸博覧会の来場者輸送については、円滑な輸送の実現に向け、瀬谷駅、十日市場駅、三ツ境駅、南町田グランベリーパーク駅の4つの駅、東名高速道路、保土ヶ谷バイパスとも近接しているという立地特性や、今回計画している道路を活かした輸送アクセスについて、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会が警察や交通事業者、横浜市などの関係者による協議会を開催し、検討を進めています。今後、計画がまとまった段階でお示しする予定と聞いています。</p>
46	<p>自転車ネットワークがわからない。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、P9に自転車ネットワークの概念図を記載しました。</p>
47	<p>自転車ネットワークもわかるようにしてはどうか。</p>	
48	<p>市内からの来街者もいるだろうから自転車ネットワークをしっかり記載してもいいのでは。</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
49	<p>上瀬谷ラインは要らない。海軍道路の桜並木を伐採するのも中止すべき。海軍道路を拡張するのであれば、桜並木はそのまま、今ある道路を自転車および歩行者用道路とし、農業振興地区の部分を道路にすればよい。平原副市長は「上瀬谷の桜並木は老木化が進んでいる」などといって伐採しようとしているが、台風等による倒木の被害は横浜市全体で起きていることであり、海軍道路の桜の木だけということは全くない。「桜並木を切らないで」の3万人を超える署名を無視して伐採することなど許されない。</p>	<p>新たな交通については、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保しながら、整備コストの抑制を図っていく視点で、新たな技術の活用も含め、幅広い検討を進め、観光・賑わい地区における事業予定者決定により、来街者の需要を見通しながら、輸送システムを検討していきます。</p> <p>また、海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p>

(10p) 地区全体で取り組むデザインテーマ 公民連携による境界のデザイン

NO.	ご意見	本市の考え方
1	<p>民地は必要ありません。市有地・国有地を活用して、自然・農地・森林を保全して、環境破壊・地球温暖化を横浜市から推進すべきです。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設は、2015（平成27）年6月に返還された米軍施設跡地であり、民有地と国有地が約45%、市有地が約10%を占め、約242ヘクタールに及ぶ首都圏においても大変貴重な広大な土地です。</p> <p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>
2	<p>ディズニーやUSJは古いので、斬新なテーマパークに期待。</p>	<p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
3	官民、一体感がある整備をして欲しい。また、照明柱や信号柱は統一感がある色彩やデザインをお願いしたい。	いただいたご意見を踏まえ、公民連携による境界のデザインについて今後もしっかりと検討していきます。
4	東京駅周辺は、照明の柱や信号の柱等の色が統一されていて、いい雰囲気を出している。地域で約束事を設けてデザインが統一できれば良いのでは。	また、いただいたご意見を踏まえ、P10の「相対する地区から見た時の境界部のデザイン」のキーワードに「景観に配慮した統一感のあるサイン等」を記載しました。
5	デザインが統一された案内サイン等を検討してはどうか。	
6	よくわかりません。	今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。
7	何が言いたいのかわからない。市民に意見を求めるならわかりやすい資料にしてください。	
8	これをどこに作るのかわからない。具体的な場所を示していないので意味がない。何をやりたいのかも不明	P10では、公民連携による境界のデザインを記載しました。ご指摘のとおり、位置は特定していませんが、土地利用の異なる4つの地区が連携してまちづくりを進めていく中で、地区間の繋がりを創出する境界のデザインを丁寧に進めていくことが重要であると考えています。 今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。
9	海軍道路の桜並木を全伐採せずに道路整備する方法を考えてください。一度でも考えましたか?? 全伐採ありき、ではなくて残すための方法考えるのです。	海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。
10	海軍道路の桜並木の両側に道路を新設すれば、海軍道路の桜並木は伐採せずに済みます。計画の見直しをしてください。	このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。
11	道路に木が必要であれば、今の海軍道路の桜並木はそのまま残すべきだ。老木ではない木も既に切られていたが、なぜだ?	令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。

NO.	ご意見	本市の考え方
12	<p>道路空間と一体となった景観及び歩行者空間を形成 これが、海軍道路桜並木にあたるのでしょうか。海軍道路桜並木については、市民や周辺自治体の住民のみならず、日本中のソメイヨシノ、桜並木を愛する人々が伐採しないで欲しいという願いを込めた35000筆を超える署名を山中竹春市長に提出しました。このニュースは日本国内のTVニュース・新聞・ニュースサイトで報じられた他、BS TBS「噂の東京マガジン」やシンガポールの「The Strait Times」にも取り上げられました。然しながら、横浜市は頑なに「全撤去(移植できる株は移植)して植え替え」という姿勢を崩していません。デザインノートの資料を見ると、歩道から民有地にある商業施設に直接出入りする事を想定しており「現在の桜並木を活かして 仙台定禅寺通りのような両側に車道、真ん中に歩道」という提案も「候補として話題にさえ上っていない」(道路素案説明会)のはそのせいなんだと腑に落ちました。旧上瀬谷通信施設地区は、AIPHが提唱する「緑地を都市に融合させ 自然と人工環境を統合する事により よりよい生活と経済活動を可能とする都市像(グリーンシティ)」を目指すそうですが、新しい都市を造るために今ある桜並木を全撤去し、新しい桜を植えるのはこのグリーンシティの精神に果たしてマッチするのでしょうか？ 今現在海軍道路の桜並木は「健全なもの」「弱ってきているもの」「伐採が必要なもの」「切り株」「切り株から生えたひこばえ」の状態です。「古くなったから全とっかえすればいい」ではなく、撤去した場所に新しい苗を植えることで「木の一生」それぞれの状態を愛でる事が出来る「新しい形の桜並木」にすれば「まちへの誇りや愛着の醸成」になるのではないのでしょうか？ それこそが「グリーンシティ」だと思います。再三言っている事ですが、大きく育ったソメイヨシノの移植は容易ではないそうです。そしてソメイヨシノ以外の桜を植えたとしても桜は枝落ちするものですし、秋になれば葉も落ちます。世話の要らない街路樹などありません。</p>	<p>海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p>
13	<p>歩行者空間については国交省の「ほこみち」の考え方を参照にしてはどうか。よくまとまっていると思う。大規模施設の圧迫感を無くすためのセットバック等の規制は、それが大きくなると民間事業者が参入しにくいと思う。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、道路空間と一体となった景観及び歩行者空間の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
14	民間でできない部分を官庁で補う。	<p>いただいたご意見を踏まえ、公民連携による境界のデザインについて今後もしっかりと検討していきます。</p>
15	公と民がそれぞれ土地を提供して広い空間が生まれることにより魅力的な地区となる。公と民の連携は必要であり、行政がイニシアチブをとってまちづくりを進めるべき。	
16	境界のデザインはとても素晴らしいと思います。	
17	民間側にとってわかりやすくなっている。	
18	良い考えと思います。「境界のデザイン」というより、道路と民地の沿道部分、一体を「みち空間」と呼び、よりよい空間ができることを期待します。	
19	道路のデザインが良いと日々の散歩が楽しくなる。公民で良い道路を整備して、維持管理も連携して進めると良いと思う。	
20	街路樹も公民両者がうえるのではなく、シェアしたら良いのでは。	
21	地区間のつながりよりも各地区同士が干渉しないようにしてほしい。	
22	視覚的にわかりやすい。公民連携は必要。	
23	図があってわかりやすいページだと思います。	
24	公民連携の取組をわかりやすく紹介していてとても良い。	
25	公民が連携することにより、よりまちの価値が向上する。	
26	もっと俯瞰した視野が欲しい。いきなりディテールを記載している感がある。	
27	農地にすれば整備は最低限で済む	
28	空想にも程があります。非常に危険で、税金の無駄遣いになりかねません。	
29	公民連携 横浜市が莫大な借金を背負うこととなります	
30	この開発は公民連携して、不便な土地の値上げ(地上げ)を目論見、市街化調整区域を大規模改編するようだが、それは、接収されていた時に地権者へ支払われていた保証金の穴埋めか？ 利権構図には境界線など存在しないと思われる。地が上がったら簡単に民間に売り捌けるようになるだけ。果たしてそんな開発をして良いのか？	

NO.	ご意見	本市の考え方
31	観光・賑わい地区は不要です。	上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。
32	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模デベロッパーや不動産会社や鉄道会社の民間との連携は、無益に商業施設をつくるため不要 ・ディズニーリゾート級のテーマパークは日本に2つ（ディズニーとUSJ）で十分である ・私が外国人なら、日本に観光に来る目的はテーマパークでは来ない、日本の歴史的文化や、手のくわえていない自然を見に来ます ・私が外国人で世界のテーマパークに行くなら、日本ではなく本場アメリカに行きます、また世界的にも〇〇ディズニーランドかUSJの2つです ・日本人で横浜在住の私は、ディズニーとUSJに行きます、横浜は何のテーマパークかわかりませんが、ディズニーとUSJにはかなわない ・日本のテーマパーク競争では、上瀬谷は周囲に歴史的観光地も無く、確実に負けると判断します（ディズニーは江戸文化、USJは京都・奈良があり、横浜は不利すぎる） ・横浜市内は商業施設（ショッピングモール）が多すぎる、ショッピングモールで客のパイの取り合いとなっている ・上瀬谷周辺だけで、グランベリーモールが近辺しており、座間にコストコ、中区・都筑区はショッピングモールの宝庫で、市内の経済が滞る ・横浜市は今後人口減に伴い、ショッピングモールの撤退が予想できる事が安易に想像できる、その後は中国人が安価で買収するでしょう（北海道の横浜版、中国マネーにより、知らない間に市内の土地は多く中国資本となる、横浜省となり、かっこ悪くなるでしょう） ・撤退後にタワマンを作っても、日本人の人口減で購入するのは、中国人となる事が安易に想像できます 	<p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたくえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
33	歩行者と自転車が一緒に交流するようなイメージとなっているが、現在の横浜市内は自転車専用道路が少なく、交通事故の大きな原因となっている。新規に作る道路については、自転車専用通路や一般車両の送迎専用スポットを設け、交通事故が起りにくい構造にしてほしい	旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画において、地区内道路の整備にあたっては、土地利用・基盤整備の考え方の中で歩行者や自転車等の通行に配慮した優しい空間を形成することとしており、地区内の環状4号線や地区内幹線街路においては広幅員の歩道や自転車専用通行帯を確保し安全確保を図るとともに、快適性の視点も取り入れながら検討を進めています。
34	とにかく歩道、用地確保が可能であれば場合によっては自転車専用道路の確保をお願いします。住民の安全が第一です。	

NO.	ご意見	本市の考え方
35	地区内道路は歩行者（特に子供）、自転車が安全で快適に移動できるようにして欲しい。歩道、通行帯の幅員確保。横断歩道、横断信号の各所への配置。など	旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画において、地区内道路の整備にあたっては、土地利用・基盤整備の考え方の中で歩行者や自転車等の通行に配慮した優しい空間を形成することとしており、地区内の環状4号線や地区内幹線街路においては広幅員の歩道や自転車専用通行帯を確保し安全確保を図るとともに、快適性の視点も取り入れながら検討を進めています。
36	「歩くことが楽しくなる」取組であり、回遊性の向上に資すると思っております。	上瀬谷のまちづくりにあたっては、本地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。
37	自然を	地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。
38	「大規模施設の圧迫感を軽減」とありますが、そもそも、「大規模施設」を作らなければいいのではないのでしょうか。この、「大規模施設」とはどこのなにを指しますか？ テーマパークだとしたら、なにか決まっているのですか？ 決まっていなかったら、「大規模施設」の誘致をやめて自然景観を残して生かしたデザインに変更して下さい。	土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。
39	過度に期待して、どんどん金を使うな。今ある自然こそ素晴らしい。特定企業に中抜きさせないで欲しい。瀬谷市民が上瀬谷をよく知り、親しめるよう民間だけでなく住民連携したらどうか。	上瀬谷のまちづくりにあたっては、本地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。
40	樹木、丈夫な木質性の幹をもち、大きく育ちます。多年生の植物で管理が大変で、食物連鎖で※よこはまのどうぶつえん。動物でキリンのエサで、動物のエサになると樹木、葉を取りに来てます。（細谷戸にある、樹木葉を）植木職人、動物担当の方が？来てます。旧上瀬谷通信施設で新たに緑や、樹木をそだてて、施設内の樹木が利用出来るか。調査を、	地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
41	<p>自然を残すのか、人工的にするのか。何故人工的なものをわざわざ造る必要があるのか。海軍道路の現状が一番良いと思います。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p>

(11p) 地区全体で取り組むデザインテーマ 災害対応力の強化

NO.	ご意見	本市の考え方
1	<p>災害対応力を強化するのであれば、それに特化した開発をするべき。花博・テーマパークを誘致して、災害に強くは意味が不明。全てを網羅するほどのポテンシャルは無い。現状であれば花博を先に開催する意味が全くないように思える。花博を飛ばし、テーマパークなのか防災拠点なのか、先の視点が全く見えない。なぜ花博を開催するのか？開催せずに次の開発を進めたほうが現実的で理想的。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたくて「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>難場所としての機能) としていきます。</p> <p>また、国際園芸博覧会については、旧上瀬谷通信施設が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p>
2	<p>広域の防災と地域の防災が連携できると良い。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、P6の「新たにつくる価値」に公園の持つ防災機能について、具体的に記載しました。</p>
3	<p>大規模災害における横浜の広域的防災拠点として整備する。ここを中核的な防災拠点として整備することによって、周辺地域、市内全域を含めた防災力が高まり、災害に強い安全、安心なまちづくりの推進役を担える。</p>	
4	<p>大義名分ばかりでお話になりません。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>
5	<p>災害拠点については、マンホールトイレの整備、地下水の汲み上げスポット整備、災害物資貯蔵庫を大きくする他、太陽光と蓄電池を充実させるなどして、災害時に多くの方が気軽に携帯などの充電ができる設備や、無線Wi-Fiを飛ばして置けるように整備してほしい</p>	<p>公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能) としていきます。</p>
6	<p>災害対応を含めたことには評価しますが、災害対応以外にパンデミック対応も必要と考える。具体的には災害対応の避難施設にパンデミック対応の医療、入院施設が必要であり、物流、医療用にヘリポートの設備が必要</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
7	<p>災害用住宅は必須です。電線を無くし、地下に「電線・電話線・上下水道」を作り、上瀬谷の景観を明るくすることです。災害用の倉庫を木造で創り、上瀬谷で出来た、米・麦・蕎麦・小麦を貯蔵する事です。水補完も必要です。災害用井戸を残すべきです。</p>	<p>公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）としていきます。</p>
8	<p>大規模災害に備えた拠点というものを中心に考えた開発は、公共でなければできない。ヘリポートや大型物資倉庫などの整備は400万人近い人口を抱える横浜市にとって、もっとあってもよいと思う。思い切ってこうした機能を中心に考えることもよいかもしれない。</p>	
9	<p>大災害時に緊急に必要となる避難民の収容施設の準備についての意見です。先ず市が何万人を収容するかを決めて敷地の整備後、例えば千人収容ユニットの部材ストックを順次増やしていった緊急時に備える。平常時には、一ユニットを地区利用者の休憩所や、落雷、にわか雨などの緊急避難所などとして活用する。</p>	
10	<p>災害対応力の強化は、重要です。もし災害が発生した際に、物流拠点となりうるハードとソフト、初期に道路啓開できるような仕組み・エリアづくりが重要と思います。</p>	
11	<p>いざ災害が起きた時に、すぐに機能するシステムが重要だと思います。是非防災にも強い横浜を上瀬谷から発信して行ってください。</p>	
12	<p>ぜひ防災拠点としての確立をお願いします。</p>	
13	<p>今後50年以内に発生すると言われる大地震による横浜臨海部は相当ダメージを受けることが予想されます。内陸部の本開発はその代替となるような機能や設備を有してもらいたい。</p>	
14	<p>災害時には、敷地内施設を災害拠点として活用できる体制作りを行う。</p>	
15	<p>このテーマは、地味であるが極めて大事なもので、迫りくる大災害を想定した恒久施設、仮施設の構想の上に立った作成開始は早すぎることはないと思います。</p>	
16	<p>災害対応は重要なテーマだと思います。</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
17	非常時における危機管理・防災機能の重要性は一層高まっていますので、感染症対策を含めた防災・減災に資するハード及びソフト整備を同跡地にて進めてもらいたい。	公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）としていきます。
18	個人や地域で実現可能な自給自足モデルを提示し、災害対応力の強化につなげる。	
19	広大な敷地を活かして、広域的な災害支援拠点にしてほしい。	
20	絶対に強靱化計画を推進しろ。	
21	これまでの震災の経験を活かして、地域でも取り組めるような防災計画としてほしい。	
22	これまでの経験を活かして、災害に強いまちをお願いします。	
23	まずは、周辺地域の防災が重要。	
24	レスキュー拠点を作るのが良い。これからはあらゆる災害に備えるべき。	上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。 約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、 「人口減少、超高齢
25	市の災害対応の重要拠点として必要か？必要なら	
26	横浜だけでなく今や日本でいつ災害が起きても不思議ではありません。それに備えるのが危機管理であり、行政の義務です。横浜市は大企業に多額の補助金をあげるのではなく、市民の命、生活を守るために私たちの税金を使ってください。そのためにはまず消防救急隊員を増やし教育訓練をすること。病院やそこに勤める看護師、医師、関係者を増やすこと。水道、道路、建築などインフラに関わる技術者を増やすこと、水道民営化なんてもってのほかです。	
27	大規模災害時にも役に立つ、防災レスキュー拠点にすべし。したがってテーマパークはやめるべき。テーマパークや花博による渋滞で、大規模災害でなくとも救急車や消防車が通れなくなる恐れがある。	

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）としていきます。</p> <p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
28	<p>広大かつ平坦な地形だからこそ、花博やテーマパークをやるべきではない。できるかぎり今の樹木や川をそのまま残すべきだ。横浜市が今やろうとしているものではなく、市長選で立候補者が政策にあげていた「防災レスキュー拠点」とするべきだ。横浜市はセンスがないし、山中竹春には無理だ。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>を進めていきます。</p> <p>公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）としていきます。</p> <p>また、国際園芸博覧会については、旧上瀬谷通信施設が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p>
29	<p>上瀬谷の土地の多くをテーマパークとせず自然公園とし、災害時にはレスキュー拠点となるように整備してほしい。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）としていきます。</p>
30	<p>防災面は、民間事業者側での積極的な提案を期待します。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設地区においては、国際園芸博覧会の開催を契機として、豊かな環境と共生した新たな活性化拠点を形成するなど、横浜の未来につながるまちづくりを進めています。</p> <p>本地区では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、各地区が連携することにより、地区全体の価値が向上し、周辺地域へも波及していくことを期待しています。</p> <p>そこで、「観光・賑わい地区」の事業者公募において、「地区全体で目指す姿」を提案者にメッセージとして示すことで、質の高い提案を引き出し、より良い土地利用を誘導していきたいと考えています。</p>
31	<p>旧上瀬谷通信施設地区環境影響審査会でも指摘されていましたが、公園、殊に上瀬谷のように、自然保護の役割を果たす公園と広域防災拠点は並び立つものではありません。重機が集結する必要がある広域防災拠点に足回りの悪い草地は向かないし、希少な動植物を踏んで滅ぼしてしまう恐れがあるという指摘を受けての改善措置は無かったですでしょうか？また、公園防災地区より幹線道路にアクセスが良いのは(当然ですが)北側の物流地区です。広域防災拠点は物流地区に造るべきです。</p>	<p>生態系を保全するため、公園・防災地区において保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>広域応援活動拠点としての位置付けは、これらの生息環境以外で位置付けられるよう、検討していきます。</p> <p>なお、検討にあたっては、専門家等の助言も踏まえ、生態系への影響を可能な限り低減していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
32	賛成 そして、賑わいエリアを農地にすれば、調整池などの設備投資の資金が不要となる。私たちの税金ですよ？	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>面積については、土地利用基本計画においては、観光・賑わい地区の面積は約125ha、公園・防災地区は約50haとしていましたが、自然環境の一層の保全・創出とレクリエーション等のニーズに対応した施設の充実を推進し、国際園芸博覧会のレガシーを継承するため、公園区域を約65haにし、観光・賑わい地区の面積は約70haへ変更しました。</p> <p>なお、農業振興地区の規模は、横浜市の施策や現時点での地権者の意向を踏まえ、おおむね50haとしています。</p>
33	阪神大震災のテレビを見ても、重要なことが良くわかる。これまでの経験を踏まえた計画を立ててください。	<p>いただいたご意見を踏まえ、市域・周辺地域での災害対応力の強化に向けて、今後もしっかりと検討していきます。</p>
34	災害対策は重要。しっかりと取り組んでください。	
35	良いと思います。拡充を期待。	
36	P11に、災害対応力の強化が挙げられているが、災害時の移動・輸送手段の確保が見通せるような取り組みへの説明を追加するべき。	<p>いただいたご意見を踏まえ、今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様にご情報提供するとともに、ご意見を伺いながら旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
37	<p>「広域的防災拠点の機能」をこの地区に持たせるとしたら、南東部のみでは足りないと思います。「物流ゾーン」側にも、防災拠点を置くべきではないでしょうか。テーマパークの区域があまりにも広いと感じます。4地区に分けなければいけない理由も、ここを読むとよくわからなくなります。この地区に「広域防災拠点の機能」を持たせるとするならば、根本的に4地区に分けたデザインを見直し、テーマパーク部分をもっと狭くし、北部・南部ともに拠点を作る方が良いのではないのでしょうか。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>面積については、土地利用基本計画においては、観光・賑わい地区の面積は約125ha、公園・防災地区は約50haとしていましたが、自然環境の一層の保全・創出とレクリエーション等のニーズに対応した施設の充実を推進し、国際園芸博覧会のレガシーを継承するため、公園区域を約65haにし、観光・賑わい地区の面積は約70haへ変更しました。</p> <p>なお、土地利用の具体化にあたっては、地区全体での防災機能の強化も検討していきます。</p>
38	<ul style="list-style-type: none"> ・ 770億円のうち、調整池を150億円かけて設置する意味がわからない、自然破壊していませんか、大雨時の災害対応力を弱めていませんか ・ 首都直下地震等や、世界情勢で食料輸入が困難になった時のために、横浜に農地を残そう、それが災害対応力の強化になります ・ 観光・賑わい地区は避難所を減らし、被災箇所を増やすだけです 	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）としていきます。</p> <p>また、本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p>
39	<p>渋滞が悪化して、救急車や消防車が来る時間が遅れるだけ。瀬谷は高齢化が進んでいるので、従来なら間に合って命が助かった人も、この計画で間に合わなくなる死者が増えると思う。地域に住む住民を危険にする計画は絶対におかしい。</p>	<p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>

(11p) 地区全体で取り組むデザインテーマ エリアマネジメント

NO.	ご意見	本市の考え方
1	交通費や宿泊費を使っても行きたくなるエリア開発を望みます。	いただいたご意見を踏まえ、様々な機能・事業者、すでに地域で活動する団体などとの連携により相乗効果を発揮するエリアマネジメントについて今後もしっかりと検討していきます。
2	まちの発展のためには、エリアマネジメントは重要であり、土地をお持ちの方や周辺の住民も含め取り組んで行く必要がある。	
3	エリアマネジメントは重要だと思います。	
4	民間や住民などとの対話を重視していただき、連携を図りながらエリアマネジメントの徹底を図っていただきたい。	
5	公園地区と観光賑わい地区の境界部分は、例えば上野公園のような、自然と文化が融合した、広く開放的な気持ちの良い空間になると良いと思います。30年後、50年後を想定した街路計画と、維持管理方針があると良いと思います。	
6	是非、土地をお持ちの方や地域の方も含め取り組んでほしい。	
7	事業者だけのエリアマネジメントではなく、地権者、営農者も含めたバランスのとれた地区全体での、エリアマネジメント活動を期待します。	
8	地域の方も参加することが重要。	
9	エリアブランディングには「持続可能な都市モデル」の強調が重要だと思います。横浜市のアイデンティティと今後の展望をしっかりとアピールし、市民には安心感と誇りを感じていただきたいし、横浜に外から人を呼び込み、できれば定住して納税者が増えることを期待したいと思います。	
10	民間企業や地域の方が参加しやすいような仕組み作りが必要だと思います。	
11	エリアマネジメントの取り組みは賛成。地域の方も含めて進めてほしい。	

NO.	ご意見	本市の考え方
12	日本ファースト	上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。
13	5エリアでそれぞれの思惑があれば、統一された良い施設は完成しない。横浜市や国、県などは先に何を見据えているのか。地域の人口増加なのか、観光収入なのか、インバウンドの収入なのか。現状の住民の事など全く考えていないように思える。	地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえ、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。 引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。
14	外国の介入がない事が必須	引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。
15	4地区のゾーン分けはあまり関連性が無いイメージを持つ。一環であるコンセプトが欲しい。地区全体のブランディングをどうするのか？まずはここを徹底的に討議して決めてほしい。私は、日本が誇る「グリーンシティ」が分かりやすいが、「グリーンシティ」とは何か？世界での事例も研究してほしい。物流、農業、テーマパーク等で横浜市の経済をよくするエリアにするのか？理想郷として住めるまちづくりをするのか？どちらの方向性か？	地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえ、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討を進めており、各地区が連携することにより、計画地全体の価値が向上するとともに、周辺地域へも波及していくことで、環境と共生した郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していきます。 今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。
16	区域内に住む人が少ないと思うので、周辺の人・企業だけでどのようにエリアマネジメントを行うのか、イメージがわからない。	今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。
17	「すでに地域で活動している団体」と書かれているが、具体的に団体名や活動内容を記載しないと意見は出せない。わざと曖昧にして意見を聞かないようにしているのか。	また、いただいたご意見を踏まえ、P11の「様々な機能・事業者等により相乗効果を発揮するエリアマネジメント」にエリアマネジメント団体の事例を記載しました。

NO.	ご意見	本市の考え方
18	農地で残そう	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>なお、農業振興地区の規模は、横浜市の施策や現時点での地権者の意向を踏まえ、おおむね50haとしています。</p>
19	4地区に分ける必要は有りません。まずは上瀬谷の自然を残す事。農地を残す事・森林を残す事、その残りに災害用住宅、保育園、幼稚園、児童館、老人施設、病院を作り、憩いの場として、レストラン・いろいろな木製品とか農産物を売るショップがあればいいとおもいます。横浜市も経済成長のみ追いかけて、人間として必要なものを見失っています。人間・生物としての「安らぎ」と安心・安全です。緑を出来るだけ多く残し、エネルギーは自然エネルギーに依存する横浜市にして下さい。再開発で横浜市をこれ以上破壊しないで下さい。先人が作り上げてきた豊かな自然を破壊しないで下さい。環境破壊は戦争と同じです。絶対にやってはならない事です。	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
20	<p>これ以上、他からの車や人の流入はありえない。やるなら、移転を希望する周辺住民の土地や家を市が買い上げて、市営住宅や市の高齢者施設の斡旋を行うべき。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>また、交通渋滞対策については、土地利用基本計画に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
21	<p>観光・賑わい地区が、広すぎます。テーマパークは頓挫しているじゃないですか。この地域の縮小を求めます。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえ、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>面積については、土地利用基本計画においては、観光・賑わい地区の面積は約125ha、公園・防災地区は約50haとしていましたが、自然環境の一層の保全・創出とレクリエーション等のニーズに対応した施設の充実を推進し、国際園芸博覧会のレガシーを継承するため、公園区域を約65haにし、観光・賑わい地区の面積は約70haへ変更しました。</p>
22	<p>観光・賑わい地区は不要。公園・防災地区をもっと広げるべきだ。「すでに地域で活動している団体など」はどのような団体なのか。横浜市と裏で手を握っている団体が含まれているのではないか？</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえ、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>面積については、土地利用基本計画においては、観光・賑わい地区の面積は約125ha、公園・防災地区は約50haとしていましたが、自然環境の一層の保全・創出とレクリエーション等のニーズに対応した施設の充実を推進し、国際園芸博覧会のレガシーを継承するため、公園区域を約65haにし、観光・賑わい地区の面積は約70haへ変更しました。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、P11の「様々な機能・事業者等により相乗効果を発揮するエリアマネジメント」にエリアマネジメント団体の事例を記載しました。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
23	上瀬谷のブランド方向性をまだ理解不十分なため、引き続き勉強します。情報発信をお願いします。	今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様に情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。
24	内容がぼんやりしていてよくわかりません。	
25	「5エリアのマネジメント」の意味が不明です。「相乗効果」については理解できますが、マネジメントとは「どのようなノウハウで達成するか」を求めるものであり、「5エリアのマネジメント」をどうするのか明確にさせていただく必要があると思います。	
26	具体的な分かりやすい内容ではなく 大枠を説明されてもピンときません。	
27	この項は、あまりにも曖昧なイメージしか書かれておらず、意見をすることは不可能です。観光・賑わい地区、農業振興地区、物流地区、公園防災地区、それぞれの事業を独立して行うだけでなく全体としてのエリアマネジメントを行うことが重要だというのは尤もです。然しながらリーダーシップを取ってそれぞれの地区の事業デザインをまとめられる人材が横浜市に居るでしょうか？ 少なくとも 山中竹春現市長でない事だけは確かです。	

NO.	ご意見	本市の考え方
1	<p>例えばラスベガスのベラージオホテルのような噴水ショーは、無料で観光客を呼び込むことに成功しています。有料による財源確保はIRではない方法の検討をお願いします。</p> <p>海外観光客インバウンドを考えると、日本の強みを意識したコンテンツ誘致も検討いただきたいです。(ポケモンなどの著名なゲーム、アニメとの共創など)</p>	<p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p>
2	<p>日本が持つ文化、技術、地域資源の融合</p> <p>◎テーマパークは世界の人が 日本全国の人が来るような施設とする。…来街者を見込めるテーマパーク</p>	<p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
3	<p>テーマパークとあるが、ディズニーランドやUSJ級のテーマパークを誘致出来ないかと正直厳しいのでは？市内のパシフィコ横浜、横浜アリーナや、県外の東京ビッグサイト、幕張メッセのような屋内外のイベント会場を主軸におき、期間を設けイベントやフェスのような催し物を実施したほうが、恒久的な集客が見込めると思います。広さがあるため、かなり大きなイベント(フェスや音楽コンサート)も誘致可能と思います。テーマに沿った発信(日本の文化?)もその中で実施した方が、汎用的に施設として使用でき良いと思う。その他、グランピング施設、バーベキュー施設などは郊外に出ないと楽しみにくいというところから需要はあると感じます。</p>	
4	<p>市外在中ですが、上瀬谷にテーマパークいいですね。是非世界に誇れるテーマパークを。</p>	
5	<p>以前、横浜に住んでいました。横浜にテーマパークができることを楽しみにしています。</p>	
6	<p>ディズニーやUSJより、楽しめる施設だとうれしい。</p>	
7	<p>自然環境の活用もよいが、せっかくお金を払っていくので、夢のある空間を作り上げてほしい。</p>	
8	<p>内陸部である上瀬谷の賑わいと横浜市の財産であるウォーターフロントが相乗効果となって横浜全体の賑わいとなるように工夫が必要。</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
9	<p>テーマパークは、アトラクションが常に更新されていく魅力が色あせない取り組みが必要で、テーマパーク運営者選定には、そういう観点から選考をしてもらいたいと思います。神奈川地区には本格的な大規模テーマパークはなく、競合もないですし、年間数百万人が集う地域になれば内陸部の発展につながると思います。</p>	<p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p>
10	<p>食を中心とした、観光・賑わい地区の形成。小規模なカジノ誘致。</p>	<p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
11	<p>西洋のものではなく、日本そしてアジアを代表する東洋の文化を発信できるような施設が出来ることを期待します。</p>	<p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
12	<p>市内や近隣にないテーマパーク、施設となると限られます</p> <p>○強みは広い事なので以下は案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴーカート ・フィールドアスレチック、都市型サバイバルゲーム場（シンプルな更衣室とシャワーのある建屋、レンタルトレーニングウェア） ・ドローン競技場 <p>○横浜市内に少ない物、広い世代で楽しめる物。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和の街並館 昭和40年代の街は他にありそうなので、昭和50年代の街並を再現した街です。1975年ぐらいの街や家 <p>以下は例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1975年代に流行したハウス。例えばプレハブ住宅。 <p>2020年代の現在よりも広い窓、トタンの屋根、煙突のある風呂。</p> <p>個人浄化槽、ブラウン管のテレビ、FMアンテナとオーディオ、ブロック塀</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年代現在もあるのだが、かなり形態が変わった施設、店、駅 <p>1980年代のスナック、カラオケシステム</p> <p>1980年代のゲーム場、チューリップのあるパチンコ台、ピンボールマシン、スペースインベーダーゲーム機、デパート、マネキン、回転する回転すし屋、瀬谷駅の復元、相鉄の車両、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・70～80年代の車、バイク、自転車、家電、衣服 <p>たばこ屋、BOX型公衆電話、古いパトカー、消防車。車ならカローラやサニー、電飾のある自転車、まきで作る焼イモ器、強制排気の灯油ファンヒーター、オープンリール録音機、つめえりの学生服、警察や消防の制服</p>	<p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
13	テーマパークは、既存の遊園地とは異なるものを期待しています。例えば、テーマを「楽しく、健康づくりに役立つ遊園地」とし、付属として利用しやすい各種スポーツ施設を設けるといいます。	観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。
14	テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討されていますが、決して一過性のコンテンツで終わることのないよう、ブランディングの構築や収益性などを綿密にシミュレーションした上で、事業を実行していただきたい。	本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。
15	特大の頑丈な温室を作り、熱帯林と花に囲まれた温水プール、レストラン、アトラクション等で集客を図る。 熱源案については、マスコミで話題になり、観光スポットにもなっているという最新技術を駆使した清潔なデザインの都市ごみ処分場の最新版を、この広大な地区内に設置して、発電機も回して地域冷暖房、売電等に役立てる、という案です。	いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。
16	インバウンドも取り込める国際観光拠点にしてほしい。	
17	少なくとも、町の表に面する部分については、景観に配慮した施設になると良いと思います。	
18	新しい技術を駆使したテーマパークは楽しみです。	
19	横浜の郊外部には魅力が足りない。郊外部の目玉となるようなテーマパークを作ってほしいです。そして、テーマパークには、それが見えたら来たなーというワクワク感が出るような象徴的なものができるといいです。	
20	日本の技術で世界を圧倒するようなテーマパークを実現してほしい。	
21	テーマパークを楽しみにしています。USJのようなテーマパークがほしいです！	
22	横浜市西南一帯にわたる歴史風土、民俗関連の施設の建設と、郷土について学べる文化事業のいっかんとしての拠点づくりがのぞましい。	
23	テーマパークの計画が具体化すると地元は盛り上がるので早く進めてほしい。	
24	上瀬谷の顔となる地区だと思えます。施設の内容だけでなく、エネルギーや通信技術なども最先端の技術がみれると良いと思います。	

NO.	ご意見	本市の考え方
25	上瀬谷の核となる施設に期待しています。	<p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
26	何ができるか楽しみです。まちの活性化につながると良いですね。	
27	エリア的にこの地区の占める割合は非常に高く、まずは核となるテーマパークの誘致が重要だと思う。	
28	日本の四季を生かしたデザインを盛り込んではどうか。	
29	何度でも行きたくなるような施設とは、何なのかわからないけど、そこは、民間の力が必要だと思う。	
30	テーマパークと自然の共存のイメージがわきませんが、どんな施設ができるのか楽しみにしています。	
31	最先端の技術でどのような施設ができるのか楽しみです。	
32	観光名所になるような施設を期待しています。	
33	何度でも行きたくなる施設を期待しています。	
34	夢がある計画だと思います。将来にも誇れる施設を期待しています。	
35	テーマパークにするのであれば、リピーターが来て収益が上がる必要性がある。	
36	せっかくなので、楽しめるテーマパークを期待しています。	
37	日本のアニメーション作品の世界観を仮想空間体験・疑似体験が出来る大型遊戯施設（テーマパーク・アミューズメントパーク、アトラクションパーク）を設置し、未来を軸に平和と環境をテーマに掲げて運営する施設の提案。現在国内にある大型テーマパークは海外の作品を主軸として運営されています。そういうテーマパークを日本アニメ作品が主となり、作品のテーマやメッセージを込めながら、尚且つ環境に配慮した運行をし、そして、アニメをとおして、未来、平和、環境の要素を織り成して運営する形を提案します。	

NO.	ご意見	本市の考え方
38	<p>テーマパークの中身は民間に任せて魅力的なコンテンツを導入してほしい。ポケモンとかいいな。ぜひ横浜市が世界に誇れるテーマパークを誘致して欲しい。公園地区も隣接しているようだから、遠くから来た人がTDLやUSJみたいにホテルを作って上瀬谷に数日間滞在できるようにしてほしい。一刻も早い開業を心待ちにしています。</p>	<p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p>
39	<p>地元の小売店舗が出店できる余地を残してもらいたい</p>	
40	<p>まちのデザインとなるテーマパークはどんなものになるか期待しています。</p>	<p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
41	<p><u>発信力と競争力のあるコンテンツ</u> 日本のアニメやアイドル等サブカルチャーで人気の高いものを取り入れる。 例：ビッグサイトで行われるコミケや、アニメの世界が体現されたような施設、テーマパークは同じコンテンツでは飽きが生じてしまうため、一部期間限定のコーナーやブースがあれば尚よい。入場者でなくてもテーマパークの雰囲気あるスペースは、Y150の時のメインのくもみたにならないように、あくまで来場者が一番楽しめる、料金に見合う価値の提供すべき。</p>	
42	<p>・ディズニーランドがすっぽり収まるほどの広大な土地なのでテーマパークも良いと思う。しかし、入場料の必要な施設だけでなく、日常的に利用できる施設もあると嬉しい。</p> <p>・地元には大きな商業施設がないので、商業施設には期待している。</p> <p>・商業施設は、どこにでもあるようなものだと面白くないし、差別化もできない。素案では、公園地区と賑わい地区が別になっているが、公園×商業施設（自然も感じられる商業施設）のようなものはできないのだろうか？</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討を進めており、各地区が連携することにより、計画地全体の価値が向上するとともに、周辺地域へも波及していくことで、環境と共生した郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していきます。</p> <p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
43	<p>近くに余暇施設ができることは楽しみです。大変だと思いますが、将来の子供達のため頑張ってください。</p>	<p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p>
44	<p>大人でも行きたくなるような施設だと嬉しいです。</p>	<p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p>
45	<p>テーマパーク楽しみです。大人も楽しめるように。</p>	<p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
46	<p>わくわくするようなテーマパークに。孫がいるので早く整備して。</p>	<p>また、いただいたご意見を踏まえ、P13の「観光・賑わい地区」の説明に、幅広い世代を呼び込む旨、記載しました。</p>
47	<p>横浜にテーマパークができることは、ワクワクする。是非、大人も楽しめるような施設を期待する。</p>	<p>また、いただいたご意見を踏まえ、P13の「観光・賑わい地区」の説明に、幅広い世代を呼び込む旨、記載しました。</p>
48	<p>周辺の公園・防災地区や農業振興地区に合わせて子供達の為の施設が良いと思います。例えば、千葉にあるマザー牧場の様な、羊、ヤギ達と触れあえる場所がふさわしいと思います。羊の放牧エリアやドッグラン、牛の牧場エリアとそこでのミルク アイスクリームコーナー等、1日楽しめる施設になります。大人も楽しめる事、受け合いです。検討して下さい。</p>	<p>また、いただいたご意見を踏まえ、P13の「観光・賑わい地区」の説明に、幅広い世代を呼び込む旨、記載しました。</p>
49	<p>テーマパークができることは、家族皆楽しみにしています。地元割があるといいですね。</p>	
50	<p>テーマパークや商業施設は活性化されてとても良いと思いました。特に商業施設は年代問わず利用出来て良いと思います。</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、今後もしっかり検討していきます。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、P13の「観光・賑わい地区」の説明に、幅広い世代を呼び込む旨、記載しました。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
51	<p>農業振興と連携したイベントを計画したら、より多くの来場者が来るのでは。</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討を進めており、各地区が連携することにより、計画地全体の価値が向上するとともに、周辺地域へも波及していくことで、環境と共生した郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していきます。</p> <p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
52	<p>魅力のあるテナントがたくさん入っている商業施設があると行ってみたいくなる。テーマごとに複数のエリアに分かれていると利用しやすい。（御殿場プレミアムアウトレットのように少し高級感のあるエリア、ららぽーとのように少し庶民的なエリア、若者や子供が楽しめるエリア など）</p>	<p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、P13の「観光・賑わい地区」の説明に、幅広い世代を呼び込む旨、記載するとともに、P13の「ヒト・モノ・コトが行き交い、経済が活性化する、新たな横浜の拠点形成」及びP14の「機能集積・賑わい誘導」の説明に、商業施設を記載しました。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
53	<p>観光・賑わい施設が完成して活気が出ることは喜ばしいこと。ただ心配なのは交通渋滞なので、そこをしっかりと取り組んでほしい。</p>	<p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p>
54	<p>テーマパークは世界経済の変動に左右されます。又、いま新型コロナウイルスで休園や入場者減で経営危機を経験しました。</p> <p>(例として) ハウステンボスは、1992年オープン10年後には会社更生法を申請し、現在、香港投資会社に資本移動しました。(USJにも資本投資しています) 入場者の伸びなやみ、魅力あるイベントの難しさです。当地区も1,500万人/年の希望的数値を掲げていますが、日本の人口も世紀末には7,000万人と予想されるといいます。未来永却を願うには厳しい未来です。1日4万人の入場者、交通機関駐車場等思いやられます。区民の日常生活にも配慮してほしいと要望します(セヤクを愛する者より)</p>	<p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画(2020年3月策定)」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路(区画1号線～3号線)、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線(八王子街道)の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
55	<p>暮らせるテーマパーク、テーマは「緑を活かした微気候体験」</p> <p>「持続可能な都市モデル」を示すためには、一過性ではなく、生活に活せることを目指すべきではないでしょうか。今後の生活に活かす経験になるには実感が伴わなければならないし、実感するにはそれなりの環境と時間が必要です。アトラクションが並ぶ場に「来て見て終わり」ではなく、実際に心身を動かして新たな視点や生活に活かせ</p>	<p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示さ</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>るヒントを体感できる「来て試して活かす」ことができる持続可能性を目指した「暮らせるテーマパーク」がふさわしいと思います。農業体験、グランピング場やホテル、市場やレストラン・カフェ、伝統家屋の移築に加え、緑を基盤としたモデル住宅街をつくれれば緑を活かした微気候体験ができるのではないのでしょうか。</p> <p>新しい形の都市生活だということを楽しく驚きをもって体験してもらえば、リピーターになってくれるでしょうし、彼らから話を聞いた新たな訪問者が増え、千客万来になると思います。特に外国人にとって、日本の最新型の住宅で暮らす体験はかなり大きなインパクトを持つでしょうから、横浜観光の新たな目玉になると思います。</p> <p>「公園・防災地区」でも経験を通じたレクリエーションを提供するようですが、「観光・賑わい地区」は日帰りだけでなく宿泊を伴った時間をかけた経験をする場にできると思います。持続可能な生活はこういう感じなんだ、と実感したりヒントを得たりできる場をつくるわけです。以下にこの地区を構成する要素について述べます。</p> <p>体験農場「にぎわい地区」に組み入れられている農地の部分は、生産物販売から農業体験提供に目的を変えれば、そのまま農業体験施設として活用できます。農地の土壌と景観は長い年月をかけ先人が作り上げてきてくれた貴重な遺産です。これを活かさない手はないと思います。「にぎわい地区」に現在ある農地部分は「公園・防災地区」との接点にあたり、全体の入口となる部分があるようですが、できるだけ農地を保全していただきたいと思います。家族、友人グループや学校単位での宿泊滞在ができれば、作業時間が長くとれる分、農作業のスキル形成はもちろん、心身のリフレッシュ、対人関係の形成、環境保全意識の醸成といったことを体感できると思います。「面白い」「これならできる」と思えば今後、家庭菜園を始める人や、市民菜園に通う人が出てくるかもしれません。</p>	<p>れました。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、「みどり」とともにある持続可能で多様なライフスタイルを実践・発信する公園としていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>グランピング場 市内に大きくて手ごろな価格のグランピング場があれば気軽にグランピングを楽しめます。農場での農作業体験や芝地での遊び、遊歩道での散歩は多くの方が自分にあった楽しみ方ができるでしょうし、景観を愛で、屋外で飲食し語らえば、日常を脱した解放感を味わってストレスも解消するでしょう。</p> <p>モデル住宅街 樹木がつくる微気候を活用したエネルギー効率の良い快適な住宅や集合住宅が並ぶ街をつくって、見学したり滞在したりする施設です。南側に落葉樹、北側に常緑樹の生垣を備えた住宅や集合住宅で構成されるモデル住宅街です。一戸単位では樹木の力をかりて気温を調整する環境（微気候）をつくることはできませんが、緑を備えた集合住宅や家並みが続く区画単位ならば微気候を実現できますし、実際に住宅を建てる時も費用を抑えられます。（コミュニティ・ベネフィットという考え方だそうです）</p> <p>住んでみてはじめて実感できることは多いと思います。横浜の高温多湿の夏を快適に過ごせる家に泊まり、農作業や緑の中での遊びやリラックスタイムを過ごし、市場で買った食材でテーブルを囲めば、記憶に残り、今後生活のどこかで活かされる体験になると思います。</p> <p>伝統的家屋と屋敷林の移築 伝統的な大きな家は植物の力を活かしたものが多いと思います。そのような木造大規模家屋を移築し、屋敷林を再現し、伝統的な環境活用・木造建築を見学するだけでなく宿泊できるようにすれば、昔の人々の知恵に学ぶ良い機会になると思います。</p> <p>市場 農協の即売所や道の駅のように市内産の農作物や一次産品・加工品を販売する市場です。日帰りの方ももちろんですが、グランピング・モデル住宅に滞在する方も買い物できれば便利です。横浜ブランドのPRになると思います。</p> <p>飲食店 レストランやカフェで市内産の農作物・一次産品・加工品を味わっていただきたいと思います。特にテラスなど屋外で飲食できる場をふんだんにもうけて、景観を満喫できるとリピーターが続々と誕生すると思います。</p>	
56	隣接する地区が多くあり、デザインについてはそれぞれの地区と調整する必要があると考える。	いただいたご意見を踏まえ、公民連携による境界のデザインについて今後もしっかりと検討していきます。

NO.	ご意見	本市の考え方
57	横浜の港に遊びに来た人たちが 上瀬谷にも遊びに行きたくなるような連携が必要。そうなると電車ですよね。または港地区からの直通バス。	いただいたご意見を踏まえ、都心臨海部との相乗効果を図るとともに、様々な交通のネットワークの形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。
58	横浜市は財政が大変なのに また箱物を作って赤字を増やさないで！横浜市のはズレに作っても人はこないです。農地に活用して下さい。これから食糧危機がくると言われています。日本の食料自給率を上げるためにも必要です！！	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接收されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>また、本地区は長年米軍に接收されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p>
59	50年先を考えて欲しい。半年の賑わいなど要らない。今のご時世、軍事費で国民が死にそうなのに・・・横浜市民に膨大な借金を負わせるな。	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接收されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>国際園芸博覧会については、旧上瀬谷通信施設が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
60	<p>コロナのパンデミックで、単なる観光・賑わいでは、経済が発展できないことが明確になりました。特に、横浜の自然を国際的にみれば競争力は無いに等しいといえます。これからは、体験型の観光が必要であり、横浜で考えた場合、体験型都市にする必要があります。科学技術立国をめざす日本においては、先進的な科学技術都市がテーマになります。Society5.0の未来都市を旧上瀬谷通信施設地区につくれば、世界中から人々を呼ぶことができます。今、求められるテーマは「夢と希望」であり、それを実現するのがSociety5.0の社会です。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、検討を進めていきます。</p>
61	<p>コロナのパンデミックは、世界を変えたと言われています。集客を前提とした産業は経済的に大きな痛手をこうむっています。そして、今後も大規模な感染症の発生の危険性が指摘されています。娯楽などにも、仮想現実などの技術が取り入れられ、デジタル化が更に進むと考えられます。経済の発展は、イノベーションによりもたらされません。最先端の科学技術がリモート時代の観光資源になります。世界中の人々がリモートからアクセスしてくる未来都市を作る必要があります。そのためには、世界で最先端のSociety5.0の街を作ることが求められます。</p>	
62	<p>不要です。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p>
63	<p>観光についてはイメージが持てないが、商業系の賑わいは施設を整備すれば可能だと思う。安易にテーマパークなどを建てない方が良くと思う。</p>	<p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとまり、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマ</p>
64	<p>昭和、平成時代に公的機関が主体となって多くのテーマパークがつくられました。そのいずれも成功した事例はないのにもかかわらずテーマパークの誘致を予定しているというのには反対です。電車以外の手段でどうやって現地に行くのかをもっと考えたほうがいいです。なぜ鉄道事業会社が降りたかなと考えてください。</p>	
65	<p>テーマパーク誘致なのか、何を誘致したいのか。具体的な案を欲しています。</p>	
66	<p>特にいない</p>	
67	<p>一刻も早く考え直す、見直すべきです。</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
68	<p>・観光は作ったところに観光客が来るのではなく、歴史的価値がある箇所や、本当の自然を味わうところに来る</p> <p>・横浜市は「横浜炭鉱博物館」でもつくるのでしょうか、観光・賑わい地区を作る事は夕張市に続く財政再建団体になります</p> <p>・観光・賑わいはみなとみらい地区で十分です、上瀬谷に作ったら、みなとみらいの観光人口が減るだけです</p> <p>・市内で観光人口のパイの取り合いでもしたいのでしょうか</p> <p>・上瀬谷を770億円かけて「横浜炭鉱博物館」を作る事は、京都市より先に財政再建団体になります</p>	<p>パークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
69	<p>南町田グランベリーパークをあげていますが三井アウトレットパーク横浜ベイサイドがあります。元はディズニー級のテーマパークが来る予定でした。これでは話が違いすぎます。遠方から何度も訪れたいようなものはできません。</p>	
70	<p>年間来場者数1,000から1,500万人を試算していますが、民間のTDLやUSJのような施設を考えているのでしょうか。エンターテインメントに長けている訳ではない、市の担当部署レベルで、そのような施設を建てることは難しいと思います。作ってしまい赤字になった場合や、高額な維持管理費用など、他の市町村から笑い物になるのは絶対に嫌です。テーマパークありき、ではなく、市民や国民のために必要な施設を作りましょう。積極的に意見交換をしましょう。まだ間に合います。どうかどうか、よろしく願いいたします。</p>	
71	<p>台湾有事目前の現状で、テーマパークを作る必要は全く無い。代わりに核シェルターを建設したらどうだろうか？</p>	
72	<p>テーマパークは不必要です。しかし、買い物できる場所、病院などは必要と考えます。コロナ禍も続きます。戦争もいつ終わるかわかりません。日本政府は中台戦争の可能性を見据えて軍事費増強に動こうとしています。世界情勢は流動的です。インバウンドは望めません。日本人の所得は年々減っています。少子高齢化で人口も減り続けます。ですので、テーマパークありきではなく、4地区分けというデザインを根本的に見直すことを求めます。</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
73	<p>「デザイン(案)」では、「観光・賑わい地区」に「テーマパークを核とした複合的な集客施設」をつくり、「エリアブランディングの中心的存在となる観光と賑わい拠点の形成」が期待されるとしている。大企業の「短期利益の最大化」を図るための、テーマパーク施設やタワーマンション建設には反対する。カジノ業に代表される新自由主義による「短期利益の最大化」を図るビジネスモデルはもはや時代遅れで、SDGsの観点からも受け入れ難い。これだけでも、無理筋なデザイン案であることは明白。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたくて「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p>
74	<p>人が集まって賑わいを創出できたからと言って、街が活性化するとは限らない。ドリームランドの失敗を忘れたのか？</p>	<p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p>
75	<p>少子化、超高齢化の時代に、テーマパークは、採算が取れません。テーマパークではなく、自然公園として、ニューヨークのセントラルパーク、ロンドンのハイドパークのようにして、人が訪れるようにしてほしいです。ドリームランドの二の舞は避けてください。</p>	<p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p>
76	<p>テーマパークはうまくいかないでしょ。八景島シーパラの現状を見て！</p>	<p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
77	<p>「立地」「農業」「自然」がこの地区のポテンシャルであり継承する価値であると言っているにも関わらず、何故「観光・賑わい地区」で「テーマパーク」なのか？横浜市はこの自己矛盾について真剣に考えなくてはなりません。自然豊かなこの土地に地権者が希望したからといって何故、テーマパークをつくらなければならないのか？東京都練馬区のとしまえん跡地に2023年春オープンする「ワーナー ブラザーズ スタジオツアー東京 メイキング オブ ハリーポッター」が、大阪のUSJの入場者数増に大きく貢献した人気コンテンツにも関わらず、年間入場者数の目標は約200万人超、上瀬谷の交通手段も定かでないテーマも決まっていないテーマパークに何故年間1500万人が訪れると言い切れるのでしょうか？横浜市の正気を疑います。コロナによる行動制限が緩和されるかもしれないからと言って日本人の生活様式がコロナ前に戻るには限りません。むしろTDLやUSJのように「みんなが行く所に押しかけて行列をつくる事を楽しむ」より愛・地球博公園のジブリパークのように「みんなが行きたいけれど、入場制限のある所に手間をかけて行って、ゆとりのある環境とコンテンツの魅力を楽しむ」事の方がこれからは選ばれるのではないのでしょうか？旧上瀬谷通信施設にどうしてもレジャー施設を造るのならば、時間や人数制限をして自然観察や農作業の体験ができる上瀬谷グリーンツーリズムやエコツアーにするべきでしょう。</p>	<p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
78	<p>P.13～17観光・賑わい地区について、テーマパークは反対だが、国有地の広場は除外した形で、緑区のこどもの国のような、自然と調和し野生生物も生息でき生態系に悪影響のないものならば、可能なかもしれないと考えます。例えば、日本の里山に咲く季節の花々、野生のフルーツ、山菜、米、蕎麦、小豆や葛など日本の甘味なども楽しみ、そのエリア内に現地の昆虫、野鳥、など野生生物が自由に出入りできて生息しているようなもので、菜の花、スマレ、藤、紫陽花、キツネノカミソリ、コスモス、ヒガンバナ、モミジ、フキノトウ、フクジュソウ、スイセン、カタクリなどの季節の花々が群生するような心に残る風景を見せてくれるようなものなら、付近の学校、住宅にも迷惑にならず、現地の自然と調和できそうに思います。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>なお、土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
79	<p>テーマパークを作るという点。年間見込み客は他のテーマパークの年間来場者数を見ると、かなりハードルが高いと言わざるを得ない。実現性が低く赤字を市民が負担しなければならない負の遺産になる可能性が高い。また、アクセスが良いというのはあくまで車であって、ディズニーやユニバーサルのように駅前ではない。車離れが年々進んでいる中、長期的に見ると自家用車や駅からバスなどを使わないとアクセスできない立地はテーマパークには向かないと思う。また、施設を作るのではなく、自然をそのまま活かしたフェス会場やキャンプ場など（他にもある）、現在の自然環境を最大限に活かす計画を立てるべきだ。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>なお、土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向け</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>て検討を進めていきます。</p> <p>また、交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
80	<p>花博もテーマパークもやめるべき。自然を破壊したらもう元には戻せない。絶対に残すべきだ。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、 「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえ、 「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマ</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>パークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>なお、土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、国際園芸博覧会については、旧上瀬谷通信施設が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p>
81	<p>花博およびテーマパークに反対です。今のままの自然を残してください。来場者数も予想ほど見込めないことを危惧します。その場合の赤字は市民負担となります。市民のためになりません。反対します。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、 「人口減少、超高齢</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>なお、土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、国際園芸博覧会については、旧上瀬谷通信施設が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
82	<p>・観光・賑わい地区は、テーマパークは中止するはやりものハリポッターやムーミンなど造っても赤字になる むしろ、区庁舎の移転、市の施設をここに置けばインフラ含め、賑わう</p> <p>・市営住宅や、介護施設を建設し、古い市営住宅は壊すべき、人口減少する瀬谷区に人を受け入れる用意をすべき（観光、賑わい地区）</p> <p>・当然、駅から遠いので、バスやタクシーが必要になる。ただ、平たんな道なので、ウォーキングには適しているの、アスレチックやウォーキングコースを造れば、健康増進になる（観光賑わい地区）</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>なお、現時点で旧上瀬谷通信施設地区においては、住宅を整備するということは想定しておりません。また、医療・福祉施設については現時点では難しいものと考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
83	<p>①巨大テーマパークなど収益が長期的にみこめないものは必要ない</p> <p>②この場所には、市民が永住できる住居エリアをつくる</p> <p>例) 高齢者住宅や老人保健施設 一般市民の住宅建設</p> <p>③また、市民利用の競技場を建設する</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、現時点で旧上瀬谷通信施設地区においては、住宅を整備するということは想定しておりません。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
84	<p>大企業の「短期利益の最大化」を図るための、テーマパーク施設やタワーマンション建設には反対する。</p> <p>コロナパンデミックがあぶりだしたように、カジノなど新自由主義による「短期利益の最大化」を図るビジネスモデルは存亡の危機に直面、破綻が目に見えている。</p> <p>「デザイン(案)」では、「観光・賑わい地区」に「テーマパークを核とした複合的な集客施設」をつくり、「エリアブランディングの中心的存在となる観光と賑わい拠点の形成」が期待されるとしている。サウンディング調査に参加した大企業の中には、「約70haというテーマパークを実現するだけの高いポテンシャルを持った土地」で、「強みを活かせれば」、「来場者1500万人の達成も可能」などと幻想をあおり立てるものが多い。</p> <p>「カジノで税収820億円アップ」など目いっぱい煽り立てた当のカジノ事業者による「とらぬ狸の皮算用」を思い起こさざるを得ない。日本最大のディズニーランドさえ来場者は1600万人、八景島シーパラダイスは460万人、首都圏のテーマパークの競争はますます激しくなっているのに、1500万人とはどんな計算をしたのか？根拠を示されたい。それに、交通インフラ整備が必要となり、厳しい市財政事情の中で膨大な整備費をどこから捻出するのか？</p> <p>これだけでも、無理筋なデザイン案であることは明白。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>なお、現時点で旧上瀬谷通信施設地区においては、住宅を整備するという事は想定しておりません。</p> <p>また、交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
85	<p>持続可能で魅力的なまちづくり について テーマパークはどこにでも造ることができるアトラクションや商業施設ではなく、オンリーワン、世界にここだけの何かをつくるべきだと思う。昨今「流山おおたかの森」駅周辺では人口増加が顕著だという。高知県四万十市トンボ自然公園も世界初のトンボ保護区である。貴重な自然環境が残る上瀬谷は、現代のストレス社会において、人の心を癒し、食や資源、環境への意識を高めるテーマパークがふさわしく思う。現在の谷戸、川、水田、畑、草地、樹林という連続した自然環境を残して野生動物の聖域をつくってはどうか。人と自然との共生は、聖域をつくりゾーニングすることで成り立つと考える。工事が始まる前の2020年冬頃までは「観光・賑わいゾーン」に多くの渡鳥が飛来していたが、2021年頃より鳥の数がめっきり減少した。谷戸、川、湿地という地形を生かして水田を残し、人口池やビオトープを作って、野鳥の里、水生生物の里にしてはどうか。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、 「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたく えで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマ</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>パークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、生態系を保全するため、公園・防災地区において保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>なお、検討にあたっては、専門家等の助言も踏まえ、生態系への影響を可能な限り低減していきます。</p>
86	<p>相沢川周辺の風景を継承するランドスケープとあるが地域内に現存する水田や森を活かすことを最優先してほしいです。現在の相沢川流域には多様な生物が生息し、本当に豊かな自然が残っています。残念ながら多くの市民はそのことを知りません。多自然工法などによって今現在の相沢川を発展的に復活再生していくことが何よりと思います。</p>	<p>生態系を保全するため、公園・防災地区において保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>なお、検討にあたっては、専門家等の助言も踏まえ、生態系への影響を可能な限り低減していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
87	<p>観光・賑わい地区（3分割を提案する）</p> <p>A)花博跡地に予定されている観光・賑わい地区は今までもテーマパークの誘致に奔走していたが、100haという広大な土地に見合う採算性が取れるパークは見いだせなかった。日本のテーマパークで一番大きいのが長崎ハウステンポスで152haあるが、経営的には非常に苦戦しており、経営母体も何度も変わっている。</p> <p>一番成功しているTDLランドとシーを合わせて100haであるが、魅力あるコンテンツで集客し、採算性を維持している。よってアミューズメント施設は半分の50haにし、投資対効果が見込まれる企業体を選ぶ。</p> <p>B) 30haは研究開発地区とする。</p> <p>近隣の大学のLaboを誘致し、新規事業を狙っている企業と産学共同で技術製品開発を行い『横浜型』を提案する。</p> <p>例えば</p> <p>①東工大+統合が予定されている東京医科歯科大学とIT企業で医療GXの開発</p> <p>②東農大と新事業形態の農業技術製品の開発</p> <p>③横国大・横浜市大・神大・関東学院によるIT企業の育成等</p> <p>④これらを融資の面で協力させるために県内金融機関による統合会社（仮称(株)YSEED***横浜の種子）による投資会社の設立。</p> <p>これらが一堂に会する統合ビルを建設し情報の共有化による横浜型の技術や製品の創出行う。（つくば学園都市はLABOが点在したため情報の共有が難しかった。</p> <p>C) 住居地区の整備20ha</p> <p>賑わいの持続はそこに住民がいないと難しい。</p> <p>20haの広さがあれば3,000所帯、人口10,000の街が出来る。</p> <p>そこはもちろんスーパーシティでありノーカーボンシティとなる。</p> <p>街中には、研究開発地区を含めて自動運転ビークルが定期的に巡回しており利便性を高める。</p> <p>また小中高の一貫校を誘致し、先端教育を行う。</p> <p>近隣には聖マリアンナ病院、また程ヶ谷カントリーもあり、「住・職・研・健・教・遊の環境が整った街が出来上がる。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>面積については、土地利用基本計画においては、観光・賑わい地区の面積は約125ha、公園・防災地区は約50haとしていましたが、自然環境の一層の保全・創出とレクリエーション等のニーズに対応した施設の充実を推進し、国際園芸博覧会のレガシーを継承するため、公園区域を約65haにし、観光・賑わい地区の面積は約70haへ変更しました。</p> <p>なお、現時点で旧上瀬谷通信施設地区においては、住宅を整備するという考えは想定しておりません。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
88	<p>テーマパーク建設に反対します。横浜シーサイドライン社が鉄道開設を断っているという事実は採算が取れないとの判断だと思えます。採算性において疑問が残る、リスクが少しでもあるものに私たちの税金を使わないで欲しいです。現在世界的に食糧危機が叫ばれている中、日本の自給率は低く、横浜は危機的と言えます。テーマパーク建設ではなく、有事に備えともなる農地利用を希望します。また農地では市民の健康を守るべく自然農法などを取り入れた農業に行政として力を注いで欲しいです。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。農業振興地区の規模は、横浜市の施策や現時点での地権者の意向を踏まえ、おおむね50haとしています。</p> <p>なお、農業振興の具体的な内容については地元の農業者や連携する企業・大学等と意見交換しながら検討を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
89	交通インフラの整備が第一であろう。またテーマパークの必要性を含めて十分検討いただきたい。	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p>
90	<p>テーマパークは不要。三菱地所がやるのか？テーマパークなんて今の時代は望んでいる人は少ない。ディズニーやUSJ並みのものは作れない。作れたとしても、作れなかったとしても、瀬谷区や旭区の狭い道路をそのままにしておいたら渋滞で住民が迷惑するだけだ。テーマパークは大反対。</p>	<p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたくて「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
91	<p>テーマパーク等は作るべきではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の移動に伴う周辺地域の環境悪化は必至。一部道路の拡幅等ではまったくの解決策にならない。接続道路や周辺の道路は現在でも混雑している。 ・近隣にグランベリーパークが有り、大きな商業施設はいらない。 ・テーマパークの成功例は数えるしかなく、成功しない場合の責任も横浜市は責任を取らないだろうし、税金の赤字補填は絶対にだめ。 ・開発業者に騙されないように。道の駅程度の施設程度で十分。 ・瀬谷区、旭区の農産物、農業振興地区の農産物等の販売や横浜の特色ある生産物を販売する。 	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとまり、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示さ</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>れました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、交通渋滞対策については、土地利用基本計画に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>なお、土地利用基本計画では、農業振興地区において、直売等による「収益性の高い農業」の展開を位置付けており、引き続き、検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
92	<p>外国資本の介入の懸念。どれだけの集客を想定しているのか、2027年横浜園芸博覧会ですが、半年で1000万人以上の来場者を想定しているが、過去の各国の来場者数は参考にしていますか？ 一番多かった1990年の大阪は最寄駅から徒歩5分で82出店し140haありました。それ以外の国では、2003年ドイツ260万人、2012年オランダ204万人、人口の多い中国でも2019年934万人 過去9回分を平均しても500万人に満たない。また、八景島シーパラダイスはコロナ前の2019年度126万人の来館数、横浜動物園ズーラシアでも98万人。半年で1,000万人を想定が理解できない。駅から遠いのに現実的ではない。採算が合わない。この悪条件で手を挙げる企業は、間違いなく外国資本です。しっかり精査してください。これ以上私たちの日本、横浜を外国に侵略させないでください。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたくて「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、国際園芸博覧会の来場者輸送については、円滑な輸送の実現に向け、瀬谷駅、十日市場駅、三ツ境駅、南町田グランベリーパーク駅の4つの駅、東名高速道路、保土ヶ谷バイパスとも近接しているという立地特性や、今回計画している道路を活かした輸送アクセスについて、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会が警察や交通事業者、横浜市などの関係者による協議会を開催し、検討を進めています。今後、計画がまとまった段階でお示しする予定と聞いています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
93	<p>こちらにテーマパークがあったとしても、負債になることはほぼ間違いありません。どのようなコンテンツであれば、目標の入場者数に到達すると考えているのか、明確にさせていただく必要があります。また、収益も、入場者が、入場料はじめいくらお金を払ってくれるのか、まったく現実的ではありません。既に民間企業としては魅力がなく撤退していることを踏まえると、横浜市の長期にわたる負債になるとしか思えません。横浜市は財政も非常に厳しいようで（今回知りました）、この中でこのような事業をやるとなると、まったく市民の方々への周知徹底が足りていないと思います。私はたまたま実家がそのあたりにあり、通りかかって広い土地があったことから調べてみたら、こちらにたどり着きました。意見をまとめておられる期間も短いようで問題だと思います。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、 「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたく 「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
94	<p>観光・賑わい地区は要りません。環境破壊・地球温暖化の基になります。この地区に・災害用住宅・レストラン。農産物・木製製品とう上瀬谷で出来たものを販売する。売店が有っても良いと思います。蕎麦屋・ラーメン店・うどん屋・喫茶店が有ってもいいと思います。上瀬谷は、自然の横浜市で残された自然です。これを破壊したら、横浜市の地球温暖化の先駆者になります。この緑を破壊して、地球を横浜市から破壊するおつもりですか。山中市長。世界の笑いや者になりますよ。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p>
95	<p>この地区開発を地球市民としてマクロの視点でとらえると、この地区の活用はSDGsエコロジー・テーマパークしか考えられないと日本国民も思うに違いありません。</p>	<p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>
96	<p>上瀬谷ににぎわいは不要です。よく言われるのは残していいのは足あとだけ にとっていいのは写真だけ。上瀬谷の自然を残し、愛でて感謝する のための活動以外不要です</p>	
97	<p>周辺や開発する区域内の道路は、最低でも全て4車線とし、保土ヶ谷バイパスや東名高速から直接出入りできるようにし、周辺の交通増加がないようにすべき。なぜ、南町田のグランベリーパークを挙げて、隣接する相沢に大して何も配慮がされないのか。この会場が出来ると、相沢側への路上駐車が増える可能性がある。現在県営住宅周辺は静かな住環境が保たれているので、悪化しないように対策を講じ、むしろ良好な環境となるような整備を合わせてやるべき。</p>	<p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p>
98	<p>”複合的な集客施設立地”とありますが、交通不便利な所だけに、行き来できる人がどれ位いるか？ある程度人が集まらないと商売が成り立たなく、テナントが常に変わるなど、色々不安です。少なくとも、交通インフラを考えていかないといけないと思います。</p>	<p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
99	<p>「相沢川周辺の風景を継承する、水源の機能を継承する」について</p> <p>意見：相沢川とその周りの谷戸を今のまま残す。</p> <p>理由① 瀬谷区に残る唯一の里山（川と田んぼと周りの樹林からなる）の風景を残すためには相沢川を切り回ししないで今のまま残すしかない。同封の写真を見れば現在16枚の田んぼが残っていて懐かしい田園風景が広がっていることがわかる。</p> <p>② 現在、冬季になると水が農業用水路に流れないように相沢川の堰を止めているが、実際には湧水があり、農業用水路にはかなりの水が流れ色々な水生生物が生息している。例えばカワニナ、ヨコエビ、淡水シジミなど。この湧水は上瀬谷の広大な草地に染み込んだ雨水が休みなく湧き出しているものであり、もし、この草地をコンクリートで覆ってしまったら、湧水は止まり、雨水は直接下流に流れ水の被害が発生する。谷戸を残さなければ水源の機能は失われる。</p> <p>※写真は省略させていただきました。</p>	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。</p> <p>また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、生態系を保全するため、公園・防災地区において保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>なお、検討にあたっては、専門家等の助言も踏まえ、生態系への影響を可能な限り低減していきます。</p>
100	<p>考え方が文字ばかりでわかりづらいです。イメージの例を載せた方がいいのではないのでしょうか。</p>	<p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様に情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
101	<p>「日本が持つ文化や技術、地域資源が融合した発信力と競争力のあるコンテンツ」とありますが、民間出資のテーマパークのコンテンツについて行政が指針を示すことには違和感があります。真に発信力と競争力のあるコンテンツを期待するのなら、「発信力と競争力のあるコンテンツ」とだけ明記し、細かな注文は付けずに民間に任せるべきだと思います。あえて例を挙げさせていただくと、東京ディズニーランドでは開園当初に、日本の伝統工芸品を売るショップ「千葉物産館・美術工芸」や、日本の歴史を紹介するアトラクション「ミート・ザ・ワールド」がりましたが、長く続かず閉店・閉鎖しています。理由は他のコンテンツと比較して人気が無かったからです。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設地区においては、国際園芸博覧会の開催を契機として、豊かな環境と共生した新たな活性化拠点を形成するなど、横浜の未来につながるまちづくりを進めています。</p> <p>本地区域では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、各地区が連携することにより、地区全体の価値が向上し、周辺地域へも波及していくことを期待しています。</p> <p>そこで、「観光・賑わい地区」の事業者公募において、「地区全体で目指す姿」を提案者にメッセージとして示すことで、質の高い提案を引き出し、より良い土地利用を誘導していきたいと考えています。</p>
102	<p>民間企業はもちろんだが、行政も連携して取り組むことにより良い地区となると思う。上瀬谷のメインだと思うのでしっかり頑張っていたきたい。</p>	
103	<p>農地や公園に隣接することから、民間事業者にはエッジ部のしつらえ、建物での配慮を期待します。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、P10の「建物のボリュームの工夫による営農環境への配慮」を具体的に記載しました。</p>
104	<p>環状4号西側にあるゾーンはなぜそこに配置したのか。農業ゾーンと干渉してしまい、互いに利用が制限されてしまうのではないかと。変更出来ないのであれば、しっかりとした開発規定等を定めた方が良くと思う。</p>	
105	<p>花博で出展されると思われる庭園の、その後の取り扱いについての意見です。伝統的な日本庭園と、外国の特徴ある庭園を永久展示して、花博のレガシーが失せないようにして頂きたいと思えます。季節ごとに観に行きたいと思わせる手入れを期待しています。</p> <p>低層多目的展望台の設置についての提案です。シンボルタワーのように大げさで工費、維持費のかかるものではなく、子供と一緒にスロープか階段を歩いて登れる屋根付き3階建て、広い休憩スペース、売店、案内所、天候急変時の避難所も兼ねるものを各所に設けて、真夏の大勢の来園者の健康と安全性を確保するアイデアです。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、国際園芸博覧会の成功に向けて、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会と連携して取り組んでいきます。</p>

(15p) 各地区に求めるデザインのイメージ 農業振興地区

NO.	ご意見	本市の考え方
1	農業振興地区について、たんに農家が農業をするだけなら、あの場所である必要はない。あの場所だからこそできる、他の地区との相乗効果の期待できる内容にして欲しい。	地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討を進めており、各地区が連携することにより、計画地全体の価値が向上するとともに、周辺地域へも波及していくことで、環境と共生した郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していきます。
2	農林水産省が推奨する営農型太陽光発電で農業振興を図り、生産された食材をテーマパークで消費（地産地消）して頂くという仕組みこそが「未来型」と言えるでしょう。	地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討を進めており、各地区が連携することにより、計画地全体の価値が向上するとともに、周辺地域へも波及していくことで、環境と共生した郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していきます。
3	私は「農業」に加えて「畜産」も加えることを提案します。広大な土地利用の幅を広げ、観光農園としての魅力を増すこと、飼料や肥料の地域内循環も図れるからです。観光客を呼ぶ目玉としては、「近隣にない大規模な温室」を作り、花卉や意外性のある作物も省エネで栽培するという意見です。観光業者との連携が成否を分けると思います。	地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討を進めており、各地区が連携することにより、計画地全体の価値が向上するとともに、周辺地域へも波及していくことで、環境と共生した郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していきます。
4	付近に、観光施設や物流施設ができるとなれば、様々な農業の展開が考えられるのでは。	また、いただいたご意見を踏まえ、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。
5	地域で採れた作物を、観光賑わい地区のレストラン等で販売すれば、相乗効果が産まれる。	いただいたご意見を踏まえ、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。
6	土地に合った珍しい農作物のブランド化の検討をお願いします。	いただいたご意見を踏まえ、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。
7	持続可能な都市農業モデルの確立 ◎農業研究所（学校）等を設立するのですか。… ここから技術の発信、雇用の育成	いただいたご意見を踏まえ、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。

NO.	ご意見	本市の考え方
8	夢のある農業振興地域にして欲しい。	<p>いただいたご意見を踏まえ、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。</p>
9	地産地消が周辺市民にゆき渡る仕組みを作ってほしい。	
10	人材の育成をしっかりと実施することにより、多くの人手を確保できると良い。	
11	大規模な農地が確保されることから、生産だけでなく、加工、販売まで可能な施設を検討してはどうか。	
12	スマート農業について、各都道府県や各自治体で法解釈を含め考え方がバラバラで、対応に苦慮している事業者が多いと聞く。積極的に導入しようとして後押しをするなら、そうした事業者の進出は期待できると思う。	
13	観光農園アイデアは良いと思います。周辺には小さい観光農園はありますが、もっと便利で快適な利用ができる設備を有する観光農園にすれば、多少単価が高くとも人は集まり、発展につながると思います。	
14	アルコールに関するもの。	
15	近くには農学部で有名な大学があります。連携して未来の農業の実証実験の場として活用して欲しい。	
16	<ul style="list-style-type: none"> ・水田を狭くしても良いので作ってほしい。 ・有機農園、菜園エリア（低農薬、低化学合成肥料）を作ってほしい。 ・市民菜園附属施設（トイレ等）はできるだけ雨水利用、循環式トイレにしてほしい。（高額な場合は1ヶ所だけで良い。） 	
17	昨今の物価高等を踏まえると、農業振興は自給自足の観点からも重要と考えています。また、旧上瀬谷地区の農産物としてのブランディングを図っていただきたい。	

NO.	ご意見	本市の考え方
18	自給率の低い日本が、何らかの理由で輸入を長期で頼れなくなった場合、餓死者が続出するのは自明であるため、国内で賄える持続可能な農業や畜産業、またこれらの自動化は急務である。広大な土地を生かし、最先端の農業・畜産モデル地区としたい。	いただいたご意見を踏まえ、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。
19	農業の効率化、世代間交流、技術継承に繋がるフィールドにしてほしい。	
20	記載の通り、新規就農者の確保が重要。魅力ある農業の展開を。	
21	これだけの規模だと農業の景観も魅力的。農業を大事にしてほしい。	
22	このエリアを通して農業や地産地消の活性化を進められるようにしてほしいです。デジタル技術も活用できるようにしたほうがいいと思います。	
23	農業振興は大賛成。生産を優先するのか、観光型農業にするのか。農業法人等の特区等を検討しても特化するべき。そのポテンシャルの方が大きいと思います	
24	そもそもこれから人口減の日本において、そして、農業をしていく人口を増やすには大変良い取り組みかと思いますが、現在の慣行農業より、若者が興味を示す農業スタイルの推進をすべきです。	
25	首都直下地震等や、世界情勢で食料輸入が困難になった時のために、横浜に農地を残そう	
26	農業で雇用を創出し、まちが元気になると良い。魅力ある農業を期待。	
27	農体験や新たな技術の農業が展開されると良い。	
28	国際園芸博覧会の基本計画の中で、持続可能な農業やスマート農業技術の実証などを謳っているので、その取り組みの成果や得られた知見を生かすことを盛り込んではいかがでしょうか。	

NO.	ご意見	本市の考え方
29	新たな農業振興地区として再整備し、6次産業化を進め、危機的な食の確保に向け一歩踏み出す。	いただいたご意見を踏まえ、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。
30	<p>「デザインノート」に農業振興地区では、新規就農者や担い手の育成・支援機能を持たせると示されていて、この点は都市農業を活性化し地産地消を通じて、景観の維持、耕作放棄地の減少、物流に費やすエネルギーの減少、市民の就業機会の拡大など、大きな意味があると思います。アグロエコロジーの視点も重要だと思います。持続可能な発展実現の施策として国連は2019-2028年を国連家族農業の10年としているそうです。小規模な農業経営は単位面積あたりの生産総量・エネルギー効率が大規模農業を上回るといわれていますし、横浜のような都市部では小規模農業が中心ですから、この概念は今後の横浜農業でもっと活用していただきたいと思います。また、忘れがちなのが潜在需要の掘り起こしだと思います。魅力ある職業としての都市農業を宣伝し、顕在化していない需要を想定した広い範囲でのトレーニング対象者の募集をしていただきたいです。農業系の大学生・高校生だけでなく、幅広い専攻の学生、他業種で働いている人、子育てが終わった女性、定年退職者、求職中の人など幅広い層に人材を求めるために、市の広報（紙、マスメディア、インターネット、ソーシャルネットワークシステム）の活用はもちろんですが、ハローワークや職業訓練校との連携や、学校・大学への大規模なアウトリーチ、人が集まる場所でのイベント等が役に立つのではないかと思います。</p>	
31	新たな農業振興地区として再整備し、6次産業化を進め、危機的な食の確保に向け一歩踏み出す。	
32	上瀬谷の他にはない魅力は農地があることだと思います。魅力的な農業が続けられるよう、この立地だからこそその農業を具体的にしてください。	

NO.	ご意見	本市の考え方	
33	大規模な消費地を控える当地は、農業振興に大いに期待できると考える。神戸市が神戸ブランド（牛肉、ワイン・・・）を持つように、横浜ブランドといえるものがあれば、消費者は喜ぶのではないかと考えられるので、横浜ブランドの創生に期待したい。	いただいたご意見を踏まえ、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。	
34	○グリーンインフラ・脱炭素を前提とし、新技術による新しい農業の振興、横浜経済をリードし、我が国の食文化・食生活に大きく貢献できるような 農業関連技術の研究開発拠点としての整備推進。 ○自動車、半導体に続くのは、食料産業である。「それを横浜から」という気概で取り組んでほしい。		
35	食料自給率を上げる横浜野菜を沢山作り、市民や子供(食育教育として)に作らせよ。そのお膳立てを横浜市がやれば良い。		
36	大学や企業と連携して、活気がある農業を期待しています。		
37	食料自給率の低い日本だからこそ、横浜は首都圏でありながら、第一次産業の普及に勤しむべく、先陣を切って欲しい 過疎化が深刻な地方自治体が既に実施しているように、農業を希望する国民を募り移民促進するようなプランは出来ないのか？ 産学連携するならば、農学部、環境学部等、上瀬谷の現状残された自然を持続できるような大学の誘致も視野に 社会人も休日に通えるような新たなスタイルも時代のニーズであると思う		
38	農業振興は良いと思います。アグリゾートの誘致を期待		
39	「新たな都市農業モデル」の確立に多いに期待しております。		

NO.	ご意見	本市の考え方
40	<p>持続可能な都市農業モデル 食という定義が、工場で作られたものという世の中になっている昨今、横浜市がそれを実行、PRすることで脚光を浴びるとは思えない。持続可能な都市農業モデルであれば、是非、自然栽培など最初は収量が低いが大昔からある、太陽の光と健康な大地で育てられた安心安全、海外からの肥料や農薬に依存しない、日本で、横浜で完結する農業をするべきだと思う。都市部でも安定した収量が得られるよう、そこにこそ挑戦する価値がある。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。</p>
41	<p>高齢者や軽い認知症の方、障害者、外国の方、ひきこもり、不登校など、生活のしづらさを感じている人たちが、一般の人と交流しながら農作業ができるスペースができ、それがシステムとして回るようになると良いと思う。</p> <p>※花博のあと、計画が進まない結果軍備に使用することだけは止めて下さい。</p>	
42	<p>私は、横浜市内で野菜・果物の卸売を営んでおり、県内他市にて農業活性化のために農業者の支援や農福連携を含めた農事業を行っています。また、県外でも太陽光利用型植物工場の運営・経営を地元の農業法人とともに行っております。横浜市内の生産者支援にも力を入れていきたいのですが、なかなか実を結んでいない実情もあり、今後ぜひ「農業振興地区」については横浜の農業活性化につながるアイデアを出させていただきたいと思っています。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。</p> <p>また、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
43	<p>上瀬谷の農業を活性化したいのなら、中学生給食を安定的に利用するという事です。そのためには学校調理方式の中学校給食にたかえること。横浜市が安定的に農作物を買い上げること。</p>	<p>本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>農業振興の具体的な内容については地元の農業者や連携する企業・大学等と意見交換しながら検討を進めていきます。</p> <p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
44	<p>農業振興地区への配慮が具体的に明記されていない。しっかりと明記して頂きたい。例えば夜間の照明の光や、隣接する観光賑わい地区の日陰の影響など、現在の営農環境となんら変わらない様にする等。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、P10の「建物のボリュームの工夫による営農環境への配慮」を具体的に記載しました。</p>
45	<p>観光賑わい地区に干渉しないよう、設計してほしい。</p>	
46	<ul style="list-style-type: none"> ・上瀬谷地区南側にはり出した、観光にぎわい地区との境界は、土砂が飛ばないように、人が畑に入らない、ゴミを捨てない様な、工夫をしてもらいたい。 ・観光にぎわい地区の西側は、農地と接しているので、建物について、高さ等十分に配慮すること。 ・上川井側農振地区も、公園側から人が進入しない様な工夫をしてもらいたい。 ・地区全体について、道路計画をしっかりと行うこと。現在のような渋滞が起きない様にするのが重要です。 	<p>いただいたご意見を踏まえ、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。</p> <p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、P10の「建物のボリュームの工夫による営農環境への配慮」を具体的に記載しました。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
47	観光・賑わいに来る自動車が入りこまないような取り組みが必要と思います。	将来の土地利用者に対して、農業振興地区に車が進入しないよう促すことにより、交通混雑の軽減に努めていきたいと考えています。
48	大門川を埋め立てて、農業が持続可能なのでしょうか。とても疑問です。	<p>大門川は、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>
49	上瀬谷の、通信隊跡地は農業政策に活用せよ。必ずだ。	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
50	<p>砲弾がいくつも見つかったり、土壌汚染の問題がある上瀬谷で農業をやっても大丈夫なのか疑問がある。とくに横浜市は砲弾が発見されたときに当初は隠蔽しようとしていたから信用できない。</p>	<p>今後、本格的に工事を実施していくにあたっては、近隣住民の方や道路などの利用者、工事従事者等の安全を確保することは非常に重要と考えています。</p> <p>砲弾については、地歴調査でわかっている旧日本海軍の施設があった場所では、磁気探査などの調査を行うこととし、さらに安全を期すために、今後、掘削を伴う工事を実施するエリアでも、旧日本海軍の施設の有無に関わらず、磁気探査などの調査を行っていきます。</p> <p>土壌汚染については、当地区の全域を対象に「土壌汚染対策法ガイドライン」に基づき、調査を実施しています。その結果、国有地66か所と民有地22か所の基準値超過を確認しています。このうち民有地の2箇所については除去済みとなっています。また、深い位置で土壌汚染が確認された1箇所を除き、すべて掘削除去を行っていく予定です。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
51	<p>持続可能な都市農業とあるが、有望な産業を目指すのか？そもそもこの地区は必要か？</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接收されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められてきています。</p> <p>本地区は長年米軍に接收されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p> <p>なお、農業振興地区の規模は、横浜市の施策や現時点での地権者の意向を踏まえ、おおむね50haとしています。</p>
52	<p>農業振興地区はもっと増やしてください。農業従事者の宿舍を横浜市が無償で提供して下さい。農機具の設備投資は横浜市が肩代わりでリースして軌道に乗ったら横浜市に納入制度をつくって下さい。米・麦・蕎麦・ハーブ・果樹園を作して下さい。産業になり人々の生活必需品ですから、この取り組みも少子化対策になると思います。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>なお、農業振興地区の規模は、横浜市の施策や現時点での地権者の意向を踏まえ、おおむね50haとしています。また、農業振興の具体的な内容については地元の農業者や連携する企業・大学等と意見交換しながら検討を進めていきます。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
53	農業振興地区の規模が大きいため、様々な採れたて野菜を直売する施設があるとうれしい。	上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。 地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討が進められてきています。なお、土地利用基本計画では、農業振興地区において、直売等による「収益性の高い農業」の展開を位置付けています。農産物を直接提供できるような機能について引き続き、検討していきます。
54	是非、採れたて野菜を販売している道の駅を整備してほしい。	
55	周辺住民にとって喜ばれる直売施設が欲しい。	
56	周辺の住民が利用できる野菜の直売所を整備してください。	
57	道の駅のような地域の商品を販売する施設もあれば街の活性化につながると思います。	
58	上瀬谷地区に（道の駅）設置について 上瀬谷の農業振興地区の歴史を踏まえ、「都市と農のバランス」を取るための施策として、これまで培ってきた歴史ある農業を継承し、かつ新たな都市農業を具体化し市民との新しい出会いを実現できる場として『上瀬谷道の駅』（仮称）の設置を切に要望します。例えば農業振興地区の南端（観光・賑わい地区内）に設置し、市民利用のみでなく広く通過交通の寄り道としても機能できるものとしたい。この件については数年前から地元有志と計画を積み重ねてきた経緯がありますことを付言します。よろしくご検討をお願いします。	
59	上瀬谷地区に（道の駅）設置について 上瀬谷の農業振興地区の歴史を踏まえ、「都市と農のバランス」を取るための施策として、これまで培ってきた歴史ある農業を継承し、かつ新たな都市農業を具体化し市民との新しい出会いを実現できる場として『上瀬谷道の駅』（仮称）の設置を切に要望します。例えば農業振興地区の南端（観光・賑わい地区内）に設置し、広く市民利用のみでなく通過交通の寄り道としても機能できるものとしたい。この件については数年前から地元有志と計画を積み重ねてきた経緯がありますことを付言します。よろしくご検討をお願いします。	

NO.	ご意見	本市の考え方
60	<p>観光・賑わい地区の面積も農業地区にし、無農薬で安心な作物を横浜市内の子供たちの学校給食分として農家から市が買取り、持続可能な農業を推奨します。横浜市の食料自給率を上げるべく、米作りをしてほしい。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>面積については、土地利用基本計画においては、観光・賑わい地区の面積は約125ha、公園・防災地区は約50haとしていましたが、自然環境の一層の保全・創出とレクリエーション等のニーズに対応した施設の充実を推進し、国際園芸博覧会のレガシーを継承するため、公園区域を約65haにし、観光・賑わい地区の面積は約70haへ変更しました。</p> <p>なお、農業振興地区の規模は、横浜市の施策や現時点での地権者の意向を踏まえ、おおむね50haとしています。</p> <p>農業振興の具体的な内容については地元の農業者や連携する企業・大学等と意見交換しながら検討を進めていきます。</p>
61	<p>農業振興させるなら、開発やイベントをやらずに、今のまま、周辺の渋滞対策を行った上で、そういう施設を作ればいい。なぜ、莫大な税金を使って、地域住民が望まないイベントと開発を行うのか理解できない。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>交通渋滞対策については、土地利用基本計画に</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
62	<p>長年米軍に接収されていたため整っていない、農業のためのインフラ整備については賛成です。ただし、環境影響評価委員会で指摘された「いつでも宅地に転用できるような擁壁」を造る事には疑問があります。擁壁で囲まれた無機質な農地でなく、昔ながらののどかな畑の風景を作る事こそ「価値の継承」となると考えます。また、同じく指摘された「大門川の暗渠化」にも反対です。市の回答は「水質汚染が進んでいるから暗渠化する」という事でしたが、農業振興地区だからこそ水質浄化を試み、自然工法による川のよみがえりを目指すべきでしょう。また、横浜市の長年の課題である中学校給食に地産地消の野菜を供給できるような仕組みを是非作って欲しいです。瀬谷ウドや若者が取り組んでいる瀬谷ハチミツ、西谷で作られている西谷ネギや大根のような伝統野菜の栽培を身近で見られ、収穫でき、市内の学校給食として提供できれば素晴らしいのではないのでしょうか？</p>	<p>本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>また、集客型農業の展開等を通じて市民や来街者が農や食と触れ合う機会を作り出すことで、横浜市の特徴ある農の魅力を広くPRしていきます。</p> <p>大門川は、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつ</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		つ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。
63	農業振興も重要ですが、魅力的なものができるのは中々難しいではないでしょうか。。	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接收されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>本地区は長年米軍に接收されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p>

(16p) 各地区に求めるデザインのイメージ 物流地区

NO.	ご意見	本市の考え方
1	物流機能は重要のため、引き続きご検討をお願いします。	いただいたご意見を踏まえ、新たな技術を活用した効率的な国内物流を展開する物流拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。
2	働く場所の確保にもなる。	
3	物流の人手不足解消は関心がある。横浜が誇れる最先端の物流施設を整備してほしい。	
4	是非取り込んでください	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ ZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）を基本とする ・ 容積率は高くても良く、建ぺい率を下げる ・ 緑地は芝生だけでなく低木、例として比較的管理の容易な梅、ツツジ、アジサイ、他の植栽を行う。 ・ 緑が連続する事、ビル間の植栽を連続させる。生け垣とする（一部でよい） ・ EV充電器、蓄電池を備え、トータルでZET ゼロエネルギータウンを目標とする。各ビル間で電力を共有する。 ・ 無電柱化を進める。メインの道路は無電柱化する。ビル間のストリートは無理しなくて良い。 ・ 中水を利用する。短くて良いので、街区公園にせせらぎ道を作る。 ・ 雨水を利用する。 ・ 物流地区はメインは大手の物流企業 陸運 倉庫の企業ですから、それなりの負担（ZEB）などをしてもらう。 ・ 自動運転車エリアを作る。 	
6	大きな箱物の施設ではなく、環境に配慮した、意匠も周辺の緑や農地に配慮したものを期待します。	
7	本当にトラックドライバー不足が解消するような施設をお願いします。	
8	今後の物流業界は、本当に心配。先進的な取組を横浜から発信するような施設を期待しています。	
9	物流地区のデザインは難しいかもしれませんが、企業とよく調整して良い施設をお願いします。	

NO.	ご意見	本市の考え方
10	新しい技術を駆使した物流施設ができることで、ドライバー不足の解消になると良いですね。	いただいたご意見を踏まえ、新たな技術を活用した効率的な国内物流を展開する物流拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。
11	デザインに凝った物流施設も魅力的。魅力向上により、働く人が増えれば、良いと思う。	
12	物流地区というと閉鎖的だが、上瀬谷は良い施設ができそうです。	
13	最先端の施設ができそうで楽しみです。	
14	時代の先端を行く物流が横浜に出来れば、まちの誇りになる。	
15	外から見てもすごいと思わせる物流施設のデザインに期待しています。	いただいたご意見を踏まえ、災害時にも物流機能が維持されるとともに、救援物資の受け入れや配送等、公的な物流機能、地域の一時的な避難場所や広域応援活動拠点との連携を担うことも出来る物流地区の実現に向けて、今後もしっかりと検討していきます。
16	物流と防災はセットで考えられるのではないかと。平時において大規模物流ネットワークを有し、災害時にそのネットワークを生かして復旧拠点となる。ここに安心・安全があるように思う。	
17	2050年脱炭素社会を目指すのはやめましょう。無理な再エネ事業に投資することは逆に地球に悪いです	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>
18	物流地区は、相鉄線・横浜線とつないで排気ガスが出ない物流拠点にして下さい。その拠点からは、電気トラック・三輪車等排気ガスをださない運搬手段にしてください。	将来の土地利用者に対して、車両の効率的な利用を促すことにより、温室効果ガスの低減に努めていきたいと考えています。
19	物流拠点が出来るという事は、これまで東名高速道路や保土ヶ谷バイパスを通過していた貨物車が途中下車することになるので、業者の選択や流入車両数の十分な対策をお願いします。	将来の土地利用者に対して、車両の効率的な利用や関係車両の入出庫経路の分散を促すことにより、車両の走行台数の軽減等に努めていきたいと考えています。

NO.	ご意見	本市の考え方
20	<p>物流拠点を設けることは構わないが、多くの物流拠点の場合、その拠点が開くまでの間、周辺道路に多くのトラックが待機し、道路を塞ぎ渋滞の原因となることが多い。現状でも周辺は、週末になると渋滞が頻発し、また東名海老名SAはトラックがいっぱいに入れないことも多発している。トラック運転手の休憩場所、その駐車場所など、余裕を持った計画にして欲しい</p>	<p>将来の土地利用者に対して、施設内に十分な車両待機場所や駐車場の設置を促すことにより、周辺道路の交通流を妨げることを抑制させ、交通混雑の軽減に努めていきたいと考えています。</p>
21	<p>ここでもまた「グリーンインフラ」という言葉が使われている。この言葉で具体的にイメージができる市民がどれくらいいると思っているのか。なんとなくカタカナの用語を並べておけば良いという浅はかな考えがうかがえる。</p>	<p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
22	<p>物流地区にコストコ（スーパー）に来てもらうにぎわうし、車も多く来て繁栄する</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められてきています。</p> <p>東名高速道路や保土ケ谷バイパスなどの広域的な幹線道路との近接性をいかし、新たな技術を活用した効率的な国内物流を展開する基幹物流の形成が期待されることから、物流地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、新たな技術を活用した効率的な国内物流を展開する物流拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。</p>
23	<p>なぜここに物流地区が必要なのか。仮に花博を開催する場合、北側から来場する車で渋滞する場所である。</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められてきています。</p> <p>東名高速道路や保土ケ谷バイパスなどの広域的な幹線道路との近接性をいかし、新たな技術を活用した効率的な国内物流を展開する基幹物流の形成が期待されることから、物流地区を配置することとしています。</p> <p>なお、将来の土地利用者に対して、車両の効率的な利用や関係車両の入出庫経路の分散を促すことにより、車両の走行台数の軽減等に努めていきたいと考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
24	<p>商業系の開発における物流、防災物資の保管・配送における物流、首都圏への中継点としての物流など、その目的で必要面積などの規模や機能が変わってくる。地区全体を物流を中心に考えない限りは事後的に必要な面積を考えてはどうか。また、周辺の道路整備などの課題をどう乗り切るかも検討時の大きなファクターになると思う。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>交通渋滞対策については、土地利用基本計画に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
25	<p>2022年12月に行われた道路素案の説明会では、物流地区について参入企業が決まっていなかったため、具体案はまだ明らかにできないとの事でした。観光・賑わい地区のテーマパークの件もそうですが、まだ具体的に利用する主体や施設のコンセプトが決まらないうちに道路計画を発表するのはあまりにも乱暴でいい加減です。物流地区については、八王子街道や保土ヶ谷バイパス上川井インターと一番アクセスが良い点、また、荷物を積み下ろしする舗装スペースが広く必要になるであろう点を活かして、災害用重機が出入りする広域防災拠点はこちらに造るべきだと思います。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>また、物流地区については、民有地が配置される予定ですが、災害時にも物流機能が維持されるとともに、救援物資の受け入れや配送等、公的な物流機能、地域の一時的な避難場所や広域応援活動拠点との連携を担うことも期待しています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>交通渋滞対策については、土地利用基本計画に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
26	<p>高速道路・新交通が合わさると、交通結節点として魅力が高まると思います、物流だけでなく、人流が活性化できるような計画としてください。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、検討を進めていきます。</p> <p>交通渋滞対策については、土地利用基本計画に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
27	<p>物流も大事ですが、広域防災拠点の整備をこの地区で行うことも必要ではないでしょうか。むしろ、観光賑わいより、こちらを広く取ることの方が大事ではないですか？ 地域分けをもう一回考え直して下さい。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>面積については、土地利用基本計画においては、観光・賑わい地区の面積は約125ha、公園・防災地区は約50haとしていましたが、自然環境の一層の保全・創出とレクリエーション等のニーズに対応した施設の充実を推進し、国際園芸博覧会のレガシーを継承するため、公園区域を約65haにし、観光・賑わい地区の面積は約70haへ変更しました。</p> <p>また、物流地区については、民有地が配置される予定ですが、災害時にも物流機能が維持されるとともに、救援物資の受け入れや配送等、公的な物流機能、地域の一時的な避難場所や広域応援活動拠点との連携を担うことも期待しています。</p>
28	<p>民有地である物流地区の考え方はどのように実現するのでしょうか。</p>	<p>国際園芸博覧会の開催を契機とし、本地区全体のまちづくりのテーマ「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指し、郊外部の新たな価値を創造し、横浜の未来につながるまちづくりを行うために、方針を理解していただいたうえで、共通のデザインテーマに取り組むことが重要と考えています。</p> <p>従って、本市が考える、事業者に取り組んでいただきたいデザインテーマを本デザインノートに示すことで、より良い土地利用を誘導していきたいと考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
29	必要ない。	地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、
30	物流拠点は不要ではないかと思ひます。あれもこれも総花的になると、中途半端になるのではないのでしょうか？ また物流はモノやトラックは集まりますが、人は集まりません。人が集まる、たとえば最先端工場みたいなものが良いのではないかと思ひます。	市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められてきています。
31	物流は既にも乗り遅れていると思ひます。すでに大型倉庫等が色々な郊外に完成しつつある状況。今後は倉庫等も余剰が予想される段階。圏央道付近の物流拠点には劣る。	東名高速道路や保土ヶ谷バイパスなどの広域的な幹線道路との近接性をいかし、新たな技術を活用した効率的な国内物流を展開する基幹物流の形成が期待されることから、物流地区を配置することとしています。
32	更地に物流拠点は作らない、古い物流拠点を再開するのが、都市整備局の腕の見せ所でしょう	
33	物流地区という名称がよくない。それはあくまで物流だけだからだ。例えば築地市場。これはある意味、物流拠点である。集客力もある。物流地区が欲しいと、市民・日本国民が思うだろうか？ 何を行き交いさせたいのか、そういった視点で考えて頂きたい。	
34	関東圏の物流拠点・メインになれるよう、高速道路への直結が最優先事項だと思ひます。	交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。 具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。 引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。
35	現状ひどい交通渋滞です。国際園芸博覧会など始めたらいくら道路を上瀬谷だけ増やして拡張しても意味がありません。新しいインターチェンジの話もありますが国際園芸博覧会に間に合うのですか？ キッパリ諦めるのがオトナです。現状の交通渋滞を緩和する工事のみで結構です。	

NO.	ご意見	本市の考え方
36	<p>物流は絶対に反対。やるなら保土ヶ谷バイパスと東名高速から、物流エリアに直接入る道路を作って、一般道の通過は認めないようにすべき。</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められてきています。</p> <p>東名高速道路や保土ヶ谷バイパスなどの広域的な幹線道路との近接性をいかし、新たな技術を活用した効率的な国内物流を展開する基幹物流の形成が期待されることから、物流地区を配置することとしています。</p> <p>交通渋滞対策については、土地利用基本計画に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>

(17p) 各地区に求めるデザインのイメージ 公園・防災地区

NO.	ご意見	本市の考え方
1	防災拠点として機能することを期待しております。	公園・防災地区に整備する広域公園については、公園整備の8つの方針の一つに防災・減災に資する公園を掲げており、災害時には「広域応援活動拠点」や、地域の避難場所として防災機能を発揮するとともに、グリーンインフラの効果による防災・減災機能も発揮できる公園としていきます。
2	広域防災拠点として活用すべきだと思います。	
3	大規模災害における横浜の広域的防災拠点として整備する。 デザイン案に指摘されているように、本地区は東名高速道路、保土ヶ谷バイパスなど幹線道路と近接しており、大規模災害時に市外から広域的な物的支援等を円滑に受け入れ、市内への展開がしやすい位置にある。ここを中核的な防災拠点として整備することによって、周辺地域、市内全域を含めた防災力が高まり、災害に強い安全・安心なまちづくりの推進役を担える。	
4	大災害や戦時（有事）対応として、地下空間を造り、長期生活できる設備を準備しておく必要がないでしょうか。（今時のロシアによるウクライナ侵攻から、外国からの攻撃に対応する施設を一つでも造っておく必要があると思います。また、関東大震災と同様の災害に対応するためにも必要でないでしょうか。）	
5	防災の観点に、是非、戦災を加えて欲しい。近年の世界情勢を見るに、何時、戦争が起こり他国から攻撃を受けるか判らない状況であると認識しています。例えば駐車場を整備するのであれば、駐車場の下に防空壕（出来れば核シェルター）を整備して欲しい。ロシアの攻撃を受けたウクライナの民が、地下鉄や製鉄所に避難していたのを見て切に願う次第です。	
6	フジロックなどのフェスを開催できるステージを作り、平時には公園やキャンプ施設としての利用をし、緊急時には、テントを利用した広域避難場所としての使用が出来るような防災施設にして欲しいです。	
7	公園は必要だと思うが、いたずらに遊具を設置したりすることはせず、自然を感じられるような、例えばキャンプ場のようなことも考えてみてはどうか。広い野原のような場所は、大規模な災害時に防災面でも有効利用できると思う。	公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな公園としていきます。

NO.	ご意見	本市の考え方
8	<ul style="list-style-type: none"> ・例年実施している瀬谷フェスティバル等のイベントスペースがあると良い。 ・15年以上前に計画されていた本郷運動公園は本郷公園となり、計画されていたサッカー場、バスケットコートはできなかった。公園内にサッカー場、バスケットコートのスポーツができる施設も必要。禁止されている場所が多い、スケートボード場などは小、中学生が喜ぶ。 ・どこにでもある公園でなく、上記のような特色ある公園を作るべき。 ・防災対応については4項目のテーマで書いた災害、パンデミック対応が必要 	<p>公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、市民や企業、周辺まちづくりなどと連携し、地域の祭りや広域的なイベント、スポーツやレクリエーション、公園の維持管理など、様々な場面で多用な主体が参加・運営することができる公園としていきます。</p>
9	<p>自然環境豊かなことから、少年野球場、サッカー場、フットサルコート、テニスコートを充実させたほうが良い</p>	
10	<p>少年野球や中学校の部活で利用できる軟式野球場を整備して下さい。</p>	
11	<p>（ロックフェスが行えるような整備に期待） ひたち海浜のロックン、蘇我のJAMなど地域がロックフェスで経済効果をもたらしている。都心からも近いため、人気のアーティスト主催と組めば多くの若者が訪れてにぎやかになるとおもう。</p>	
12	<p>スポーツ施設や自然体験など、子供達が喜び笑顔が溢れる公園をお願いします。</p>	
13	<p>商業同様、テーマごとにエリア分けされていると利用しやすい。（子供がボール遊びできるエリア、遊具エリア、大人がシートを敷いてゆっくりできるエリア、ちょっと休めるカフェやレストランのエリア など）</p>	<p>公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、現在の地形をいかながら、大きく4つの地区を設定し、施設の整備を行っていきます。</p>
14	<p>「農」と持続可能なライフスタイルの融合 について 果樹園や畑、水田を一部市民参加で営農する。農業インストラクターのもとで農業を学ぶ。果樹や水田のオーナー制度</p>	<p>公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、農体験ができる場の創出など、上瀬谷の農と持続可能なライフスタイルが融合し実践する公園としていきます。</p>
15	<p>農業振興地区との相互一体化の基本的視点を保ち乍ら、「里山保存」のコンセプト（基本的考え方）を表現することを目指して欲しい。（山下埠頭再開発のコンセプトとの対比として）</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
16	集客したいのであれば、このエリア内で、食育をテーマにした施設を併設し、維持管理のため、料金徴収することを提案。	公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、民間活力の導入により、公園の利便性の向上と賑わいを創出する機能を配置していきます。
17	公民連携で、よりよいサービスを、未来永劫、提供し続けられることも期待します。	
18	花博のレガシーは不要。負のレガシーになってしまう。現状の上瀬谷通信隊跡地のレガシーではダメなのか。	公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、園芸博の跡地にできる記念公園として、花き園芸・農に関する取組、SDGsの実現やSociety5.0、カーボンニュートラルの推進等の園芸博の理念や取組などを継承していく公園としていきます。
19	毎日でも散歩したくなる公園の整備をお願いします。	公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、豊かな自然環境の中で、自然とともにある心地よさや喜びを感じながら、自然体験や環境学習などが行える公園としていきます。
20	ジョギングしやすい園路の整備をお願いします。	公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、幅の広い園路を活用し、ジョギングコースの設定を検討していきます。
21	<ul style="list-style-type: none"> ・公園は緑色の箱物です、整備費と毎年の管理費を市の職員の給与で賄うとしたら、普通反対しませんか、市民の税金も一緒です ・農地は防災時にテントを設置したり、一部ダスト舗装や砕石舗装とするだけで十分機能します ・防災構造物をあえて作る必要性は感じません、あえて作るなら、耐震化した水道・下水道・災害用はまっ子トイレはあります ・上記のライフラインの幹線だけ作ろう、枝線までは不要、全部作ったら財政再建団体への道が進みます 	公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、「みどり」とともにある持続可能で多様なライフスタイルを实践・発信する公園としていきます。

NO.	ご意見	本市の考え方
22	<p>噴水はわかりやすい集客効果があると思います。また、公園にはウッドチップを敷いていただき怪我予防をお願いします。</p>	<p>公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、「みどり」とともにある持続可能で多様なライフスタイルを実践・発信する公園としていきます。</p>
23	<p>スケボーパーク コンクリートbowlなどコンクリートプールなどランプ 壁際には長めのバンクなどサーフスケートもできるようなパーク アメリカカリフォルニア州のベニスビーチにあるようなパークなどがあったら最高です</p>	<p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
24	<p>多様な主体が参画し、様々な楽しみ方を引き出せる公園 について 持続可能な運営にする為に市民参加が重要であり、その仕組み、組織づくりが必要だと考える。公園に愛着をもち、自然環境保全活動を継続して次世代に引き継ぐことのできる人材育成。ボランティア人材育成。イベントは障がい者と健常者が一緒になって創作活動。作業所で行っている廃油から石鹸作りなど、エコ活動の推進。古民家を建てて、生活の知恵、日本の文化を伝える催し。 （長屋門の様な）だれもが集える居場所づくり。困りごとよろず相談所。電線のない広場は今や貴重。凧揚げなどのイベントも。広大な土地を生かした大人のサバイバルゲーム場。合戦場。（かつて上瀬谷は古戦場であった）野外シアター</p>	
25	<p>「公園・防災地区」にはいろいろな施設が想定されていることと思いますが、ウッドハウスは是非作っていただきたいと思います。木造建築物の中で子どもたちが遊びながら木の手触りを体験できる場、雨が降っても遊べる場になると思います。農体験については、にぎわい地区との連携を図り、参加者の振り分けをスムーズにすることが肝要かと思います。</p>	
26	<p>自然公園の中に宗教儀式（結婚式など）が出来る施設を設置し、貴重な思い出を作れる場所を提供する。賑わい地区に宿泊施設を建設されるかは不明ですが、宴席や来賓者が宿泊できる施設があれば、宿泊後、賑わい地区等で観光も兼ねて横浜を楽しむことが出来、来賓者も貴重な思い出の一つを心に刻める場を提案します。</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
27	すてきな公園になることを期待しています。	<p data-bbox="778 152 1394 448">公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、「みどり」とともにある持続可能で多様なライフスタイルを実践・発信する公園としていきます。</p> <p data-bbox="778 456 1394 533">いただいたご意見も踏まえ、今後もしっかりと検討していきます。</p>
28	自然とスポーツ施設などバランスの取れた公園にしてください。	
29	毎日でも行きたくなる公園をお願いします。	
30	横浜市内は大規模公園の数が少ないので是非公園整備を希望します。	
31	周辺の住民がゆっくり憩える場所としてほしい。	
32	是非取り込んでください	
33	新たな桜の名所をつくるようですが桜並木のほうがいいです	<p data-bbox="778 840 1394 1005">海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p data-bbox="778 1014 1394 1220">このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p data-bbox="778 1229 1394 1435">令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p> <p data-bbox="778 1444 1394 1794">また、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりにより新たに整備する（仮称）旧上瀬谷通信施設公園では、市民意見募集等を踏まえて策定した「（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画（案）」に基づき、四季を通じて楽しみながら自然と触れ合う心地よさや喜びを感じられる公園となるよう桜並木やサクラ広場のほか、テーマが異なる複数のガーデンや庭園などを整備する予定です。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
34	<p>来ただけで四季の花や自然を楽しめるようにした方がよいと思います。デザイン性の高い花壇やインスタ映えフォトスポットなどもあったほうがよいと思います。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりにより新たに整備する（仮称）旧上瀬谷通信施設公園では、市民意見募集等を踏まえて策定した「（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画（案）」に基づき、四季を通じて楽しみながら自然と触れ合う心地よさや喜びを感じられる公園となるよう桜並木やサクラ広場のほか、テーマが異なる複数のガーデンや庭園などを整備する予定です。</p>
35	<p>公園としては昭和記念公園（東京の立川）をモデルとした四季を通しての公園を望む。 その中に、先にあげた文化施設があれば良いと思う。 港、横浜の西南方面の新しい可能性をみい出してほしい。 港ヨコハマに対して陸(りく)のヨコハマ</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、今後もしっかり検討していきます。</p>
36	<p>「自然体験や環境学習などが行える」について意見：今ある16枚の田んぼを生かす。 地域農業の担い手となる人材育成を言うのであれば、田んぼは絶対残さなければいけない。また環境学習において水の循環はその中核となる教材であり、上瀬谷は絶好の学習の場である。子供たちに自然を体験させながらの学習を実現させるために谷戸を残し、今ある16枚の田んぼを生かしていくべきである。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、豊かな自然環境の中で、自然とともにある心地よさや喜びを感じながら、自然体験や環境学習などが行える公園としていきます。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
37	<p>この立地で、周りからここに逃げる住民は限られる。今のままの方が十分に避難ができるのに、囲いを設置して避難できないようにしている。それなのに、これから避難場所の整備しますというのはまったく説得力がない。イベントありきの屁理屈を立てているだけ。爆弾や危険物が埋まっていたり、土壌汚染されている可能性があるが、全て調査して取り除かれるのか。危険な土地を公園などにするのはおかしい。全般的に読んでも何をやるようとしているのか全く意味が不明。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>また、今後、本格的に工事を実施していくにあたっては、近隣住民の方や道路などの利用者、工事従事者等の安全を確保することは非常に重要と考えています。</p> <p>砲弾については、地歴調査でわかっている旧日本海軍の施設があった場所では、磁気探査などの調査を行うこととし、さらに安全を期すために、今後、掘削を伴う工事を実施するエリアでも、旧日本海軍の施設の有無に関わらず、磁気探査などの調査を行っていきます。</p> <p>土壌汚染については、当地区の全域を対象に「土壌汚染対策法ガイドライン」に基づき、調査を実施しています。その結果、国有地66か所と民有地22か所の基準値超過を確認しています。このうち民有地の2箇所については除去済みとなっています。また、深い位置で土壌汚染が確認された1箇所を除き、すべて掘削除去を行っていく予定です。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>
38	<p>公園の東地区に農体験をできるところの創出を計画しているようだが、このあたりは和泉川の源流域なのでなるべく改変しないでほしいです。環境学習は田んぼで行うのが良いです。水の大切さや生物多様性を学べ、食育にも役立ちます。</p>	<p>新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。</p> <p>また、公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、豊かな自然環境の中で、自然とともにある心地よさや喜びを感じながら、自然体験や環境学習などが行える公園としていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
39	<p>本当に豊かな自然を「継承する価値のあるもの」と認めているのであれば、公園防災地区については「どう開発するか」ではなく、「どう開発しないか」を主眼に考えるべきです。川の流れを変え、パッチワークにして、谷戸田を赤土で埋め、芝生を敷いて海外由来の植物を植えてしまったら旧上瀬谷通信施設地区の生態系は完全に崩れてしまいます。オオアカバナやタコノアシなどの固有種植物、最近横浜市内で確認率が減ってしまったというアマガエル、玉巣が見つかったカヤネズミなどの小動物は絶滅し、小動物を餌にしている市民の森の猛禽類(オオタカやノスリ)も棲めなくなります。水辺が減ればカルガモなどの渡り鳥も立ち寄れなくなるでしょう。瀬谷区のシンボルであるコノハズクのせやまるも瀬谷区から姿を消してしまいます。旧上瀬谷通信施設地区の生態系が壊れれば、横浜市・神奈川県のあるとあらゆる生態系にも影響が出るでしょう。2027年に国際園芸博覧会を開くとしても、この地区の開発は最小限に留めて「今ある自然」を残すべきです。また、非常に気になるのは、公園「防災」地区という地区名であるが為に、広域防災拠点と地域の避難場所の概念がごっちゃになっている点です。広域防災拠点と地域の避難場所は、もちろん並び立つはずがありません。2027年国際園芸博覧会協会の説明会でも質問されていましたが、もしも土地区画整理事業の工事中、国際園芸博覧会の会期中に災害が起こったら、またその後、自衛隊等による広域防災拠点が設置されたら地域の避難場所はどうなるのでしょうか？明確な回答はありませんでした。</p>	<p>生態系を保全するため、公園・防災地区において保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>なお、検討にあたっては、専門家等の助言も踏まえ、生態系への影響を可能な限り低減していきます。</p> <p>公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）としていきます。</p>
40	<p>公園・防災地区の範囲が狭すぎる。これを観光・賑わい地区と物流地区のほうまで広げて、テーマパークを廃止して大規模な自然公園として活用するほうが良い。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>面積については、土地利用基本計画においては、観光・賑わい地区の面積は約125ha、公園・防災地区は約50haとしていましたが、自然環境の一層の保全・創出とレクリエーション等のニーズに対応した施設の充実を推進し、国際園芸博覧会のレガシーを継承するため、公園区域を約65haにし、観光・賑わい地区の面積は約70haへ変更しました。</p>
41	<p>緑を残せ。ソーラーパネルは一切不要。国民はみんな公務員と政治屋がもう本当に日本を潰そうとしてると気づき始めてるぞ。お前ら自身の将来も国民からの反発を受けたらどうなるか、一度立ち止まって考えてみる事だな。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、</p>
42	<p>人工的な公園は不要です。今の上瀬谷の自然を愛でる、それ以外なにかグリーンインフラでしょう。</p>	<p>市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>
43	<p>国際園芸博覧会のレガシーの継承???? あまり手を加えない、自然のまま公園にして欲しい。</p>	<p>自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
44	<p>自然を残すべき。谷戸、水源地のホトケドジョウが生息する川を暗渠にしないで欲しい。草原の起伏を壊さず、動植物が生き残れる様に。人間が傲慢になりすぎると必ずしっぺ返しを食らうだろう。</p>	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。</p> <p>また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>
45	<p>東地区は極力人の手は入れない現在の形を残すべきです。</p>	<p>新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。</p>
46	<p>「花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷の環境基盤の創出」について 意見：和泉川の源流を残し、上瀬谷湿原を活用する。 理由：公園ゾーンに和泉川の源流が2本存在し、尾瀬湿原のようななつかしい景観が出現している。これを整備し木道を作るなどしたら市民が憩える場所になると思う。</p> <p>※写真及び図は省略させていただきました。</p>	<p>新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。</p>
47	<p>四季を通じて楽しみながら自然と触れ合う心地よさや喜びを感じられる公園 について 東地区は和泉川の源流があり、今や貴重な湿地も存在する。この湧水、湿地は多様な動植物の生息地であり、できるだけ手を加えず保全し、野生生物の聖域を作ってほしい。レッドリストのホトケドジョウやゲンジ螢が生息する。将来的に保全活動を推進し、ホタルの里として観光資源にもなると思う。</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
48	<p>桜については、『世界一豊富な品種を集めた桜公園』として、10年以上かけて『名園』を作り上げる気概で取り組んで欲しいと思います。</p>	<p>海軍道路（環状4号線）の桜並木については、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年約20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、国際園芸博覧会や旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月には、これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画（案）」、「市民意見募集の結果」等も踏まえて、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画（以下、「基本計画」という。）」を策定しました。</p> <p>基本計画の「取組①桜の再生と新たな名所づくり」では、（仮称）旧上瀬谷通信施設公園における新たな名所づくりとして、「公園のシンボルとなる桜並木の整備」や「様々な品種のサクラの植栽例」を記載しました。</p> <p>新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、基本計画に基づいて着実に事業を進めていきます。</p>
49	<p>・桜は植えられる計画です。多様な桜を植えてほしい。</p> <p>モデルは三溪園や尾道千光寺公園です。</p> <p>・日本全国の桜の名木を分けてもらう</p> <p>岡山醍醐桜とか、熊本一心行の大桜とかです。</p> <p>・「何も植えないエリア」を狭くて良いので作ってほしい 500㎡ぐらい。</p> <p>現状は草原だと思います。</p> <p>いわば実験です。草原だった所がどう変わるのか？</p> <p>草原→竹やササ、ナラ・シイ等の混交林→照葉樹林と遷移してゆくのかを長く観察する。</p> <p>・この地区が、通信施設だった事を記念する物を展示する。残っていればですが、鉄塔やアンテナ、建造物、付属してあった消防車などです。なければ復元、レプリカ、写真、模型、ジオラマ、ビデオ映像。</p> <p>現代の通信施設を作る。基地局やアンテナです。塔状の物、ランドマークになる物。</p>	<p>海軍道路（環状4号線）の桜並木については、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年約20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、国際園芸博覧会や旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月には、これまで検討を進めてきた、「海軍道路の桜並木に関する懇談会」の検討結果や「（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画（案）」、「市民意見募集の結果」等も踏まえて、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画（以下、「基本計画」という。）」を策定しました。</p> <p>基本計画の「取組①桜の再生と新たな名所づくり」では、（仮称）旧上瀬谷通信施設公園における新たな名所づくりとして、「公園のシンボルと</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>なる桜並木の整備」や「様々な品種のサクラの植栽例」を記載しました。</p> <p>新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、基本計画に基づいて着実に事業を進めていきます。</p> <p>また、公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、「みどり」とともにある持続可能で多様なライフスタイルを実践・発信する公園としていきます。</p>
50	<p>「上瀬谷の記憶」とは何だ？上瀬谷通信施設の森やはらっぱや川を破壊しなければ記憶に残す必要もないだろう。国際園芸博覧会には反対。「みどり」というキーワードも何度もこの章で出てくるが、横浜市の「みどり税」の使用用途も不可解である。他の政令指定都市ではこんな税金はない。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、国際園芸博覧会については、旧上瀬谷通信施設が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
51	<p>自然を残し、川は暗渠にせずに、災害用井戸を残し、自由に使える公園にして、いつでもだれでも使えるようにして下さい。防災倉庫は木造で創り、米・麦・大豆・粟・ひえ、餅が備蓄できるようにして下さい。</p>	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。</p> <p>また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、「みどり」とともにある持続可能で多様なライフスタイルを実践・発信する公園としていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
52	<p>花博ありきのゾーニングに違和感を覚えます。また、ここで花博を行うことにより、相沢川は暗渠になり、水田は埋められ、水辺環境はすべて失われてしまいますよね。それは、地域のポテンシャルを落としていませんか？ オランダ・アルメーレの花博は失敗しました。花博の規模を見直したり、BIEの認定はありましたが、コロナ禍もありますし、「花博を中止にする」選択も躊躇せず行って欲しいです。</p>	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。</p> <p>また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、国際園芸博覧会については、旧上瀬谷通信施設が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
53	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、国際園芸博覧会については、旧上瀬谷通信施設が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討が進められてきているため、医療・福祉施設については現時点では難しいものと考えています。</p>

その他

NO.	ご意見	本市の考え方
1	<p>瀬谷が活気づく観光・賑わい地区となる事業計画を実施して下さい。（テーマパーク）新たな横浜の拠点となる事を期待しています。</p>	<p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p>
2	<p>テーマパークができるのならば神社を分祠していただく。戸塚区俣野町にはドリーム春日大社があります。ドリームランド創建時にいっしょにできました。</p>	<p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p>
3	<p>〈全般 P2〉 デザインノート(案)(以下「ノート」)そのものに関する意見ではないが、事業提案を公募するにあたり応募要項とノートがセットになると思われるので、以下のことをお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案者が募集対象となる観光・賑わい地区と外とのアクセス確保、強化する提案をする場合、その提案に配慮すること ・地区に関連する、跡地に含まれる外側の地区についても、並行して進むと思われる土地区画整理事業への提案を応募者が出来るようにすること 	<p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>
4	<p>2ページ 各地区の面積、用途についてはすでに決っている事で問題は中身、実体だと考えます。物流、農業、公園・防災の3エリアは内容が明確で、よくわからないのは観光賑わい地区です。</p>	<p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方	
5	観光・賑わい地区の事業者の公募前に、市としてまちの方向性を示すことは、評価ができる。上瀬谷を未来に誇れる町にして欲しい。	地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえ、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。	
6	今年、瀬谷区の戸建てを購入し、引っ越すことを考えています。瀬谷の魅力をもっと高めることで対外的に活気をつけていきたいと考えています。また、現地住民の雇用確保をいただくことで、現地の活力も高めていきたいと考えています。		
7	上瀬谷の計画に基づいて、まちづくりを着実に進めてほしい。		いただいたご意見を踏まえ、今後もしっかり検討していきます。
8	深谷も含め、米軍施設跡地のまちづくりをしっかりと進めてください。		
9	上瀬谷のまちづくりを進めて、横浜を元気にしてほしい。		
10	高齢化が進む郊外部なので、活気がある施設を誘致して活性化してほしい。		
11	とても難しい内容だが、将来、旭区だけでなく、横浜市が誇れるようなまちづくりを進めていただきたい。		
12	若者が期待できるまちづくりをすることにより、横浜の発展があると思うので、しっかりと進めてほしい。期待してます。		
13	まちづくりを着実に進めてほしい。		
14	郊外部の活性化には、上瀬谷のまちづくりが必要。期待してます。		
15	旭区、瀬谷区が元気になるまちづくりを進めてほしい。明るいニュースなので、どんどんアピールしてください。		
16	これだけの大規模な土地、10年後、20年後どんなまちになるか楽しみです。		
17	明るいニュースがない中、このまちづくりに期待してます。		
18	デザインノートのような進め方は良いですね。今後も上瀬谷のまちづくりに期待してます。		

NO.	ご意見	本市の考え方
19	Twitterなどで自然破壊など騒いでる人がいるが横浜の将来をまったく考えていない。不愉快。自然として残すものは残す、新しく作るものは作る、ぜひ民間の力を最大限活用してバランスのとれたまちづくりを進めて欲しい。これは横浜にとって大きなチャンスだと思う。	地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。
20	将来が楽しみになってきました。期待しています。	いただいたご意見を踏まえ、今後もしっかり検討していきます。
21	<p>1 「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画デザインノート（案）」について 「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画デザインノート（案）」に基づいて、着実に事業を推進してください。 また、今後、「観光・賑わい地区」の事業者の決定など、事業の進捗に合わせて、情報提供を行ってください。</p> <p>2 国際園芸博覧会開催時の輸送計画について 中原街道や厚木街道など会場周辺において交通渋滞が発生している状況で、国際園芸博覧会の開催により、当該地域の人の流れが増加し、交通量も増加することで交通環境のさらなる悪化が想定されます。また、バスや車が主な移動手段であるこの地域の住民の日常生活に支障が生じないよう、環状4号線や国道16号線などの道路整備を着実に進めるとともに、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会と連携し、輸送計画について十分に検討し、実現に向けて着実に取り組んでください。</p> <p>3 旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりに向けた基盤整備について 国際園芸博覧会開催時はもとより、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりの推進に伴い、周辺の交通量が増加することが想定されます。このため、新たな交通や新たなインターチェンジの事業を推進するとともに、将来に向けて地区周辺の交通網の整備を着実に進めてください。さらには、横浜動物の森公園の中央道路の三保街道までの延伸についても着実に整備してください。また、整</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、今後もしっかり検討していきます。</p> <p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>備にあたっては工事車両の動線計画について十分に検討を行い、適切に地域に共有してください。</p>	<p>なお、2027年国際園芸博覧会の来場者輸送については、円滑な輸送の実現に向け、瀬谷駅、十日市場駅、三ツ境駅、南町田グランベリーパーク駅の4つの駅、東名高速道路、保土ヶ谷バイパスとも近接しているという立地特性や、今回計画している道路を活かした輸送アクセスについて、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会が警察や交通事業者、横浜市などの関係者による協議会を開催し、検討を進めています。今後、計画がまとまった段階でお示しする予定と聞いています。</p>
22	<p>旧上瀬谷通信施設のまちづくりは、今後の瀬谷区の発展に非常に重要なものです。そのため、「デザインノート（案）」に記載されている内容を速やかに進めてください。その上で、地域の活性化に向けたまちづくりを進めてください。また、瀬谷区民の生活に与える影響が大きいと、事業者の決定など計画の具体化に合わせて、適切な情報提供を行ってください。</p> <p>なお、「デザインノート（案）」の内容とは別になりますが、以下の内容にご留意いただき、旧上瀬谷通信施設地区の事業を円滑に推進してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりが進めば、交通量が增大することは明白です。この開発に合わせて、現在脆弱な瀬谷区内の南北の交通の確保など、瀬谷区全体の発展につながる交通網のあり方も検討してください。あわせて、新たな交通やインターチェンジの事業を推進してください。 <p>今後、工事車両の通行など、事前に地域住民に丁寧な説明を行い、周辺地域の安全を確保してください。</p>	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、今後もしっかり検討していきます。</p> <p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。
23	楽しみです。早く作ってー	土地区画整理事業については、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯
24	様々な意見があるかと思いますが、デザインノートに基づき、まちづくりを進めてほしい。	や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えており、いただいたご意見の趣旨を踏まえて、今後もしっかりと取り組んでいきます。
25	非常に良い場所だと思います。市がイニシアチブをとって、まちづくりを進めていただければと思います。	
26	施設全般について 広大な施設なため、全施設のしっかりした管理組織が必要と思われます。	いただいたご意見を踏まえ、様々な機能・事業者等により相乗効果を発揮するエリアマネジメントの実現に向けて、今後もしっかりと検討していきます。
27	物流施設のイメージは悪いが、最先端技術の導入や市も連携することにより、横浜市として誇れるような施設を目指してほしい。	いただいたご意見を踏まえ、新たな技術を活用した効率的な国内物流を展開する物流拠点の形成に向けて、今後もしっかりと検討していきます。
28	将来的に自動運転等が可能になるような設備を整備しておく。	いただいたご意見を踏まえ、様々な交通ネットワークについて今後もしっかりと検討していきます。
29	本地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ、自然エネルギーの拠点を形成する。 「Zero Carbon Yokohama」を実現するには、これまでの大企業主導では「2030年50%」の削減目標すら達成できない。原発や火力発電などの大規模集中型システムによらず、太陽光発電などによる横浜版シュタットベルケ=自然エネルギー公社創設構想による地元中小企業、協同組合、市民の連携した地域分散型ネットワークシステムに切り替えるべきである。 本地区を横浜市におけるその拠点として形成する。	いただいたご意見を踏まえ、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」を今後もしっかりと検討していきます。

NO.	ご意見	本市の考え方
30	デザインというイメージがわからないが、笑顔が絶えないまちづくりを進めてほしい。期待しています。	<p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえ、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、今後もしっかり検討していきます。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
31	まちのデザインの考え方が見えてきました。良い町にしてください。	<p>いただいたご意見を踏まえ、旧上瀬谷通信施設地区のデザインについて今後もしっかりと検討していきます。</p>
32	デザインノートの取組はとても良い。勉強になりました。	
33	このような取組はとても良いと思います。横浜を元気にしてください。	
34	デザインノートに沿って計画が進むことを期待しています。	
35	難しい内容でしたが、よく読むとまちの目指す姿が見えてきました。頑張ってください。	
36	是非この計画を進めていただきたいと思います。	
37	まちをデザインする取組は横浜らしい。将来が楽しみです。	
38	このような取組は良いと思います。時間はかかるかと思いますが、着実に進めてください。	
39	デザインノートのような取組はとても良いと思います。まちの完成が楽しみです。	
40	デザインノート読んで、何となくまちの方向性が見えてきました。期待しています。	
41	とても良い取組です。しっかり進めてください。	

NO.	ご意見	本市の考え方
42	4つの地区が連携したまちづくりを進めて欲しい。期待しています。	地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、
43	4つの地区は、全て魅力的。連携すればさらに相乗効果を発揮しそう。	市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を
44	特に4つの地区で相乗効果を生むような取り組みが実現できることを期待します。	配置することとしてこれまで検討を進めており、各地区が連携することにより、計画地全体の価値が向上するとともに、周辺地域へも波及していく
45	4つの地区が連携して、まちが活性化することを期待しています。	ことで、環境と共生した郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していきます。
46	242ha 東京ドーム52個分の広大な土地とはいえ、今回の開発はあまりにもあれもこれもと欲張りすぎです。全くコンセプトの違う地区をパズルの様に組み合わせても、上手く噛み合うはずが無いのです。どうぞ各地区をバラバラに開発するのではなく、全体を見渡す責任者を置いてください。農業インフラなどの必要な施設や道路は整備する、後は「どれだけ残せるか」を考える。「首都圏最後の空白」を普通の郊外地に変えてしまったら、これほど罪深い事はありません。	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>各地区が連携することにより、計画地全体の価値が向上するとともに、周辺地域へも波及していくことで、環境と共生した郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していきます。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
47	<p>全体的に素晴らしいデザインノートだと思いますが、鉄道交通についての記載が少ない印象を受けます。瀬谷駅を起点とした交通手段は正直、中途半端だと思います。せっかくグリーンインフラを構想しているなら、中山駅からグリーンラインの延伸を検討したらどうでしょうか。ズーラシア、里山あたりを經由して、上瀬谷市民の森の近くを 通ってから、利用客が多く見込まれる免許センターを經由し、相鉄の中心駅である二俣川駅と接続します。それからこども自然公園あたりも經由します。名実共に、グリーンライン、グリーンインフラになると思いますので、是非ご検討のほどよろしくお願いいたします。</p>	<p>新たな交通については、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保しながら、整備コストの抑制を図っていく視点で、新たな技術の活用も含め、幅広い検討を進め、観光・賑わい地区における事業予定者決定により、来街者の需要を見通しながら、輸送システムを検討していきます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、旧上瀬谷通信施設地区のデザインについて今後もしっかりと検討していきます。</p>
48	<p>利用者が、100年後も「横浜市は本当に良いものを作ってくれたものだ」と感嘆するものをじっくりと作り上げようではありませんか。全体を一気に計画し、作り上げてしまう方法には危険を感じ、反対です。用地の一部は保留地として残し、例えば10年毎にPDCAを回すなどして、着実に推進していただきたいと思います。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接收されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
49	<p>率直な感想としては、色々な利害関係者（地域住民・農家・市議会・民間企業など）に配慮するため、これといった事業を押しせず、ぼやけているなと感じました。日本最大の市町村である横浜市でさえも、今後は人口減少・高齢化比率は避けられず、昨今言われているコンパクト・シティー化を他市町村よりはそれでも余力のある横浜市が敢えて進めていく必要が、将来的な日本のためにあると考えます。</p> <p>※瀬谷地区の活性化は横浜市の課題から見たら、優先順位が低いと思います。今ここで、新たな公園機能、農地機能、物流機能は横浜市には不要だと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園機能：三ツ沢、根岸、野島、こども自然公園など大型の公園は市内に十分整備されている。 ・農地機能：この程度の農地では少量しか生産できず、コスト高になる。近隣の大和市・相模原市などと連携した方が良い。またそもそも、担い手が市内に不足、高齢化しており、結果的には市民農園的になりそう。 ・物流機能：工場などは海側に多くあり、湾岸地域を拡充した方が良い（渋滞などで地域住民の方が困る） 	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>
50	<p>昭和・平成と同様の政策をやって成功例がないのに、大金かけて実施する理由は全くないと思われる為、大反対です。</p>	
51	<p>国民をあまり舐めるなよ。あまりふざけると将来お前らは、全ての国民からの侮蔑の対象にしかないぞ。</p>	
52	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に横浜市を安全な都市としたいなら、上瀬谷に事業費を使わないで ・狭隘な通行量がある抜け道的な道路の拡幅は無理でも、待避所だけでも作って、緊急車両を通せるようにしよう ・両側で2車線のバス路線道路にバスベイを設置して、緊急車両を通せるようにしよう ・まずは人口密集地の安全対策に事業費を使おう ・人口密集地を再開発し、被災しても強靱な町作りをして、都市整備局の腕の見せ所にしよう 	

NO.	ご意見	本市の考え方
53	<p>〈全般 P3 P6 及び関連ページ〉</p> <p>ノートの全般に係る整備の基本的な考え方について、以下のようにページを特定できない表現と、特定したものとを提示します。</p> <p>・土地利用基本計画とノートで、「郊外部の新たな活性化拠点」とされているが、郊外部の活性化の考え方は基本構想（2040横浜）や中期計画などでは明らかではないので、上瀬谷だけの開発で郊外部が活性化するのかどうか。取り組みが見えてこない。「拠点化」による開発方式は拠点の経済成長が周辺をけん引するということを意味していると思うが、このノートではそれが見えてこない。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>
54	<p>不要な開発は即座に止めてもらいたい。花博に賛成の市民はどれだけの割合ですか？近隣の方々は危険と迷惑しか感じられません。利権絡みの開発は即刻中止すべきである。先のビジョンを示し、有効な活用が出来るように切に願うばかりです。透明性の確保。近隣への配慮が不足しすぎです。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>また、国際園芸博覧会については、旧上瀬谷通信施設が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
55	<p>P4の花博は、あと4年後に開催が予定されています。横浜市の土地で行われるイベントではなく、民間市民の方々の土地を、区画整理事業の仕組みを使って整備を行うとお聞きしています。市民の財産で使って行う事業です。土地をお持ちの方が、将来どのくらいの土地に変換されるのか、工事に際してどのくらいの補償を受けることになるのか、事業の途中で花博を行うことによる、事業そのものへの影響はないのか、あるとすればその負担を権利者には一切求めないですむ事業計画なのか、様々なことを権利者全員の合意の上で事業を進めることが、4年間で果たして可能でしょうか？</p> <p>土地の権利者の方々の減歩や負担で成り立っている事業手法で整備を行う以上、市民である権利者の方々を一番に考えたまちづくりを希望します。そのためには、花博の開催スケジュールを遅らせることも、やむを得ないと思います。花博ありきの進め方には反対です。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>2027年3月開催の国際園芸博覧会までに必要な基盤整備を完了することを想定して工程検討を進めており、引き続き地権者や関係者等に協力いただきながら事業を進めていきます。</p> <p>また、国際園芸博覧会の展示等に利用される会場区域については、主に、国有地を集約する予定の公園・防災地区を活用することとしています。</p> <p>引き続き、情報提供を行いながらまちづくりを進めていきます。</p>
56	<p>財政がひっばくしている今、PFIを使って、コストパフォーマンスを図るべき</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p>
57	<p>「土地利用」にあたり、なぜこの地がここに残ったのか、明らかに出来る限りの資料・材料を一堂に学べる施設（記憶学習館）をつくっておく必要があると思います。小さなものでも、この土地の持つ歴史を知ることは重要であるし、地域の発展にも大いに資することになるでしょう。ぜひ、ご一考ください。</p>	<p>市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、検討を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
58	<p>・エリア全体に係る基盤整備として、街全体を3D化し、デジタルツインによる実装を行い、防災、防犯における予防措置を行えるようにする。</p> <p>・進出してくる企業、施設等の建屋情報も3D化を義務付け、スマートシティ化に対応できるようにする。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p>
59	<p>弱い人間に居場所を下さい。よろしくおねがいたします。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、検討を進めていきます。</p>
60	<p>批判的な意見ばかりに耳を傾けるのではなく、活性化を期待する人の意見も重要。バランスの取れた市民意見の反映をお願いします。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、検討を進めていきます。</p>
61	<p>停滞の30年で、日本の経済基盤は弱体化し、若者が夢や希望を持たなくなっています。今、求められることは、経済を活性化させて、若者に「夢と希望」を与えることです。横浜の歴史と伝統は、「文明開化」イノベーションと「殖産興業」産業の発展です。科学技術立国をめざす日本においては、横浜を先進的な科学技術都市にする必要があります。横浜の企業は、ほとんどが中小企業であり、これら中小企業の活性化が横浜市活性化につながります。中小企業の技術力を高めて、旧上瀬谷通信施設地区にSociety5.0の未来都市をつくれば、横浜は世界に飛躍できます。求められるテーマは「夢と希望」であり、それを実現するのは旧上瀬谷通信施設地区にできるSociety5.0の未来都市です。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、検討を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
62	<p>1の旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりで、上位計画における本地区の位置付けとして、「本地区は、「横浜市中期計画」、「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」、「横浜市都市計画マスタープラン・区プラン（瀬谷区・旭区）」、「米軍施設返還跡地利用指針」といった上位計画において位置付けられています。」と述べられています。一方、国は日本が目指すべき未来社会として、Society5.0を提唱しています。</p> <p>Society5.0とは、スマートシティ、スーパーシティに続く未来の社会で、社会課題と経済発展を解決する超スマート社会です。横浜市も街づくりの最上位の計画にSociety5.0を位置付ける必要があります。「若者に夢と希望を」をテーマとして、日本で最先端のSociety5.0を実現することが必要だと思います。これが、「文明開化」と「殖産興業」を歴史と伝統とする横浜市の進むべき道だと考えます。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、検討を進めていきます。</p>
63	<p>倉庫、物流会社の事業所の緑地の連続図について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各物流会社が並んでいる ・道路からトラック、トレーラーが発着する ・建築物、ビル、倉庫の裏庭は緑地化する。 ・できれば高木を含む植栽をする。 ・できればビオトープを作る。 ・AA社とBB社の境界は基本コンクリートの壁であるが、一部2mぐらいで良いからフェンスにする。 ・緑地をつないで、昆虫、小動物が行き来できる様にする。アリ、ダンゴムシ、ミミズ、バッタ、トカゲが移動できる様にする。 ・グリーンベルトとして機能する ・何らかの規制、ガイドライン等を整備する。 <p>※図は省略させていただきました。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、物流地区においても周辺や環境に配慮したグリーンインフラ・脱炭素への取組について、今後もしっかりと検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
64	<p>公益性の高い地域でなくてはならないと主張します。そのためには、グリーンシティと英国のCAT及び、認定NPO法人抱樸や北九州市社会福祉協議会などで構成する、希望のまちプロジェクトを組み合わせたことが成功のカギになります。エコグリーンシティ 158ページ本プロジェクトにおいて、エコ・グリーンシティとは、緑化技術や省エネ技術、自然エネルギーを無理なく生活基盤に取り込んだ緑豊かなまちで、かつ環境負荷の少ない、緑を主体としたライフスタイルを展開できる環境共生型のまち、と定義します。エコグリーンシティ 公益財団法人都市緑化機構 CAT 代替技術センター Wikipedia 代替技術センターは、英国のウェールズ中部 ポーイスにある、環境保護活動に関する総合施設である。大学院課程、短期学習課程、市民への情報公開、啓発、再生可能エネルギー、持続可能建築、有機農法、環境親和的生活に関する出版などを行う。ウィキペディア 希望のまち あの暴力団事務所跡に「希望のまち」地域の人を「なんちゃって家族」に 北九州市、複合施設づくりへ寄付募る 東京新聞 7月11日（月）20:00 録画配信 希望のまちプロジェクト 進捗報告会 in 大阪) 亀石倫子 (弁護士) 藤原辰史 (歴史研究者) 奥田知志 (抱樸理事長)</p> <p>YouTube</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」を今後もしっかりと検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
65	<p>○駐車場をしっかりと確保して、渋滞が発生しない工夫をお願い致します。</p> <p>○子供が安心して学べる施設を希望致します。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、検討を進めていきます。</p> <p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>また、将来の土地利用者に対して、施設内に十分な車両待機場所や駐車場の設置を促すことで、周辺道路の交通流を妨げることを抑制させ、交通混雑の軽減に努めていきたいと考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
66	<p>上瀬谷通信施設跡地に必要と考えるもの</p> <p>①脱炭素化と地球環境改善を推進し、自然エネルギー産業を生み出すための広大な施設群</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電、バイオマス発電や水素燃料など燃料製造を推進・保管する施設 ⇒大規模企業だけでなく、市民が出資参加可能な施設、両面の施設群にしては？ ・水素燃料やクリーンエネルギー利用で動く自動車・バスなどの開発施設 ⇒その自動車・バスの物流発信拠点となる為の十分な面積の施設を併設する *横浜の進んだ自然環境を守る施設・産業群を国内や世界にアピールする <p>②瀬谷区・旭区の自営農業を後押しするための農業復興施設群</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専業農家を支援・後押しするための田畑や畜産業者のための土地利用 ・市民農園を支援・後押しするための田畑（希望する一般市民に貸し出す） ・生花産業や果物産業を育成するための土地利用（ビニールハウス群） ・農産物や果物、生花を販売するセンターや市場も併設し、横浜の新名物地区にする *畜産で生まれた肥料は田畑やバイオマス産業にも利用する <p>③上記の自然環境を充分に利用した園芸観光施設</p> <p>例えば⇒ひまわり畑？バラ園？菖蒲園？桜の名勝となる場所？ツツジ園？ハーブ園？など</p> <p>横浜の四季の移り変わりに対応できる横浜の美しい新観光名勝をつくる</p> <p>④多くの市民が利用できる公園や競技場、ドッグラン広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民公園は噴水、緑地など、老若男女が集う自然環境豊かな場所に ・競技場は⇒野球、ソフトボール、サッカー、フットサル、ストリート・バスケット、テニス、スケートボード、ゲートボールなど（障害者競技にも対応する） ⇒将来のオリンピック選手が輩出できるような青少年スポーツのメッカにする また、一般市民や老人も気軽に楽しめる競技施設も必要 <p>⑤防災拠点となる施設（緊急避難に必要な施設工</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、検討を進めていきます。</p> <p>なお、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p> <p>農業振興の具体的な内容については地元の農業者や連携する企業・大学等と意見交換しながら検討を進めていきます。</p> <p>公園・防災地区に整備する広域公園について</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>リア確保、装備品、非常食備蓄)</p> <p>⑥自然環境に恵まれた永住できる住居エリアの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の高齢化社会に適応するための住宅や老健施設 ・豊かな自然環境を利用した一般市民が子育て可能な居住地区（地区内に保育施設も） ・生活者、市民の為のショッピングセンター（近隣地域からも利用可能な広いスペース） <p>*横浜の将来を見通した、高齢者や子育て世代が永住する為にどうしても必要</p>	<p>は、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、「みどり」とともにある持続可能で多様なライフスタイルを実践・発信する公園としていきます。</p> <p>なお、現時点で旧上瀬谷通信施設地区においては、住宅を整備するという事は想定しておりません。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」を今後もしっかりと検討していきます。</p>
67	<p>上瀬谷通信施設跡地に必要と考えるもの（豊かな自然環境を背景に）</p> <p>①脱炭素化と地球環境改善を推進し、自然エネルギー産業を生み出すための広大な施設群</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電、バイオマス発電などの燃料製造を推進・保管する施設 ⇒大規模企業だけでなく、市民が出資参加可能な施設、両面の施設群にしては？ ・水素燃料やクリーンエネルギー利用で動く自動車・バスなどの開発施設 ⇒その自動車・バスの物流発信拠点となる為の十分な面積の施設を併設する <p>*横浜の進んだ自然環境を守る施設・産業群を国内や世界にアピールする</p> <p>②瀬谷区・旭区の自営農業を後押しするための農業復興施設群</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専業農家を支援・後押しするための田畑や畜産業者のための土地利用 ・市民農園を支援・後押しするための田畑（希望する一般市民に貸し出す） ・生花産業を育成するための土地利用（花博のレガシーを継承する） ・農産物や生花を販売するセンターや市場も併設し、横浜の新名物地区にする <p>*畜産で生まれた肥料は田畑やバイオマス産業にも利用する</p> <p>③上記の自然環境を十分に利用した園芸観光施設 例えば⇒ひまわり畑？バラ園？菖蒲園？桜の名</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、検討を進めていきます。</p> <p>なお、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、本地区は長年米軍に接収されていた</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>勝となる場所？つつじ園？ハーブ園？など 横浜の四季の移り変わりに対応できる横浜の美しい新観光名勝をつくる</p> <p>④多くの市民が利用できる公園や競技場、ドッグラン広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民公園は噴水、緑地など、老若男女が集う自然環境豊かな場所に ・競技場は⇒野球、ソフトボール、サッカー、フットサル、ストリート・バスケット、テニス、スケートボードなど（障害者競技にも対応する） ⇒将来のオリンピック選手が輩出できるような青少年スポーツのメッカにする <p>また、一般市民や老人も気軽に楽しめる競技施設も必要</p> <p>⑤防災拠点となる施設（緊急避難に必要な施設エリア確保、装備品、非常食備蓄）</p> <p>⑥自然環境に恵まれた永住できる住居エリアの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の高齢化社会に適応するための住宅や老健施設 ・豊かな自然環境を利用した一般市民が子育て可能な居住地区（地区内に保育施設も） ・生活者、市民の為のショッピングセンター（近隣地域からも利用可能な広いスペース） <p>*横浜の将来を見通した自然環境を守る、高齢者や子育て世代が永住する街づくり</p>	<p>め、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p> <p>農業振興の具体的な内容については地元の農業者や連携する企業・大学等と意見交換しながら検討を進めていきます。</p> <p>公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、「みどり」とともにある持続可能で多様なライフスタイルを実践・発信する公園としていきます。</p> <p>なお、現時点で旧上瀬谷通信施設地区においては、住宅を整備するという事は想定しておりません。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」を今後もしっかりと検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
68	<p>(1)「接收解除」された、当旧上瀬谷通信基地の跡地利用にあたっては、まず第一は、同通信基地の地主・地権者が永きにわたる「接收」により被った不便・不利益に報いることである。最優先は、地主・地権者の考えを反映させることである。次には、当地の周辺住民の意見・要望を前広に採り入れることである。続いては、すべての横浜市民が意見を申し述べる機会を、節目ごとに設けることである。このように、現在当地に、横浜市内に、居住・労働・就学する全市民のウェルビーイングを追求すべきと考える。</p> <p>本「計画(案)」は、ややもすれば、未だ見ぬ観光客・来街者、横浜に移り住もうと考える市外在住者を想定した書きぶりになっているのが、気にかかる。もちろん当方もこうした方々を無視・排除することはないが、地に足のついた議論のためにも、その点は注意いただきたい。</p> <p>(2)同様に、当地の「再開発」の設計・施工・運営にあたる事業者は、市内資源を最大限活用すべきである。横浜市民のための事業であるならば、横浜市内の事業者が中心となって事業を進めるのは当然であろう。</p> <p>市当局は常々、「東京一極集中」を批判し、その是正を訴えているのであるから、本件においても言行一致を望みたい。ましてや、電通のごとき五輪汚職事件に（直接間接を問わず）関わった事業者が紛れ込むことのないよう、事業者選定に際しては「身体検査」を厳重に行ってもらいたい。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接收されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、検討を進めていきます。</p> <p>観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」の立地に向けて、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、幅広く検討を行ってきており、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
69	「賑わい・テーマパーク」は不要です。	上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。
70	上瀬谷通信施設跡地がテーマパークに開発されるなんて知りませんでした。横浜市民、瀬谷区、旭区市民殆ど知らない内に勝手にテーマパーク、箱物の無駄な税金の使われ方に怒りを覚えます。何処も地方のテーマパークは入場者数が減り赤字になり閉鎖しています。決して立地が良いとは言えないあの場所に作っても赤字になり閉鎖されるのは目に見えています。そしてしれっと外資、中国に途中で転売と言う事になりかねません。もっと市民の為に有効な使い方、市民が自然と触れ合える体験型農地やグランピングキャンプ場、フリースクール等箱物、税金を投入しないでも有効に使える方法の検討をお願いします。テーマパーク箱物ありき税金のムダ使いは絶対反対です！	約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、 「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえうえて「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。
71	上瀬谷通信施設跡地に必要のないもの ◎巨大テーマパーク（必要な土地利用をすれば、空いた土地などないはず！） 収益採算が長期的にも不透明なテーマパーク建設は必要ありません！ ・例えば、 <u>横浜ドリームランドは長続きせずに、結局は市民が必要となる住宅地となった</u>	その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。
72	上瀬谷通信施設跡地に必要のないもの ◎巨大テーマパーク（必要な土地利用をすれば、空いた土地など1ミリもないはず！） 収益採算が長期的にも不透明なテーマパーク建設は必要ありません！ ・例えば、横浜ドリームランドは長続きせずに、結局は市民が必要となる住宅地となった。	本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。 観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。
73	農地や墓地に適している。テーマパークなどの観光拠点には向いていない。	

NO.	ご意見	本市の考え方
74	<p>この計画で1000万人の有料来客が見込めますか？約半年の開催で単純計算一日55000人です。ディズニーランドの年間来客数で2021年トップは東京ディズニーランドで630万人。東京ディズニーシーの580万人、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの550万人と続きます。どう考えても空想の構想です。これを見る市の職員、計画者、小学生以下の計算もできないのですか？</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
75	<p>旧上瀬谷通信施設土地利用について、テーマパークを核とした複合的な集合施設を計画とありますが、今どきテーマパーク？と思います。こんな所まで誰が来るのでしょうか？何か流行りのテーマパークにすれば、最初は人が集まるかもしれないが、継続は絶対できない。日本全国でも採算が採れているのはディズニー2施設とUSJくらいではないでしょうか？自然公園にしても、施設を作れば、必ず維持費が掛かる。横浜市の何処にそんなお金があるのですか？有るのであれば失敗することに使わず、市民の税金を下げたら、少しでも市民がお金を使う様になると思います。今は、台湾有事もひしひしと感じられるなか、食料不足が懸念されてます。テーマパーク、公園を作るくらいなら、全部農地にして野菜でも作ったほうが10000倍有用です。日本の食料自給率は、38%と先進国最低で、本当はもっと低いとも言われています。米や野菜等を作って市内の学校給食で使用したり、少しでも自給率を上げるべきだと思います。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえうえて「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、「みどり」とともにある持続可能で多様なライフスタイルを実践・発信する公園としていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p> <p>なお、農業振興地区の規模は、横浜市の施策や現時点での地権者の意向を踏まえ、おおむね50haとしています。</p>
76	<p>横浜の人口は減少に転じている。今2020年の基本計画を推し進めるのは問題。原点に戻り見直すべきである。4分野の内観光・賑わいや物流大丈夫なのか。農業など地主対策で作られた地区.意味がない。農業とするなら全地区一本化し都市農業のモデル地区を作るべきだろう。原点が変化している。市長は平気か</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたくえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、東名高速道路や保土ケ谷バイパスなどの広域的な幹線道路との近接性をいかし、新たな技術を活用した効率的な国内物流を展開する基幹物流の形成が期待されることから、物流地区を配置することとしています。</p> <p>本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p> <p>なお、農業振興地区の規模は、横浜市の方針や現時点での地権者の意向を踏まえ、おおむね50haとしています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
77	<p>この「デザインノート案」はふわっとしすぎていて、具体方策が少ないですね。私は四つのゾーン分けに反対します。テーマパークは要りません。可能な限り自然環境を残した土地開発計画にしてください。海軍道路の桜並木は伐らないで下さい。歩道にしてください。大門川・相沢川の暗渠化にも反対します。川を埋めたら自然は残りません。海に流れ込む川が変わってしまったら、相模湾にも影響が出るのではと懸念しています。その影響も評価して下さい。水田を埋めてしまうことにも反対します。とにかく、このデザインノート案では、SDGsに叶わず、ただの自然環境破壊です。四つのゾーニングそのものを見直す方がよいと考えます。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、 「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえう えで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めて</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>いきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p>
78	<p>市民の意見を傾聴するつもりはない、アリバイ作りの意見募集に応募いたします。</p> <p>・テーマパーク・新交通が絵にかいた餅 本デザインノートの中核となるのは、年間来場者1500万人とするテーマパークかと思います。現在の道路整備計画（インターチェンジと部分的な周辺道路の拡幅）だけでは、1500万人が往来するのは不可能です。では、新たな交通が出来ればどうかというと、テーマパークへの盲腸線であることから、新交通の採算はそのテーマパークが集客できるような魅力があるかにかかっているという、卵が先か鶏が先かのどうどう巡りに陥ります。</p> <p>テーマパークは民間事業であるなら、一連托生で</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接收されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとまり、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>ある新交通も民間事業であるべきです。黒字になれば事業者の利益、赤字になりそうな部分は市民が負担という構造の開発は、その計画立案の甘さから絶対に失敗するのでやめるべきです。</p>	<p>会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたくえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、新たな交通については、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保しながら、整備コストの抑制を図っていく視点で、新たな技術の活用も含め、幅広い検討を進め、観光・賑わい地区における事業予定者決定により、来街者の需要を見通しながら、輸送システムを検討していきます。</p>
79	<p>★ 地に足のついたデザインこそ、郊外部復活の思想</p> <p>市は、当地を「郊外部の新たな活性化拠点の形成」（P3）、「豊かな環境を活かした郊外部の新たな活性化拠点を形成する」（P6）などと位置づけている。確かに「郊外部」は、「都心臨海部」に比べ、市による予算投下が大きく見劣りしている。市内個々の郊外(部)は人口減が進行しているところが増えているのは間違いない。しかし、郊外部総体としてみたとき、市民の大多数が郊外部に居住している。歴代市政下において重要視されて来なかった郊外部に、いまこうして目が向けられるようになったことは、否定することではない。</p> <p>そのきっかけとして、横浜に僅かに残る広大な面</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたくえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（202</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>積をほこる“未利用の”土地が、米軍の手からやっと「返還」された。この地=上瀬谷が「郊外部活性化の拠点」になるのは必然かもしれない。市民生活を豊かにする、公園やグリーンインフラ、水と緑の環境整備。市民の生業を支える、都市農業の振興。市民の命・暮らしの安心・安全を守る、防災機能の強化、災害対応力の強化―などこそ、市民が求めている郊外部復活の目指すべき目標であると考え。これらを市内各所に導入・強化するよう、積極的に推進してもらいたい。</p> <p>だが、「賑わい」だとか「テーマパーク」だとか、性懲りもなく、山下ふ頭再開発で完全否定されたカジノ=IR誘致の誤った思想がまだに生き続けている。さらに、本「計画(案)」の中に、「国際園芸博覧会のレガシー」なる語を散見するが、未だ開催されてもないイベント、それも、成功するかも不透明な中で、現段階で「レガシー」とは何ぞや。このようなものは、「郊外部の活性化」のモデルたり得ない。</p> <p>過去の“栄光”にしがみついたり、ありもしない事に舞い上がったたり、他人のフトコロをあてにすることなく、市民の要求に根ざした、まさに、地に足のついた政策を着実に実施してもらいたい。</p>	<p>0年3月策定)」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p> <p>また、公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）としていきます。</p> <p>公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、「みどり」とともにある持続可能で多様なライフスタイルを实践・発信する公園としていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
80	<p>観光・賑わい地区は不要です。日本全体の経済力が落ちている今、もうテーマパークを作って人を外から呼び込むという施策は時代に合いません。豊かな自然を残してください。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、 「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえ、 「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>なお、土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
81	<p>横浜市最後の大規模な農地をテーマパークにして、コンクリートで固めないでください。これまで公的な資金で数多くのテーマパークなどの箱物が作られてきて成功した例はありません。そんな事業に血税を使わないで下さい。横浜市最後の大規模な自然を壊さないでください。むしろ当初の計画であった農地計画に戻して下さい。食料自給率の問題が叫ばれるなか、大規模農地とし、周辺住民や農業従事者、半農を考える方などを受け入れたならば、環境問題が叫ばれるなか、横浜市に非常に良いイメージを持たれると思います。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたくて「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p> <p>なお、農業振興地区の規模は、横浜市の施策や現時点での地権者の意向を踏まえ、おおむね50haとしています。</p>
82	<p>この地域が防災拠点の必要性や物流拠点としても重要というのはわかるがテーマパークを誘致するのはやめてほしい。渋滞や騒音などが懸念されます。そもそも市民が求めていたものとは違う開発内容になっていると思います。人を呼び込むことばかり考えず、未来の子どもたちに豊かな自然環境を残していくことに重点をおいてください。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパ</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>ークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>なお、土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
83	<p>農業振興、公園・防災地区利用といった点につき、理解や利点を感じるものの、観光利用・物流地区利用といった点については、反対です。さも、アクセスが良いように謳われていますが、立地条件が良いとは思えません。そもその動線が出来ていないところに、テーマパークを建設さえすれば人が呼び込めるといった安易かつ博打のような発想に、税金を投入する事に対して、強く反対します。しかも、当該デザインノートにおいて、市民の利益享受ばかりを安易な推測で語っていますが、市民に及ぶ負担が、如何程のものとなるのか明記されていません。</p> <p>上瀬谷通信施設跡地を活用していこうという点につき、反対はないものの、まずは、自然への負担が少なく、投資額も大きくない農業振興、公園・防災地区利用を先行させるべきと考えます。その上で、現実には、人やお金の移動が起きてきた時に、改めて、市民に、テーマパーク建設の是非を問えばよいのではないのでしょうか。テーマパーク構想が失敗に終わった場合の市民負担は計り知れません。一度、破壊した自然は、元には戻せないし、一度、作った箱物（テーマパーク）には、継続的に維持費が掛かり、廃絶しようにも、巨額のお金が必要となります。かようリスクを伴う計画につき、市民負担が明記されず、しかも、慌てているかのような短期間での意見集約には疑念を持たざるを得ません。何か、後ろ暗い事でもあるのでしょうか。</p> <p>私は、当該基本計画に反対いたします。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、 「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたく えで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>また、東名高速道路や保土ケ谷バイパスなどの広域的な幹線道路との近接性をいかし、新たな技術を活用した効率的な国内物流を展開する基幹物流の形成が期待されることから、物流地区を配置することとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、今後も、事業の進</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>抄に応じて、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
84	<p>国が地方交付税を特定政策（マイナンバー）を誘導するべく自治体を誘導することは一般財源としての中立性を損なうと、自治体として毅然とした態度が肝要です。国と地方自治体は対等な立ち位置で、『中央政府に隷属する地方自治体ではない』まして国税を43兆円もの軍事予算で消費するのは許しがたい。一基2～3億円ものトマホークを500発も購入して戦争の出来る様態にはない原発だらけの我が国の現状をしっかりと自治体は抗議すべきです。『武器より暮らしです』戦前・戦中と同じ軍事への道を歩むことより市民の暮らしが大切であるとの気概のある公務員であって欲しい。</p> <p>①食料需給率が38%レベルであれば都市近郊の最大の基礎自治体として食料の自給率を高めるべく農業振興の為に活用して欲しい。</p> <p>②地産地消の地域電力網を構築して欲しい、横浜港と姉妹港のハンブルグは電力網公社により配電事業を開始しています、日中に於ける太陽光に関して蓄電システムを導入することを検討願いたい、身近な例として合同会社小田原かなごてファームを参照されたい。</p> <p>③大規模な地震対策に備えた避難住宅・正に戦争の際と同じ災害に備える野戦病院類似施設（平時は多目的に活用）の設置を検討願いたい。</p> <p>④テーマパークは不要しっかりと市民生活を支える活用が図られるべきです。最後に敢て付言します。旧市庁舎売却同様の様にゼネコンの公有地一括地上げ、長期低額貸付による公有地の利活用はゼネコンの利益になるだけです。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとまり、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>本地区は長年米軍に接収されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区にお</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>いて、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>農業振興の具体的な内容については地元の農業者や連携する企業・大学等と意見交換しながら検討を進めていきます。</p> <p>公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）としていきます。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、「旧上瀬谷通信施設地区のポテンシャルを活用したグリーンインフラ・脱炭素への取組」を今後もしっかりと検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
85	<p>税金垂れ流しの利権と天下り先確保の匂いがぶんぶんする。これだけの大規模事業を1/4-1/21の短い期間で意見を募るのは間違っている。過去に役所が推進した万博やテーマパークで採算が取れたものがあるのか？誰が責任を取るのか？USJの過去最高来場者数が1200万人/年間なのに、上瀬谷で1000万？全て白紙撤回して数年かけて市民、県民に広く告知するところからやり直すべき。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたくて「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p>
86	<p>まず、このような事業が進められることの見募集期間が短すぎる。ネットで意見書き込むにしても、めんど臭くなるようなレイアウトに不信感を抱きます。テーマパークは筋が悪い。再エネ事業はほどほどに。外国資本の介入は絶対だめ。一般人でも、行政の闇は暴くことができるようになった。この事業を無理やり押し進める、なんてことにはならないですよね？</p>	<p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様にご意見提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
87	<p>P13～18の各地区デザイン分けですが、そもそも、「防災」は北部の物流地区にも設けるべきでは？大きい道路があるのは北側ですな。道路が狭い瀬谷区に、この地区に、テーマパークは必要なし。花博？もやらなくて良い。広い広い土地の使い道を、今、決めてしまって良いのだろうか。しかも、私たちが参加せず望まない形に「デザイン」されているように思えて仕方ない。</p> <p>川を埋めず、水田を埋めず、持続可能な農業を大事にして欲しい。</p> <p>水源が多くある地域。相模湾への影響は十分に検討してあるか？していないように思われる。貴重な自然は、破壊してしまえばとりかえしがつかない。もう一度考えなおして計画を練り直すべきではないかと市に再考を強く求めるものである。私は病院が出来ると2006年ころは思っていて期待していた。自然は壊すな。守れ。山中竹春、市民を裏切るな。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間であ</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>る和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。</p> <p>また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）としていきます。</p> <p>また、医療・福祉施設等については現時点では難しいものと考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
88	<p>上瀬谷は、横浜市で残された唯一の場所です。再開発は止めてください。環境破壊は、気候変動・地球温暖化の道です。戦争と同様人間がやってはいけない事です。金儲けをして、環境破壊すれば、生き物の命を奪うことになります。ひととして、やってはいけない事を横浜市はやろうとしています。山中市長、目を覚ましてください。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>
89	<p>人工物も最小限にしてほしいと思います。人の手で人のためだけに造った物は、他の生き物にとっては迷惑なのです。そして、ヒトは作り物には飽きてしまうでしょう。次々に新しいものを作るのは大変です。自然はその面白さが分かれば飽きることはありません。人生100年時代、新しい働き方が生まれる場所になると素晴らしいと思います。</p>	
90	<p>一度壊した自然は二度と元には戻りません。瀬谷区の貴重な自然を子どもたちに残してあげたい。自然を大規模壊すことは、そこに住む動植物や虫を殺すこと。コンコルドの誤謬の状態になっているのではないのでしょうか。一度立ち止まり、考えなおしてください。</p>	
91	<p>私の意見は、上瀬谷の開発は不要、子どもたちの未来に上瀬谷の自然を残してほしい。国際園芸博覧会を口実に上瀬谷の開発をして土地の価格を上げて金儲けしたいひとや企業のために横浜市民の税金を使わないで。</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
92	<p>食糧危機が目前に迫っている中、農地の確保は必須です。農地計画に戻してください。時代の変化とともに、人々も物質的な豊かさよりも、地域の人々とのつながり、自然に触れあうといった、心の豊かさを求めています。計画の再考をお願いします。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>なお、農業振興地区の規模は、横浜市の施策や現時点での地権者の意向を踏まえ、おおむね50haとしています。</p>
93	<p>○貴重な自然破壊に反対する</p> <p>横浜市が二三年度当初予算に、跡地整備に150億円計上することが分った。これはテーマパークなどの基盤整備や花博の準備に当てるものである。</p> <p>東名に接続するインターチェンジや周辺の基幹道路に接続し、もし、年間1,500万人を呼び込むことになれば、とても現在の自然環境が保たれるとは思えない。しかも、跡地利用の中心に観光・賑わい地区を置いているのは明らかで、私たちから見れば、外部からの関係者が、毎日、お祭り騒ぎを繰り返し、利益を揚げるために狂奔するのではないかと思えない。</p> <p>こういう地元の感覚とはかけ離れた企画に公費をつぎ込むのは賛成できない。</p> <p>私が跡地周辺の住民と話した限りでは、かなりの方が、自然豊かな現状をそのまま残し、市民が誰でも手軽に憩えるように願うとの声が多かった。</p> <p>尚、長く市民・県民に親しまれてきた、桜並木</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>は残して貰いたい。 「海軍道路」に沿ったハツとするような並木が毎春共感を与えてきた。</p>	<p>本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p>
94	<p>緑のインフラや脱炭素等を謳いながら、実際は花博そしてテーマパークをしようとしているわけであり、長期的なまちづくりより短絡的な収益しか考えずに地域と緑を破壊しようとしているのであり、まちづくりではなくまちこわしであり、行政なのに市民よりも開発土建業者や観光業者を先行させ、それらに癒着した政治家の肝煎りで進めるのが、全くもっておかしいのではないか。</p> <p>行政なのに公務員なのに、市民がみな反対していたのに市民の声は小馬鹿にして無視し、開発業者やカジノ業者や政治家の言うことだけは聞き、前市長や、今も反省なく居残る副市長はじめ幹部市職員（みな公務員で公僕のはずだが）によって、強引に誘致しようとして失敗した、カジノIR誘致と全く変わらないことを、上瀬谷でもしようとしているのは、おかしいのではないか。</p> <p>反省という言葉が市職員にはあるのだろうか。</p> <p>しかも、カジノ反対の市民の票で勝った、新市長が、開発土建行政優先を改めようともせず、前記</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとまり、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパ</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>の副市長や幹部市職員と、自民公明のカジノ推進市議達と、花博とテーマパークを進め、上瀬谷の貴重な自然環境を破壊しようとしているのは、いよいよおかしいのではないか。</p> <p>行政なのに市民不在、公務員なのに市民より業者と政治家優先、おかしいのではないか。</p> <p>地域の歴史性を踏まえ、長期的で人類史的な未来（未来という大きな歴史性）を考えて「まちづくり」をすることが重要だろう。</p> <p>また忘れられ誤魔化されているが、上瀬谷は旧日本軍の基地であり毒ガス製造にも関与しており、その後米軍基地の通信施設があった、旧軍事地域であり、戦争と、今も続く米国占領一植民地一基地の在り方を考えざるを得ない場所である。</p> <p>戦争と平和を、占領と独立を、考えざるを得ない場所である。</p> <p>横浜ノースドックが米陸軍の小型揚陸艇部隊に恒常的に配備され、要するに横浜の内湾までも米軍基地化されようという状況で、また横須賀や厚木の米軍基地周辺に凄まじい毒性の有機フッ素化合物PFASが垂れ流されていたのが誤魔化されようとしている状況で、旧日本軍基地で、旧米軍基地である上瀬谷を、花博にテーマパーク建設とは、誠にのんきで反歴史的な開発ではないか？</p> <p>交通網も花博とテーマパークのためしか考えていないのはおかしくないか？ その後の地域性はどうか考えるのか？ しかも短期的な交通網も確保出来ず収益も上がらずまた市政に負担となり、中田前市長の横浜博のような多大な負債となり、中田が横浜博で永遠に後ろ指さされながら責任取らずに逃げ回るように、山中新市長も花博でずっと後ろ指をさされることになるだろうが、失敗の責任は誰が取るのか？ 市長や副市長や幹部職員が負うのか？ 市民が負う形となって良いのか？ 責任の所在を明らかにして欲しい。</p> <p>横浜市は地域性と歴史性を踏まえた長期的な対応を考えて欲しい。</p> <p>カジノIR誘致にまつわる問題を反省し、開発優先</p>	<p>一クを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んで</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>の行政はやめ、市民の民生を優先させる行政に改めて欲しい。</p> <p>花博とテーマパークはやめて欲しい。</p> <p>上瀬谷の貴重な水と植物と動物の自然環境を破壊するのはやめて欲しい。</p> <p>上瀬谷の海軍道路の桜並木を老朽化を理由付けに伐採するのはやめて欲しい。</p> <p>上瀬谷の旧日本軍施設を保存し、大久野島等と連携し、中国等世界各地の被災地と連携し、世界の毒ガス問題を考え、戦争と平和を考える施設ともして欲しい。</p> <p>上瀬谷の旧米軍通信施設を一部保存すると共に、今も残る米軍基地問題を考える施設にもして欲しい。</p> <p>豊かな自然と響き合い農業を営んできた地域性を尊重し、緑と共存して暮らす人類の在り方を問い直せるモデル地域としての新たな地域の発展を考えて欲しい。</p> <p>上瀬谷再開発に向けてどういう開発業者と議員と市職員がどのように圧力をかけ推進してきたか、明らかにして欲しい。</p>	<p>いきます。</p> <p>また、国際園芸博覧会については、旧上瀬谷通信施設が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p> <p>海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p>
95	<p>このデザインノートは、『「観光・賑わい地区」の事業者公募において、「地区全体で目指す姿」を提案者にメッセージとして示すこと』とありますが、各章は良いことばかり、ある意味、夢物語のような構想が記載されています。しかし、実際の事業者がどれだけ、この構想を事業の縛りとして受け止めるかどうか、甚だ疑問なところがあります。特に、自然環境の維持や、防災エリアを機能させるために必要な条件、また近隣への環境影響など、明確にしてそれを遵守させることが求め</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様の</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>られると思います。その条件や数値などを決めるためにも市民との公聴会を十分な回数実施して、条件設定をした後に初めて、有効なデザインノートに出来るのではないのでしょうか？このデザインノートは市民への免罪符として使用しようとする意図が溢れているように感じます。上述した内容のあるデザインノート作成に早速、着手してください。</p>	<p>ご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様に情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
96	<p>コンクリートで固めることは、防災の観点からリスクが大きいです。「杜人」という映画を是非行政の方にも観ていただきたいです。コンクリートで固めることによって、空気の通り道が塞がれてしまい、土砂崩れなど水害が発生してしまいます。空気の通り道を残した設計が必要です。また、多額の税金を使うのですから、もっと広く丁寧に情報を公開し、時間をかけて市民から意見を求めるべきと考えます。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
97	<p>P 8～11 和泉川の源流は3本あり2本は上瀬谷跡地内です。草地をコンクリートで覆ってしまうと、和泉川の水量はかなり減ってしまいます。農業用水の源流は上瀬谷跡地内にあり、自然を残すことは絶対条件です。</p>	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>
98	<p>川の暗渠は動植物を殺す行為。黒土を掘り出して死んだ赤土で更地にするのは止めて欲しい。田んぼも今あるものは残して虫や鳥たちの楽園を破壊しないで欲しい。瀬谷市民の安らげる場にするべき。横浜市、一部企業、政治家らの金儲けの場所ではない。</p>	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>を進めていきます。</p> <p>また、生態系を保全するため、公園・防災地区において保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>なお、検討にあたっては、専門家等の助言も踏まえ、生態系への影響を可能な限り低減していきます。</p>
99	<p>開発全体に係わることについて</p> <p>旧上瀬谷米軍跡地は、基地であることによって自然が残された貴重な地域であることは多くの人々が認めるところです。開発に当たってはできる限り広い範囲で元来の自然を保全すべきです。開発対象地域には湧水からの二筋の水路があり、和泉川の源流となっているだけでなく他の相沢川、大門川、帷子川の源流域にもなっています。相沢川のようにすでに手を加えられたところでは、元来の自然に近づけるような補修をすべきです。同時に耕作地もできる限り広く残し、大消費地に接する有利さを生かして都市型農業を推進すべきです。これらのことは今日の地球温暖化による異常気象への対策、ロシアによるウクライナ侵攻危機に見られるような有事の時の食糧確保、低いままになっている食糧自給率向上、地下水による飲料水の安定した供給などにも繋がります。上瀬谷地域は瀬谷区の中でも海拔が高く地下水の供給地域になっています。</p> <p>それは「災害用井戸分布」にも表れています。安</p>	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。</p> <p>また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>定した地下水を確保するためには地表面の雨水の透過性をよくすることが重要です。道路・駐車場は透水性の高い処理、各建物には雨水枡の設置が必要です。箱庭のように人工的につくられる「自然」ではなく、地球誕生・日本列島形成・神奈川県形成を経てつくられたこの土地本来の自然を保全し、一旦変えられてしまったところは本来の自然に近づけることが求められます。「生物多様性条約COP15」では海陸とも30%の保全が打ち出されています。上瀬谷跡地の242haは瀬谷区の14%にすぎませんが、この地域の中でもより広い範囲での自然保全が求められています。横浜市は先進的に自然環境を守る姿勢を世界に発信すべきであると考えます。</p>	<p>本地区は長年米軍に接收されていたため、建築制限等により都市農業に必要な農業生産基盤が整備されていません。そのため、農業振興地区において、畑地かんがい施設等の整備を進め、スマート農業技術の導入等により地域の農業生産力を高めていきます。</p> <p>さらに、都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p> <p>なお、農業振興地区の規模は、横浜市の施策や現時点での地権者の意向を踏まえ、おおむね50haとしています。</p>
100	<p>花博の予算その他の情報が無い、田んぼは埋めて駐車場、海軍道路の桜並木は全伐採、川も埋立、その後のデザインをしても、壊れた自然は戻せません。（横浜博覧会の経費、収支との比較検討等行ったのでしょうか？）大阪花博はバブル時代、現在、跡地はポーゴー、路線は赤字路線 花博予定地、上瀬谷跡地の整備費に150億円計上のニュースを見ました。年間300億円以上の借金返済を減らす方が先では</p>	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。</p> <p>また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>を進めていきます。</p> <p>また、海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p>
101	<p>50年後、100年後を考えてのデザインが必要だと思えます。沢山の田んぼがある里山の風景は都会にはもうあまり残っていないと思えます。ここをつぶしてしまうのは非常にもったいないです。いくつものSDGsの問題に取り組めそうだからです。このような場所であるからこそ、これからの未来で必要となる何かヒントが見つかるかもしれません。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、旧上瀬谷通信施設</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>地区のデザインについて今後もしっかりと検討していきます。</p>
102	<p>「防災・賑わいゾーン」「テーマパークゾーン」について</p> <p>○相沢川 3面コンクリートを外し、和泉川等市内でもすでに実施されている「多自然工法」により改修し元来ある自然に近づけ、整備後は自然と人との接点として自然を感じながら憩える場として活用する。</p> <p>○大谷戸最上流の田んぼ（瀬谷区最後の水田）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の植物群とともに保全する。 ・「市民の森制度」と同様に「市民の田んぼ制度」をつくり稲作を継続する。大都会横浜の中にある稲作文化の継承の場とする。 ・維持のための費用は「横浜みどり税」を充てる ・農作業は地元農家の協力・指導の下、希望する市民やボランティアで行い、農家と市民の交流の場とする。 ・収穫物は賑わいゾーンに造られるであろう食の施設と連携し、田んぼで収穫された米と上瀬谷の野菜などの農作物を販売したり、「米作りのパネル」を展示したりする。 ・定期的に水田周りの生物調査を行い発信する。 ・田んぼ周りの水路で、ヘイケボタル（数十年前この谷戸に生息していた。自然環境の良さを示す生物）の再生を図る。 	<p>相沢川は、現状、コンクリート3面張りの水路となっており、車両が通行する部分は既に暗渠化されていますが、今後、公園区域を中心に、原風景を感じられる水辺空間となるよう、再生の検討を進めていきます。こうした水辺空間の保全や再生と合わせて、新たな公園整備において、緩やかな起伏を有した現在の地形や貴重な水辺空間である和泉川、既存樹木などを活かした計画とするなど、自然と調和した土地利用を進めていきます。また、大門川についても、現状、コンクリート3面張りの水路で、農業振興地区を分断するように流れており、さらには農業用水として使われていないことから、将来の農業振興における土地利用においては、流水機能の確保に向けた改修を検討しています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、生態系を保全するため、公園・防災地区において保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>なお、検討にあたっては、専門家等の助言も踏</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>まえ、生態系への影響を可能な限り低減していきます。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討を進めており、各地区が連携することにより、計画地全体の価値が向上するとともに、周辺地域へも波及していくことで、環境と共生した郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していきます。</p>
103	<p>不足している介護施設、保育所、救急病院、墓地も作ってほしい。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討が進められてきているため、医療・福祉施設等については現時点では難しいものと考えています。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
104	<p>P13～17 集客施設をつくり、人を集めることを最重要に考えるのではなく、住民にとって、役に立つ施設ー福祉、医療施設や「道の駅」などーを具体化する必要があります。それが地域環境を創出し、ヒト、モノ、コトが行きかい地域経済も活性化させることができます。自治体は、住民の役に立つことをすすめるのが役割です。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討が進められてきているため、医療・福祉施設については現時点では難しいものと考えています。なお、土地利用基本計画では、農業振興地区において、直売等による「収益性の高い農業」の展開を位置付けています。農産物を直接提供できるような機能について引き続き、検討していきます。</p>
105	<p>全てのページにあたって、意見を言わせて頂くと道の駅に転換できないもののでしょうか？正直、ほとんど言っていることが道の駅が設置される理念とほとんど変わりがないです。ましてや神奈川県には道の駅が少ない、農業と防災に強いという概念からも道の駅という形で地区を形成していけば観光にももってこいと考えます。他の道の駅をご覧ください。同じようなつくりです。人がくればこの土地も無駄に終わらない。またみどり税もそろそろ役目を果たしたのではないのでしょうか？是非やわらかい頭で考えてみてください</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしてこれまで検討が進められてきています。なお、土地利用基本計画では、農業振興地区において、直売等による「収益性の高い農業」の展開を位置付けています。農産物を直接提供できるような機能について引き続き、検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
106	<p>一度壊された里山を復活させることはできない。この上瀬谷跡地には カワニナ、ヨコエビ、淡水シジミなどの水生生物の他に、オオタカ、雉、チョウゲンボウなどの野鳥、イタチ、タヌキ、昆虫など、多様な生物が生息している。例えばオオタカは隣接する瀬谷市民の森に営巣しているが、草原がないと捕食できず、死ぬか他へ移動していただくろう。里山と森は一体化して初めて生物の生息空間として機能するのであるから、テーマパークができてしまったら跡地に生息していた生物はほとんどいなくなってしまうし、瀬谷市民の森の生き物も減っていく。何としても生物多様性を守り、今ある自然を次の世代に残したいと切実に願う。計画の見直しを含めて地権者だけでなく市民の意見を取り上げていただきたいと思います。</p>	<p>生態系を保全するため、公園・防災地区において保全対象種の生息環境を創出するとともに、個体の移動や、周辺の緑との連続性に配慮した緑地を創出することにより、動物、植物、生態系への影響を可能な限り低減することとしています。また、工事中及び工事完了後に事後調査を行い、保全対象種の生息状況を確認します。調査の結果、必要な場合には追加の環境保全措置も検討していきます。</p> <p>なお、検討にあたっては、専門家等の助言も踏まえ、生態系への影響を可能な限り低減していきます。</p>
107	<p>昨年2月24日、プーチンロシアはウクライナに攻め込んだ。以後ロシアが仕掛けたこの戦争によって、ウクライナでは多数の人命、財産が日々失われている。慚愧に堪えない。その戦争によって日本では、長年懸念されていた食料自給率の低さが、改めて浮き彫りにされてきている。今の日本の農業は、農家の高齢化と後継者不足で、耕作放棄地が目に見えて広がってきている。しかし考えようによっては、全国あちこちの耕作放棄地は、自給率向上の貴重な財産となり得る。そこに上瀬谷地区の広大な土地の返還。この地を政治決断で食料自給率向上の根拠地の一つにすることも可能なのではないか。デザイン構想にある農業地域構想では、いかにも狭すぎる。つまり構想が八方美人過ぎて、確かなビジョンがない。ここ上瀬谷地区を「将来的に横浜市の農業的、文化的、精神的憩いの場」ととらえていきたい。花博やテーマパーク構想はあまりに一時的であり、それはコロナ以前、そしてロシアのウクライナ侵攻以前の発</p>	<p>上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきたものです。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等も実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置し、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向けた検討が進められてきています。</p> <p>面積については、土地利用基本計画においては、観光・賑わい地区の面積は約125ha、公園・防災地区は約50haとしていましたが、自然環境の一層の保全・創出とレクリエーション等のニーズに対応した施設の充実を推進し、国際園芸博覧会のレガシーを継承するため、公園区域を約65haにし、観光・賑わい地区の面積は約70haへ変更しま</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>想に基づいたもので、もはや通じない。この提言は、上瀬谷地区の特性に見合ったプロジェクトになると考える。食料自給率向上に貢献しながらほっとする空間。それが上瀬谷地区。そう考える。</p>	<p>した。</p> <p>なお、農業振興地区の規模は、横浜市の施策や現時点での地権者の意向を踏まえ、おおむね50haとしています。</p> <p>農業振興の具体的な内容については地元の農業者や連携する企業・大学等と意見交換しながら検討を進めていきます。</p>
108	<p>前回の市長選挙の立候補者が掲げた、総合型のレスキュー施設（医療・救急・消防・福祉）というのは、近隣県内市町村、東京都とも連携でき、また、市民にとっても心強い施設となると思いますので、山中市長としては心情的に対立候補のマニフェストを実行するのはいやだと思いますが、是非ご検討頂ければと思います。</p>	<p>公園・防災地区については、広域的な交通利便性と広大な土地をいかし災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）としていきます。</p>
109	<p>瀬谷区は野球が、とても盛んな区です。今、野球人口がとても減ってきております。グラウンドがなくなれば人口は減る。大人はその他の対応はできますが、今後のスター達はどのようにでしょうか。この瀬谷区＝野球。これを継承したいです。宜しくお願いします。</p>	<p>公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、市民や企業、周辺まちづくりなどと連携し、地域の祭りや広域的なイベント、スポーツやレクリエーション、公園の維持管理など、様々な場面で多様な主体が参加・運営することができる公園としていきます。</p>
110	<p>今の横浜市各地にあるクソなデザインで最低の公共スケートボードパークではない、本物のスケートボーダーが設計する本物のスケートボードパークを作って欲しい。</p>	<p>公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、「みどり」とともにある持続可能で多様なライフスタイルを实践・発信する公園としていきます。</p> <p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
111	<p>農業地区を充実させて学校給食（中学ならハマ弁）をオーガニックにしてください。</p>	<p>農業振興の具体的な内容については地元の農業者や連携する企業・大学等と意見交換しながら検討を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
112	日本の食糧問題も深刻だと思います。ここを農業を学ぶ場としたいです。農業がいかに大変かを知るには、やはり体験が一番です。食料や資源を今後は大切に無駄なく使わなくてはならないのに、未だ食品ロスが多いのはなぜなのでしょう。	<p>都市と農のバランスの取れた郊外部の拠点となるまちづくりを実現させるため、これまでの歴史ある農業も継承しつつ、新たに大学や企業とも連携を図ることにより、新たな都市農業のモデルを確立させ、横浜市内外への情報や技術の発信拠点を形成します。</p> <p>また、集客型農業の展開等を通じて市民や来街者が農や食と触れ合う機会を作り出すことで、横浜市の特徴ある農の魅力を広くPRしていきます。</p>
113	周回出来る、サイクリングロードを整備して欲しい。ロードレース大会が開催されるようになれば良い。広島中央森林公園や播磨中央公園で行われています	<p>旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画において、地区内道路の整備にあたっては、土地利用・基盤整備の考え方の中で歩行者や自転車等の通行に配慮した優しい空間を形成することとしており、地区内の環状4号線や地区内幹線街路においては広幅員の歩道や自転車専用通行帯を確保し安全確保を図るとともに、快適性の視点も取り入れながら検討を進めています。</p> <p>公園・防災地区に整備する広域公園については、令和4年6月に公表した（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画(案)を基に、「みどり」で広がる暮らしの風景を基本テーマに、花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、「みどり」とともにある持続可能で多様なライフスタイルを実践・発信する公園としていきます。</p> <p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
114	自転車の利用 特に観光地区の休日は混雑が推測されます。自転車の利用を大規模に行ってほしい。歩道や自転車専用道路などです。瀬谷駅はじめ各駅にレンタルサイクルを設置する。電動アシスト車とし、電気は太陽光発電で充電する 2022年現在、市内各地で実装されているタイプでも良いし、他の物、電動キックボードのレンタルでも、2人乗りとか子供用のレンタルサイクルでもかまわない。	<p>旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画において、地区内道路の整備にあたっては、土地利用・基盤整備の考え方の中で歩行者や自転車等の通行に配慮した優しい空間を形成することとしており、地区内の環状4号線や地区内幹線街路においては広幅員の歩道や自転車専用通行帯を確保し安全確保を図るとともに、快適性の視点も取り入れながら検討を進めています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、居心地がよく歩きたくなる環境と様々な交通ネットワークについて今後もしっかりと検討していきます。</p>
115	テーマパークや物流施設ができることは、地域にとって喜ばしいことだが、交通対策をしっかりと進めてほしい。	<p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
116	渋滞は心配。新たなインターチェンジや新たな交通はしっかり整備してほしい。	交通量を算定し、道路計画を策定しました。 具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。
117	交通渋滞解消のため、新たなインターチェンジを整備してください。	引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。
118	渋滞しないような道路整備をお願いします。	
119	<p>渋滞の緩和策がデザインされていない 上瀬谷デザインの一番の無謀は、慢性道路渋滞地区であることが、全く考慮されていないことです。現時点で、週末には道路マップが渋滞で真っ赤に染まる横浜市の中でも、高速やバイパスが近いために身動きがとれなくなる北西部地域に属する上瀬谷です。八王子街道の一部と海軍道路だけ拡幅しても、意味がなく渋滞する箇所が少し移動するだけです。ここは港湾部埋め立て地ではなく、内陸の住宅街が隣接する場所です。道路デザインを刷新することは不可能で、渋滞緩和策など打てません。策がないなら、せめて影響を調査し、その結果を市民に告知すべきです。上瀬谷を貫く環状四号線・隣接する八王子街道でさえ広域の影響調査をせず、瀬谷柏尾線・国道246・中原街道・厚木街道などの影響調査もせず、市内はおろか大和市・町田市への影響も考慮していません。まずは、どれくらいの渋滞が発生するのか、狭い範囲の調査ではなく、広域に影響調査をし、市民や他市への責任を果たすべきです。</p>	
120	計画自体には賛成で、是非成功してほしいですが、交通についてちょっと心配です。特に鉄道の方は瀬谷駅からだと弱いと思います。二俣川駅や大和駅、長津田駅など、もっと大きな駅から乗り換えなしで行けないと厳しいと思います。	

NO.	ご意見	本市の考え方
121	<p>P4の関連計画について</p> <p>上川井インター付近の渋滞が保土ヶ谷バイパス全体に波及することが考えられますので、十分な検討の上で拡幅整備等をお願いします。</p>	<p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、</p>
122	<p>地元の人達からは開催中の来場者・交通の混雑による生活被害の恐れの声が多く出ています。慎重にも慎重に円滑な交通ネットワーク体制の構築を強く望みます。</p>	<p>新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p>
123	<p>P4の関連計画について</p> <p>・新たなインターチェンジと新たな交通とあるが、観光・賑わい地区訪問者の交通手段として</p> <p>①自家用車</p> <p>②新たな交通（公共）</p> <p>のどちらを主と考えているのか、分らない。</p> <p>①を主とすると広大な駐車場が必要となりもったいないので、②を主として整備して欲しい。ただ、中途半端な物では無く瀬谷～上瀬谷～他の私鉄駅までつなげて欲しい。</p>	<p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、</p> <p>新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んで</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>いきます。</p> <p>新たな交通については、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保しながら、整備コストの抑制を図っていく視点で、新たな技術の活用も含め、幅広い検討を進め、観光・賑わい地区における事業予定者決定により、来街者の需要を見通しながら、輸送システムを検討していきます。</p>
124	<p>〈交通関係〉</p> <p>交通関係は地区内外にわたり、またノートの各所にわたり、かつまた、上位・関連計画にも関わるので、ページを特定するとコメントの趣旨がわかりにくくなるためここにまとめて記述します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前提として、交通対応の判断に係る開発規模、もしくはこの地区に集中する交通需要について、博覧会入場者数はあげられているものの、ノートが見通す博覧会以後は示されていない。他計画でも示されていないので、開発者が手掛かりとする交通需要またはそのベースとなる諸元について方向性を示すべき。 ・人や企業が集まる経済活動の拠点であり、一方、居住機能はないが物流企業や農業活動で外部からの流入が中心である。地区および周辺の道路交通対策は含まれているが、この流入に対応する広域の対応が不透明。特に物流交通への対応。 ・八王子街道拡幅、東名へのアクセス新設はあげられていて歓迎するべきものだが、東名、保土ヶ谷BPとも混雑が激しいところなので、本開発により発生する交通負荷や物流交通への影響などにそれぞれ対応可能かどうか。検証が必要。 ・地区南側方面、相鉄以南の環状4号の対応は現状維持とされているが、充分か（R1 原宿渋滞への対応も含む）。 ・八王子街道拡幅、都市計画道路瀬谷地内線、横浜環状3号の概ねの整備時期、プログラムを明示 	<p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>整備時期については、八王子街道拡幅及び都市計画道路瀬谷地内線は令和10年度を目指しております。なお、環状3号線の事業着手時期については、現在のところ未定です。</p> <p>新たな交通については、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保しながら、整備コストの抑制を図っていく視点で、新たな技術の活用も含め、幅広い検討を進め、観光・賑わい地区における事業予定者決定により、来街者の需要を見通しながら、輸送システムを検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
	<p>すべき。</p> <p>1500万人/年の博覧会来場者に対応するのが「新しい交通（瀬谷～跡地）」のみであるが、博覧会以後の移動を考える場合、周辺に位置する鉄道利用者も多いことから地区北側、地区東側、及び瀬谷以南からの公共交通（バス交通の考え方を含む）によるアクセス対応は、最低限、方向性を示すべき。基本的に脱炭素の観点から自動車によるアクセスを減らすという方針を明示し、公共交通利用者をメインとする計画とすべきであり、こどもの国線のような盲腸線に対応できるのか、盲腸線に集中する相鉄本線の能力に対応できるのか検討すべき。（子供の国の来場者はコロナ前でも85万人/年）</p> <p>・「新しい交通」は、手続き的にはアセス段階となっているが、現状で整備が見通せないと聞いている。これについて、整備時期の見通しについて方向性を出すべき。現状で計画段階とされていない、地区北側への延伸についての見解を示すべき。また、提案者からも「新しい交通」に対する見解、その他来場者のアクセスに対する見解を求めるべき。</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
125	<p>・デザインノート（P.4）にて、国道16号線（八王子街道）の拡幅整備に関する記載がございますが、こちらで渋滞がよく発生しておりますので、渋滞を解消すべく道路の拡幅整備をお願い致します。</p> <p>・旧上瀬谷通信施設周辺における新たな交通の事業スキームの概略検討を業務委託にて実施されているようですが、博覧会後の当エリアのあり方と合わせて検討されていると思います。例えば、拡幅した道路とともに、新交通、桜並木をセットで計画検討するなど、当地区の全体計画と合わせて検討頂きますようお願い致します。</p>	<p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>新たな交通については、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保しながら、整備コストの抑制を図っていく視点で、新たな技術の活用も含め、幅広い検討を進め、観光・賑わい地区における事業予定者決定により、来街者の需要を見通しながら、輸送システムを検討していきます。</p> <p>また、海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
126	<p>交通機関については、LRTが実現可能なら、コスト、景観の面で良いように思う。もし道幅が足りないのであれば（シーサイドラインよりあるいは、みなとみらいにできたケーブルカーは建設費が80億円だというので、市が400億円だせるのなら予算的にはなんの問題もないように思う。輸送力はそれほど高くないかもしれないが、シャトルバスと併用することで渋滞もある程度抑えられるのでは。</p>	<p>新たな交通については、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保しながら、整備コストの抑制を図っていく視点で、新たな技術の活用も含め、幅広い検討を進め、観光・賑わい地区における事業予定者決定により、来街者の需要を見通しながら、輸送システムを検討していきます。</p>
127	<p>「SRT」（Smart Roadway Transit）という新交通システムについて、名古屋市で実証実験が行われているようですが、これなどは瀬谷区にも導入しやすいのではないのでしょうか。上瀬谷を中心に、周辺の各駅やズーラシアを繋ぐような交通システムができれば、住民にとっても便利だと思います。</p>	
128	<p>P4. 関連計画について 新たな交通は、バスではなく鉄道が必要だと思う。瀬谷～上瀬谷～東急線など、行き止まりではない形がよい。</p>	
129	<p>鉄道交通について、もっと大胆にご検討頂きたいと思います。例えば、横浜環状鉄道構想の中山駅、二俣川駅の線路をうまく活用出来たら一石二鳥だと思います。具体的には、旧上瀬谷通信施設付近の野境道路沿いに駅を設置します。そしてそこからデザインノートにも記載されている、遊歩道や自転車なども活用して、旧上瀬谷通信施設への移動ルートを確認します。あと、例えば桜木町のようなロープウェイも活用できると思います。横浜環状鉄道構想は採算性の関係で中々進められていないようですが、両計画を統合的に構想するといった感じになると思います。よろしくお願いいたします。</p>	

NO.	ご意見	本市の考え方
130	<p>余りにも「花博」の認知度が低い。それを高めるために駅名の変更をする。</p> <p>「瀬谷」⇒『フラワーシティー瀬谷』</p> <p>「三ツ境」⇒『グリーンタウン三ツ境』</p> <p>にして花博の知名度を上げたい。</p> <p>瀬谷の住民もさることながら、相鉄沿線の住民にもまだまだ浸透していない。まして横浜市全体は全く関心さえない。</p> <p>そのような状況を打破するために、相鉄の協力を得て、この3月の新横浜延伸のタイミングで駅名の変更を提案します。</p> <p>車内での行先表示版、および車内放送を通じて地元もともかく、延伸先の東京・埼玉まで浸透させる。また延伸のタイミングに変更すると、放送媒体、紙媒体。そしてネット媒体までパブリシティー効果があがり全国にまで知り渡る。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、国際園芸博覧会の成功に向けて、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会と連携して取り組んでいきます。</p>
131	<p>may j.さんのテーマソングは花博のイメージにぴったりだと思いました</p>	
132	<p>花博に1000万人も人は来ません。3500円払う1000万人が来なければ、横浜市民の財政負担になります。花博は、取りやめてください。</p>	<p>国際園芸博覧会については、旧上瀬谷通信施設が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p>
133	<p>そもそも花博を開催するにあたって現在の地形や今ある自然を活かすことが最重要であると思います。今ある田んぼや水源流を生かしつつ花博を開催することは可能なはずで、子供たちに残せる大切な遺産です。</p> <p>一度こわした自然は2度と元には戻りません</p> <p>花博というテーマをもっと深く考えて頂きたい。何でも更地にしてしまえば花博後活用しやすいと考えているのでしょうか？</p> <p>無謀な計画のツケを市民に回さぬように責任の所在もハッキリさせて頂きたい。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、国際園芸博覧会については、旧上瀬谷通信施設が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p>
134	<p>「1500万人の有料来場者は見込める」と平原副市長や局長等が何度も言っているが全く根拠がない。上瀬谷道路素案説明会でも市民から「花博反対」の声が多くあったように、市民は花博を望んでいない。今からでも中止するべきだ。オランダのアルメーレで行われた花博では市会議員の「全員」が責任を取るため辞職した。横浜は誰が責任を取るのだ。また、失敗しても上瀬谷の自然は返ってこない。</p>	<p>上瀬谷のまちづくりにあたっては、当地区が戦後約70年間にわたり、インフラの整備がほとんど行われず、厳しい土地利用の制限を受けてきた経緯や、地権者の早期の生活再建が求められていることなどを踏まえ行っていく必要があると考えています。</p> <p>地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」と本市でとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」は、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえ策定し、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとして検討が進められています。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、国際園芸博覧会については、旧上瀬谷通</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>信施設が、緑と融合した都市のモデルを国内外に発信するのにふさわしいエリアであるとともに、この地で開催することで、基地跡地の平和的利用の象徴となり、世界へ友好平和の力強いメッセージを発信できるという理由から、開催する意義があると考えています。</p> <p>なお、国際園芸博覧会の想定来場者数については、博覧会の規模、開催期間等を前提として、国内の地域ごとの居住人口等を踏まえて算定したものです。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
135	<p>花博大賛成 是非成功したい 花博終了後を見据えて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東名高速のインターチェンジを作る 2. 桜並木の公園を作る 3. 瀬谷駅からつきみ野駅に三セクの電車を繋ぐ、将来、孫達が喜ぶものを是非作りましょう 	<p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>また、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりにより新たに整備する（仮称）旧上瀬谷通信施設公園</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>では、市民意見募集等を踏まえて策定した「（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画（案）」に基づき、四季を通じて楽しみながら自然と触れ合う心地よさや喜びを感じられる公園となるよう桜並木やサクラ広場のほか、テーマが異なる複数のガーデンや庭園などを整備する予定です。</p> <p>新たな交通については、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保しながら、整備コストの抑制を図っていく視点で、新たな技術の活用も含め、幅広い検討を進め、観光・賑わい地区における事業予定者決定により、来街者の需要を見通しながら、輸送システムを検討していきます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、国際園芸博覧会の成功に向けて、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会と連携して取り組んでいきます。</p>
136	<p>デザインノート（P4）にて、土地区画整理事業区域内の環状4号線の拡幅整備について記載がございますが、区域外（中瀬谷消防出張所～瀬谷中学校前交差点）に関する直接的な記載がございません。また博覧会の「基本計画」によると、博覧会期間中は公共の輸送手段として、鉄道4駅からのシャトルバスでの運行との記載がありますが、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画（案）の市民意見募集の結果」では、『土地区画整理事業区域外（中瀬谷消防出張所～瀬谷中学校前交差点）は現道の幅で、交通を処理できるものと予測しており、現時点では拡幅の予定はありません』との回答が明記されております。土地区画整理事業区域外の道路拡幅について、博覧会期間中のシャトルバスの運行及び、博覧会後の周辺交通渋滞を見据えた検討を頂くようお願い致します。</p>	<p>交通渋滞対策については、「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」に基づく将来土地利用に伴う開発交通が定常となる2046年において、周辺道路の拡幅整備や、地区内道路等が整備された前提のもと、周辺道路を含めて将来交通量を算定し、道路計画を策定しました。</p> <p>具体的には、この将来交通量に対応するため、土地区画整理事業の中で環状4号線の拡幅整備や幅員26mの幹線街路（区画1号線～3号線）、幅員12～18mの道路等を整備します。また、周辺では三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線（八王子街道）の拡幅整備を進めるとともに、新たな交通や新たなインターチェンジの検討も進めています。これらを一体的に整備することにより、交通の分散・混雑の緩和を図り、交通渋滞等による周辺地域への影響を低減させていきます。</p> <p>引き続き、周辺地域への影響を低減させるよう、交通解析をしっかりと行いながら取り組んでいきます。</p> <p>また、国際園芸博覧会の来場者輸送については、円滑な輸送の実現に向け、瀬谷駅、十日市場</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>駅、三ツ境駅、南町田グランベリーパーク駅の4つの駅、東名高速道路、保土ヶ谷バイパスとも近接しているという立地特性や、今回計画している道路を活かした輸送アクセスについて、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会が警察や交通事業者、横浜市などの関係者による協議会を開催し、検討を進めています。今後、計画がまとまった段階でお示しする予定と聞いています。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
137	2ページの右下に脱字、「旧上瀬谷通信〜」谷が抜けてます。	いただいたご意見を踏まえ、誤字を修正しました。
138	海軍道路の物流地区のあたりでカーブにした部分は、平成の時代に整備されたと思うが、歩道が狭く、桜が植えられないと思う。民地にも桜を植え、桜並木の連続性を確保してほしい。	<p>海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、公民連携による境界のデザインについて今後もしっかりと検討していきます。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
139	<p>海軍道路の桜並木が伐られてしまうと聞いていましたが、このチラシを見ると、どこにも伐ってしまうとは書いていないのでホッとしております。あれは、戦争がおわって、あそこが戻ってきた時に植えられた、平和の象徴です。伐らずに残して下さい。</p> <p>現在、のちの「観光・賑わい地区」となる場所には田が残っています。壊さずに生かして欲しいです。SDGsのためにも今ある自然は残して下さい。テーマパークは望んでいません。（誰が望んでいるのですか？聞いたことがありません）。P.8～11の「グリーンインフラ」という考え方にもとづいたら、テーマパークは止めてこの広大な自然を残して生かして下さい。</p>	<p>海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p> <p>また、上瀬谷のまちづくりについては、約70年間米軍施設として接収されてきた地元地権者の皆様の長年の思いがある中で、地元まちづくり協議会の皆様と検討を進めてきています。</p> <p>約250人の地権者が所有する広大な土地は地権者の意向なしでは事業を進められませんが、地権者で構成される地元まちづくり協議会が土地利用の検討を重ねる中で、「テーマパークを誘致しよう」という意見でまとめ、「人口減少、超高齢化社会の到来などを踏まえて、広大な土地を活かし、郊外部の新たな活性化拠点として、国内外から交流人口の増加が見込める土地利用を目指す」本市の考えと一致したため、市民意見募集や説明会等を実施し、市民の皆様のご意見も踏まえたうえで「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（2020年3月策定）」としてとりまとめました。この基本計画では、観光・賑わい地区、物流地区、農業振興地区、公園・防災地区を配置することとしており、観光・賑わい地区については、「テーマパークを核とした複合的な集客施設の立地」を位置付けています。</p> <p>その後、まちづくり協議会が、検討パートナーである民間企業とともに、テーマパークを核とした複合的な集客施設について幅広く検討を行い、</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
		<p>令和4年5月には、十分な事業実現性があることを確認したとの報告がありました。</p> <p>本市としても、事業実現性についてサウンディング調査を令和4年8月に実施した結果、複数の企業から様々な提案をいただき、高い関心が示されました。</p> <p>観光・賑わい地区において、本市が民間事業者から事業提案を募集していくことで、魅力的な内容のテーマパークが実現していくことを目指していきます。</p> <p>土地利用にあたっては、豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形や、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地特性を生かしながら土地利用の具体化に向けて検討を進めていきます。</p>
140	<p>市会議員が、「花博の開催初日は学校を休みにしよう」などと発言をしていた。平原副市長は「2023年の春までは海軍道路の桜並木は切らない」と言っていたが、2023年1月現在、桜並木が剪定されてしまっている。これでは春に桜の木が見られないではないか！</p>	<p>海軍道路（環状4号線）の桜は、毎年の樹木医診断の結果を踏まえ、直近10年で平均して毎年20本程度を撤去せざるを得ないなど、年々老木化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このため、2027年国際園芸博覧会や、旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考え方から、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。</p> <p>令和4年10月に策定した「旧上瀬谷通信施設地区新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」に基づき、新たな桜の名所となるよう、引き続き情報提供を行いながら、着実に事業を進めていきます。</p> <p>なお、令和4年度の調査で不健全と診断された桜22本について、撤去作業を進めているところです。</p>

NO.	ご意見	本市の考え方
141	「ポテンシャル」の用語が多用されていますが、カッコにて和訳を入れて欲しい。他にグリーンインフラ、エリアブランディング、デザインノート etc	いただいたご意見を踏まえ、市民の皆様に分かりやすく情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。
142	ボールペン1本で注文したり、再配達をお願いしていたことを反省してます。物流の状況がなんとなくわかりました。	今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様へ情報提供を行いながら、旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。
143	内容は難しいがこのような取組を行うことは良いこと。是非市民が状況を知る機会を増やしてほしい。	
144	今後、市民参加型の意見交換会などを求めますので、ぜひ考えて下さい！	
145	地権者とともに市民の意見を聞いて進める。 進め方については、「カジノの蹉跎」—7億7千万円の税金を使い、市長自ら区民説明会などを通じて「説明」しながらも、市民の納得は得られず、そればかりか二元代表制の名のもとに市民の直接請求を退けたにもかかわらず、市長選で敗北、カジノは頓挫した。横浜市政史上かつてない大失政—から教訓を引き出し、市民の意見を重んじ、反映させて進めねばならない。	
146	進め方については、「カジノの失敗」（7億7千万円の税金を使い、市長自ら区民説明会などを通じて「説明」しながらも、市民の納得は得られず、そればかりか二元代表制の名のもとに市民の直接請求を退けたにもかかわらず、市長選で敗北、カジノは頓挫。横浜市政史上かつてない大失政)から学び、市民の意見を重んじ、反映させて進めねばならない。	
147	今後、市民参加型の意見交換会などを求めますので、ぜひ考えて下さい！	

NO.	ご意見	本市の考え方
148	デザインシートの存在を知ってから1週間しか経っておらず検討不足のため見合わせます。	いただいたご意見を踏まえ、今後も、事業の進捗に応じて、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながら旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。
149	この意見の募集の仕方、期間では、多くの方が知らない間に物事が決まってしまうこととなります。長期にわたる負債を発生させるような案件は、しっかりと市民との対話をして進めていただく必要があると思います。	
150	今回の計画は、一ヶ月しかアイデアの募集期間がなく、短いと思う。市民がレガシーを負担していかなければならないとするとしっかり情報が市民に公開され、議論されたとは到底思えない。日本で起こっている、閉鎖空間で勝手に決める政治と言われても仕方がないと思う。是非、計画を見直し、市民に広く情報発信し、様々な立場の方を交えてじっくり議論してもらいたい。	